

満洲圖書館 明治四十年滿洲の資料、研究用として開設し、一般に公開されてゐるが、蔵書三十萬冊、各地に類を見ぬ蒐集書約五萬冊、大連本館の他に、通俗、簡易圖書館六、蔵書四萬五千冊にして在留市民の利用者極めて多い。

滿洲實業館 大正七年四月設立、風俗、動物、植物、礦物、考古、参考の六部に分類、滿蒙、支那の蒐集物多く、約八萬一千冊を有し、附設の記念館は日露の戦役に関する許念品を蒐集保存してゐる。なほ附屬植物園、動物園が旅順にある。

滿洲實業館 滿洲が大正十五年滿洲實業館の名稱の下に開設し昭和三年十一月滿洲實業館、同八年四月滿洲實業館と改稱した。大連市元町玉町の元滿洲本社跡を使用し、滿洲に於ける資源の實情を詳かに紹介し、産業の振興開發に資し、併せて滿洲國産物の普及、向上に努めてゐる。蒐集陳列物は、滿蒙の礦産、農産、畜産、林産、水産等の實物標本、模形、圖表等を主とし類を見ぬ整備を誇つてゐる。

社 寺・宗教

關東州に於ける神社は十一にして、寺院、教會、布教所等の宗教機關は、神道三十五、佛敎三十二、基督教三十一合計九十八にして、

て、各宗派とも日露戦役當時既に布教を開始し、以來、大連をはじめ各地に教會、寺院を建設して内地にみる各宗派を稱するものも相當の教勢を示してゐる。

滿人側には在來宗教たる佛敎、道敎、回敎が到る所に寺院、廟宇を有し、その數二百四十二に及ぶ。

關東神宮 昭和十三年六月一日附内閣告示第三號を以て旅順市に關東神宮を創立し社格を官幣大社に列し御祭神を、天照大神、明治天皇の御二柱とせらる。旨仰出された惟ふに國風移植の大本として在滿邦人等しく尊崇し奉る神社を奉祀し關外の地域に在りて御盛徳を景仰發揚し、以て報本反始の誠を效さむことは在滿官民の久しく熱望し來つた處で、關東州に於ては御聖旨を奉戴するや直に關東神宮造營委員會及關東神宮造營事務局を設置し造營事務進行に萬全を期してゐる。而して一面民間に於ても此の宏大なる御聖旨に感泣し、官民一體となり御造營事業に翼賛し奉らんことを希ひ、昭和十三年十一月三日關東神宮造營委員會組織し、外苑造成に當ることとなり、基金募集に努める一方、勤務奉仕を續行してゐる。外苑計畫は、武德殿、美術館を中心とし、綜合運動場、博物館、圖書館、記念館等を含む甚大なる計畫である。

衛 生

概 説

衛生行政中衛生警察に屬するものは關東州廳警察部及各警察部及各警察署に於て管掌し、助長行政に屬するものは市又は會に於て擔當す。尙海港検疫及港内衛生に關する事務は關東海務局に於て之を管掌す。

管内は大連の氣候の影響を受け寒暑の差特に甚しく氣候概して不順にして保健上極めて不利なるに拘はらず、殊に冬期は約半年内に整居生活を行ふ等其非衛生的生活は必然呼吸器疾患の高率を招致し又防疫方面に於ても地理的關係上頗る不利なる立場に在り、即ち天然痘、「コレラ」等の當時流行地とも稱すべき天津或は上海、其他の南支方面とは一衣帯水の關係に在りて船舶に依る交通著しく頻繁なると共に一面又陸路は滿洲國と相接し、從來彼地に於ける衛生的施設の缺乏は常に傳染病蔓延の脅威を與へ、加ふるに山東南支方面より年々渡來する數十萬の下層労働者(所謂山東苦力)に依り各種の病源を輸入する、等の關係上痘瘡、猩紅熱及消化器系統の傳染病等四季其勢を絶たず、成積香しからざるものがあつ

たが、一般民衆の衛生思想の向上普及に不斷の努力を盡したると衛生諸施設の改善、海陸防疫陣の擴大強化等と相俟つて最近著しく其の面目を新たにしている。

醫 療 機 關

管内に於ける醫療機關は關東州廳、滿洲會社系統及日本赤十字社等に於て設置するもの又は個人經營に屬するもの等を合し第一種診療所二十一、第二種診療所百二十八である。特異なる存在としては阿片癮者救療の爲關東救療所を設置し専ら之が救療に努めてゐる。而して管内に於ける私設診療所は診療取極規則に依り其の取締を勵行してゐる。

醫療機關の分布状態は都市にのみ集中し僻地の地に薄く邦人在住者少き地方に於ては醫師の獨立開業を爲すものなく居住民の不安不便は尠くないので明治四十年公醫制度を設け今日に至つたが、現在公醫として手當を支給し交通不便なる僻地の地に配置し診療に従事せしめてゐる者十四名である。

豫 防 及 防 疫

衛生状態は近時概して良好に向つてゐるとは謂へ衛生觀念の乏しき多數の滿支人を

包容し居ると一面又地理的關係に於て甚だ不利なる立場にある關係上四季を通じて傳染病猖獗し、就中赤痢、「チフス」等消化器系統傳染病の如きは内地の數倍に上り天然痘、「チフテリア」、「猩紅熱」等の傳染病も尠くない。其他結核、花柳病患者等も極めて高率を示し國民の健康に大なる脅威を與へてゐるのには誠に憂慮に堪へないので病院の擴充、豫防思想の普及、衛生諸施設の充實を圖り保健衛生の向上を期し調査研究計畫中である。

大連療養院 大連療養院は昭和十一年度より向三箇年計畫の下に大連管内傳家庄に近代的醫療機關を完備せる療養院を新築昭和十四年四月竣工した。

關東保健館設置 單なる消極的防疫衛生のみを以てしては到底眞の衛生行政の目的を遂行すること不可能なる情勢に鑑み住民の社會生活乃至個人的素質に付生活改善、活動能力増進を考究施行し、各個人の抵抗力完成に依り病魔の侵害を自然的に克服し疾病を未然に防止するは緊急問題である。

滿洲進出の邦人は内地と甚しく異なる氣候風土、民風或は滿洲國人との雜居等に依り其生活環境は常に健康の讀書を誘發し易く更に在滿邦人の地位は年々低下してゐる實情に鑑み管内の實情に即したる保健衛生

施設の要あるを認め、大連に關東保健館を建設し之に消毒部を設け一般公衆衛生に關する改善指導は勿論結核豫防事業、育兒保育の個別的指導、妊産婦の相談指導、其他一般疾病豫防の指導、一般家庭、結婚思家の消毒等、積極的衛生行政に進出してゐる。

性病相談所の開設 花柳病の蔓延猖獗に關しては特種營業者(洗滌器)の完備、豫防薬の便用勸奨、特種婦女の檢査等對策を講じてゐるが一般大衆の性病に對する知識乏しく、如何に業態者をして一方的措置を講せしむるも蔓延の一途を進むのみであつて國民保健上看過し得ない状況に在るから大連花柳病科専門醫を會員とし官公署當路者を顧問とする大連性病豫防會を組織せしめ性病豫防思想の向上普及並に性病患者に對する無料相談に應ずる等花柳病の豫防撲滅に努力中である。

精神病豫防 精神病の如きは之を收容するに數年前迄は大連聖愛病院の分院一箇所に別段支障なき程度であつたが現在では其數著しく増加し病床五十數床を有する現在の設備では到底全部を收容し得ない状態に在り獨り醫療上の見地より遺憾なるのみならず公安上の危險性をも多分に包含するので昭和十三年度豫算に於て病床五十を

増設し得る經費を計上して之を財団法人聖愛病院分院に補助し、以て精神病患者收容上遺憾なきを期すると共に精神病者監獄規則の制定等も目下種々調査研究中である。種々防疫に關しては未だ患者の收容施設なく之が豫防上實に堪へない事象である許りでなく一般公衆保健上の重要問題であるから昭和十年大連市役所内に種々防疫協會なるものを設立し種々調査研究の上患者を適當なる場所に隔離し治療の途を講ずべく各機關と協調し速に之が實現を期すべく努力中である。

衛生試験並に藥品検査

飲食物及飲食用器具、藥品、賣藥及部外品等直接人體に有害作用を及ぼすもの試験鑑定は新設の關東衛生試験所技術員をして之を施行せしめ、保健衛生上危害を及ぼすべき不良品の防止に努力中である。又滿洲國に於て昭和十二年九月公布實施せる藥品法に依れば滿洲國內に輸入したる藥品は同國の指定したる衛生試験所又は法令に依り許可を受け藥品の鑑定及封緘を爲すを業とするもの鑑定封緘あるものでなければ、之を販賣し得ない旨を規定してあるので右制度に即應して管内製藥業者の利便を圖ると共に産業の發達及品質の向上を

期する爲滿洲國と提携し昭和十三年四月から關東衛生試験所を設置し、嚴密なる藥品の検査封緘を開始した。

獸畜衛生

屠場並に屠畜取締 州内に於ける屠畜取締は十箇所の屠場に對し十三名の検査員を配置し之が検査取締に當らしめて屠畜が人の風俗習慣上自家用屠殺は屠畜数の半數或は以上を占むるの現況にあり衛生上危懼すべき事柄であるから之が対策を講究中である。

牛乳製業取締

牛乳製業取締 牛乳製業取締に關しては昭和十一年之が取締規則發布以來製業者の自覺に依り進歩の跡を認め、更に昭和十二年大連市内に組合組織の「ミルクプラント」の設立を見、處理の統制と品質の向上に寄與するところあり、且つ牛乳検査機關の設置を決定し牛乳衛生上劃期的成果を收めんとする。

獸疫預防

獸疫預防 鼻疽、炭疽、牛痘、狂犬病、牛結核及豚の各種傳染病等の疫症常に發生し人畜に及ぼす危害は尠くない。特に州内は鼻疽の常在地であつて而も支那軍變以來軍馬輸送の中樞地となりたる爲軍馬保護の見地より鼻疽の撲滅を期し、昭和十二年に管下の馬匹約六千頭に對し臨時鼻疽検査を

實施し種馬六十餘頭を發見之を撲殺し所期の成果を收めたが、更に本年度より之を毎年定期的に施行し併せて炭疽の預防注射實施が決定された狂犬病預防に關しては畜犬犬牌制を設け、定期的に狂犬病預防注射を實施する外野犬驅除、狂犬病預防週間等を行ひ之が防遏に努むる外他の防疫に關しても各關係機關と協調し之が撲滅を期してゐる。

社會事業

概況 滿洲に於る日本側社會事業は日露戰爭の際、日本赤十字社の救護品が軍事救護に従事中、支那人患者を救濟して仁慈博愛の美風を發揚したことが社會的に非常な好評を得たことに刺激され、明治三十八年十一月、日本赤十字社關東州支部が設置されたのがその濫觴であるが、爾來時運の進展、經濟生活の複雑化、文化の向上等により漸次發達し滿洲國建國後は日本側は關東州内に限定された。州内には方面委員制度施行され又、州廳に地方課社會事業主事あり各種の施設に當りつゝある。恩賜財團慈善資金 明治天皇御大喪に當

り、關東州に金七千圓の御内帑金御下賜あり本財團を設立、爾來御下賜金及び配當金並びに寄附金の交付を受け毎年社會事業助成金として二萬圓内外を交付してゐる。
日本赤十字關東州支部 滿洲赤十字病院、大連小崗子、大連埠頭に救護所がある。

日本側社會事業團體一覽

社名	設立年月日	事業	本部所在地
恩賜財團慈善資金	大正元、九	管内社會事業の助成、國民救護	大連
恩賜財團救濟事業助成會	大正二、一	小學校、公學校及普通學校の兒童教育助成獎勵	大連
關東州救濟委員會	大正二、三	救濟事業助成獎勵	大連
關東州方面委員	昭和五、一二	救濟保護、福利増進	大連
關東州公署	昭和五、一二	方面事務の助成	大連
關東州救護會	昭和四、一〇	實地診療、貧困患者の治療	大連
日本赤十字社關東州支部	昭和二、一八	戰時軍醫衛生勤務平時災害一般公衆衛生營養救濟	大連
大連委員會支部	昭和二、一八	同	大連
金州委員會支部	昭和二、一八	同	金州
普蘭店委員會支部	昭和二、一八	同	普蘭店
同	同	同	同
同	同	同	同
同	同	同	同
同	同	同	同
財團法人大連聖愛醫院	明治三九、九	實地診療、施療救護、精神病患者收容	大連
同	昭和一三、九	結核預防撲滅及救濟	大連
同	昭和一三、六	瘧疾預防救濟	大連
同	昭和一四、一	中國人治療、梅毒、梅毒、梅毒、梅毒、梅毒	大連
同	大正一〇、一	沙口警察署管内窮苦者の一時的救濟	大連
同	大正一〇、九	職業紹介、人事相談、授産	大連
同	大正一〇、五	中國人使用人紹介、家庭ボーイ養成	大連
同	大正一〇、九	勞働者並失業者職業紹介	大連
同	大正一四、一一	貧困者無料宿泊	大連
同	昭和七、一一	貧民食堂の經營	大連

關東州概観 會社

種別	名稱	設立年月	備考
社會	關東州労働保險會	明治三九、三	失業者救済、授産及一般救済事業
	財団法人大連労働力行會	昭和四、一一	失業者救済
	財団法人關東州労働者會	昭和七、一一	失業者救済、貧困者の救済
	財団法人關東州労働者會	昭和七、一一	不具者救済再教育
公營	大連市警察署	大正一〇、八	徳因者救済保護
	大連市警察署	大正一五、二二	小額所得者の救済
公營	大連市警察署	昭和二、二二	日用必需品供給
	大連市警察署	昭和五、一一	蔬菜及果實の市場
公營	大連市警察署	昭和五、一一	小住宅供給
	大連市警察署	昭和五、一一	女子技藝教授、授産並託兒
公營	大連市警察署	大正一〇、一〇	女子技藝教授、授産並託兒
	大連市警察署	大正二〇、四	孤兒貧兒保護救済、不良兒童感化
公營	大連市警察署	昭和七、七	不良兒童の保育
	大連市警察署	明治三九、九	孤兒貧兒不遇婦女女子の救済保護
公營	大連市警察署	大正一五、二二	育兒養育
	大連市警察署	昭和二、二二	育兒受託養育
公營	大連市警察署	昭和九、一二	兒童健康相談
	大連市警察署	昭和五、四	盲人養育兒童養育教育
公營	大連市警察署	昭和五、四	盲人養育兒童養育教育
	大連市警察署	昭和四、三	學生の救済訓練
公營	大連市警察署	昭和四、三	人物學優良なる者の學費支給
	大連市警察署	大正八、三	學費補助人材養成
公營	大連市警察署	大正七、三	中國人中等學校入學者の學費補助
	大連市警察署	大正七、三	土木建築業者の精神修養、相互救済
公營	大連市警察署	大正七、三	土木建築業者の精神修養、相互救済
	大連市警察署	大正二、二	海事思想の傳播、海員扶掖、職業紹介
公營	大連市警察署	明治四四、四	青年の社交及救済
	大連市警察署	昭和六、四	老人の慰安救済
公營	大連市警察署	昭和五、九	婦人貧困者救済教化
	大連市警察署	大正一〇、五	婦人貧困者救済教化
公營	大連市警察署	明治四〇、五	婦人貧困者救済教化
	大連市警察署	明治四〇、五	禁酒運動
公營	大連市警察署	明治四〇、五	禁酒運動
	大連市警察署	明治四〇、五	禁酒運動

兵 事

關東州に於る兵事事項は大正四年五月、勅令第七十三號關東州及南滿洲に於る戒嚴及徵發に關する事務、昭和二年十一月勅令第三百三十號兵役法施行令に依る陸海軍人の服役及召集に關する事項等であつたが、昭和八年十一月勅令第三百一號により徵兵法施行令改正せられ在留者の徵兵身體検査事務を擔任するに至り、昭和十二年十一月三十日勅令第六百九十三號により兵役法施行令改正せられ、從來民政署長の取扱ひ來つた兵事事務は同年十二月一日より警察署長の主管となつた。

従つて、關東州に於る平時召集及備聞點呼は總て在留地たる州内に於て令せられ又警察署長は徵兵事務官として徵兵事務の一端を擔任する關係上、各警察署の兵事事務は増加し、殊に滿洲事變以來、在郷軍人、壯丁の異動甚しく夫々兵事擔任者を増加してゐる。

關東州概観——土木

資 源 調 査

昭和四年發布された資源調査法及資源調査令を基礎とし國家資源の統制、運用計畫の設置、準備調査に當るため、州廳に於て事務係を置き昭和四年十二月先づ工場、鑛山、海産資源調査に關する資源調査規則を制定し、實行に當つてゐる。調査の内容、方法は區々に別れてゐるが、調査の結果は毎年内閣總理大臣に報告し、又州廳に於て集計その他整理の上、總動員計畫の資料としてゐる。

防 空

防空令の公布 日本内地に於ては防空の重要性を痛感し、昭和十二年四月、防空法を公布、十月一日施行せられたが關東州に於ては之に則し昭和十二年十二月勅令を以て關東州防空令公布せられ、更に關東州防空委員會令、次いで十二月防空令施行細則、同十三年二月一日防空規則公布せられ

いづれも實施を見たが、こゝに關東州の主要なる防空法令は全面的に實施されたわけである。

關東州防空委員會 關東州の防空計畫の設置に當り州廳長官が意見を徴する機關である。組織は委員會令により會長は州廳長官にして、委員は二十四名、幹事五名、書記三名である。

土 木

市 街 計 畫

大連市街の市街計畫は、當初露治時代の廣場を中心とする約二十五萬坪の計畫を踏襲したが、漸次追加、擴張して、現在は三千七百二十六萬餘坪、即ち七方里餘に達してゐる。地區は、商業地區、住宅地區、混合地區、工業地區及地區外に區分して、市街の發展、土地の利用、保安及び衛生上遺憾なきを期してゐるが、過去三十三年間

關東州概観 土木

に人口は二十七倍し、市區域は百四十九倍に達せるが如き異数の發展を示せるに鑑み昭和五年三月、都市計畫委員會規則を制定して、人口百萬の近代的綜合的都市を目標として、計費を進めてゐる。

旅順市街の市區計畫は、明治四十三年廳議を決定して新瀋南市街共殆ど露治時代の計畫を踏襲したのであるが、其の後一部を追加、變更して、現在市區計畫面積六百四十六萬五千坪に達してゐる。

金州及普蘭店兩市街の市區計畫は、未だ決定せざるも、金州は大正十五年建築規則の制定に當り、將來の發展を豫想せらるゝ、瀋南市街(城内)約二十五萬六千坪及び鐵道附屬地三萬七千坪の市街地區を決定告示し、又普蘭店は昭和三年建築規則の制定に當り、金州同様將來發展すべき市街地區を決定告示したが、目下何れも市區計畫中である。

驍子高及び城子瀋南市街は、關東州外通商の要地を占め、又昭和三年金城鐵道の開通に伴ひ、一層發展の趨向にあるを以て、在來の市街地區の整理並に各停車場を中心とする地區計畫の必要を認め、驍子高約五

十二萬坪、城子瀋三十九萬坪の地域に對し、昭和三年一月市區計畫を決定して告示した。

右の外金城鐵道沿線各驛は鐵道の開通に伴ひ、何れも小市街を形成發展の傾向に在り、目下市區計畫に付調査を進めてゐる。

州 計 畫

關東州計畫は内地の都市計畫の如く單一なる都市を對象とせず、關東州全體を對象とする綜合的計畫である。即ち市街地の構成、農耕地の創設又は改良其の他土地の利用開發の爲に必要な公共の利益と爲るべき重要施設の計畫であつて、其の根據とする法令(關東州計畫法)は既に公布され之が運用上必要な施行規則其の他諸規定も近く公布せらるゝ豫定である。

而して本計畫は關東州に於ける創始のことであり、其の計畫獨立に當りては慎重審議考究の上決定すべきものなるを以つて、目下正確なる各般の基本的調査を進めてゐる。

道 路

我が始政當時の關東州内の道路としては、旅順より金州を経て奉天に通ずる幅員二間餘の極めて不完全なる一路線が存在したに過ぎなかつたが、福島都督は就任と共に敢然關東州に幹線道路の開鑿を企て、橋梁其の他土木的技術を要する部分は官に於て施行し、簡易なる土工は地方民に賦課して僅かに二年五箇月で延長四百數十里の道路を改修し、其の幅員廣きは八間狭きも三間を下らざるものとした。爾來官民協力道路の開闢補修に力を注ぎ、昭和十三年末現在關東州内道路延長は、市街道路百二十二里十町十一間、村落道路六百四里十九町三十三間に達し、其の築造總工費約千二百七十餘萬圓の多額である。

下 水 道

會社(泡崖屯所在)施設のものがある。

關東州の下水道は、大連、旅順、金州、普蘭店及驍子高の五都市に、官營に依り敷設してゐるが、大連下水道は邦治以來著々工を進め、昭和十三年三月現在官設下水道延長四十三萬米、總工費四百五萬五千圓、私設下水道延長四十二萬二千米、總工費二百萬圓に達し、殆ど全市間なく下水道網を形成してゐる。旅順下水道は露治時代の施設を繼承して、其の後改修擴張を行ひ、昭和十三年三月現在官設下水道延長五萬二千五百九十米、工費二十九萬六千六百八十八圓、私設下水道延長二萬八千五百十米、工費七萬九千九百圓に達してゐる。金州下水道は露治時代の未完成の下水道を繼承し、爾來改修と擴張を重ね、昭和十三年三月現在延長五千六百七十七米、工費七萬四千五百六十圓、尙普蘭店及驍子高の下水道施設は日尙淺く、普蘭店下水道は昭和十三年三月現在延長千四百三十二米、工費一萬圓、驍子高下水道は延長四百四米、工費三千餘圓である。

水 道

滿洲は氣候、地質、地勢の關係上、水に乏しく、爲に産業の開發、文化の向上、交通運輸の發達を阻害すること多きに鑑み、大正十三年以來、其の根本的對策を固立せんとして、水源水利の調査に著手し、多大の經費と努力とを費して今日に及んでゐるが、其の結果關東州に至る處に地下水を發見して、表流、伏流を分明し、其の利方法を案出した。

又滿洲事變以來、各方面の要望に依り、全滿に亘り綜合的水源水利の調査を實施して、上水、農業、工業、軍事其の他各方面に對し、貴重資料を提供してゐるが、本調査開始以來昭和十一年度末迄の所要經費は實に七十萬圓の巨額である。

上 水 道

官設上水道は所轄民政署長(大連市は大連水道事務所長)の管理に屬し、目下、大連、旅順、金州、普蘭店及驍子高の五箇所其の給水區域内に於る普及狀態は概ね良好である。

六年七月)百二十萬圓、中央卸賣市場百萬圓、その他電気事業、小學校建築、交通會社等々である。

市債現況 (十二月末)

市債負擔額年比較表

年度	市債額	戸數	一人當り負擔額
昭和五年	3,600,000	15,500	232.26
昭和六年	5,000,000	15,500	322.58

市稅負擔額年比較表

年度	稅收入	戸數	一人當り負擔額
昭和二年	1,000,000	10,000	100.00
昭和三年	1,500,000	10,000	150.00
昭和四年	2,000,000	10,000	200.00
昭和五年	2,500,000	10,000	250.00
昭和六年	3,000,000	10,000	300.00

であつて之を東京市の昭和十年度に於ける市稅一人當り六圓四十五錢、戸當り三十一圓七十九錢、市債一人當り百三十三圓十九錢、戸當り六百五十六圓五十一錢に比較し本市財政の健全性と本市が市民の負擔減輕に意を用ひてゐることが了解される。

土地區計畫の必要を認め、約五...

上水道特別會計 市營住宅特別會計 市立醫院特別會計 合計 2,000,000 2,000,000 2,000,000 6,000,000

更に市債並に市稅と市住民の負擔狀況を見るに

教育 日本人教育に關しては大使館教育部の主管に屬する學校聯合會及學校組合がある。前者は中等學校を後者は初等學校を夫々經營管理し以て日本人教育の萬全を期してゐる。 滿人教育には本特別市之を經營管理し、學制に基き習々内容の整備充實に努力し

從來本市に於ては學校設備乏しき爲急激なる人口増加に應ずることが出来ず、多數の未就學兒童があつたが康徳二年度より二箇年計畫を立て學校新設に着手し、康徳三年九月完成、舊校の一部を廢校し收容力を約倍加し、未就學兒童の問題を一部解決した。

本市公立現在學校數は國民學校三一(白系露人學校一、朝鮮人學校一を含む)國民高等學校二、女子國民高等學校一、國民學校及國民優級學校兒童收容數は約一萬二千名、全就學適齡兒童の約五〇%を收容してゐる。其の他私立學校、私塾があり之に收容してゐるもの約五千名である。

更に之等私立學校、私塾の兒童並に未就學兒童の全收容を目標に五箇年計畫を樹立し康徳五年度以來、校舍の新増築に着手しその他國民の中學分子を養成する國民高等學校の新増築にも着手、既に二校は開設を見た。 社會教育としては行政移讓による舊滿鐵圖書館を加へて圖書館二、民衆教育館四があつて一般民衆教育振興に寄與してゐるところ極めて大である。 その他市民の情懷教育に付ては市指導の下に新京音樂院を康徳六年四月開設、大同

公園野外音樂堂(五年十月開設)に於いて毎週一回定期演奏會を催すほか管絃樂部、吹奏樂部、合唱部それらの立場から生きた音樂の普及に努めてゐる。更に康徳五年八月着工した世界第二を誇る大動植物園も目下着々進捗中である。

保健衛生 市を明朗化するには先づ三十五萬市民より病魔を驅逐すべしとのモットーの下に市民に對し保健衛生思想の普及徹底を期し、この線に沿つて都市計畫を進めてゐる。

(イ) 保健體育建設 市民の保健を關するために煤煙防止、市の綠化を策し一方施設の充實を期し、即ち綠化施設として見玉公園其の他大同、白山、牡丹、順天、和順、黃龍の七公園を始めとし、小公園の散在、ポーチの設置、街路樹の植樹、環狀線兩側の造林等がある。其の他隊長以下九〇八名の隊員を有する衛生隊が市街の淨化清掃に當つてゐる。

しては千早醫院がある。市立醫院は綜合病院で收容人員二百六十名、七十萬圓を投じて康徳三年竣工し現在滿洲國の官公營施設中最大のものである。更に之に附設として看護婦養成所を建設中である。一方市民健康の相續治療のために保健所二、衛生試驗所の外健康相談所を本場内に設けてゐる。 其の他社會的施設を兼ね施設醫院があり下層住民の診療施薬に當つてゐる。また第二市立醫院は康徳六年十月、百二十萬圓を投じ南嶺に建設工事を進めてゐるが七年十月には完成の豫定で收容人員百五十名となつてゐる。

(ハ) 阿片麻藥 阿片の毒害に付ては敢て謀々する必要までもなく政府も阿片麻藥の斷禁政策を強化し、阿片の販賣を公營としたので康徳五年度より市内三十五箇所の煙館を市が經營することとなり、この惡習を徹底的に驅逐するために警察と協力し積極的に活動してゐる。

上下水道 都市衛生に特に重大なる關係を有する上下水道は建國早々より之が施設に着手した。從來は滿鐵附屬地、舊市街新市街と三區に分れ各々その經營主體を異にしてゐたが康徳四年十二月附屬地行政權の移讓並に翌年一月國都建設局の合併により一元化が完成された。

上水道は三百五十萬圓と二箇年を費し(淨月窟に大水源池)淨月潭を作る外市内各所に水源池を有してゐる。給水状態は舊附屬地は主として滿鐵水源池の水を當て新市街舊市街は主として淨月潭及市内各所の水源を利用してゐるが給水は何れの水源をも自由に使用出来る。

給水施設は現在の所舊附屬地及新市街地區に於て完備してゐるが舊市街地區に於ける施設は未だ不十分で衛生的見地よりも寒心に堪へざるものあり水道の普及徹底を期し鋭意之が方策を講じてゐる。

下水道は汚水處分と雨水處分を分ち、汚水は地下道を通じて伊通河に放出してゐるが雨水は之を公園の池に集め公園風致を自然の力に依り増進せしめんとしてゐる。

社會事業 人口急増に伴ふ市民の住宅難を緩和すべく三箇所に總經費八十二萬圓を投じ市營住宅を建設し家屋地底の緩和に貢獻してゐる外收容力千二名を有する宏濟院(舊救濟院)その他戒煙所、施設院、勞働紹介所、職業紹介所、簡易宿泊所がある。 此の中職業紹介所、簡易宿泊所は行政權移讓の際滿鐵より引繼いだものである。康徳五年度の事業成績を見るに 市營住宅は日式北安路市營住宅、滿式に三馬路市營住宅、ベルチング式に水原莊の三種式があり日式

は百三十九戸、議事百三十六戸、本議事は事務室を合
せ八十五室で年々増設金二二、七五圓をあげてあ
る。急激な人口増加に伴ひ更に住宅を建設し市民の
住宅難に應ずることは必要であるが、既に特種會社
たる滿洲房產會社の設立により市として市營住宅を
増設する必要は一應解消した。

制度としては隣保委員があつて方面事務
を司つてゐる。従來當市内には隣保委員、
隣附屬地には福社委員があつたが行政權の
移譲と共に之を統合し組織を改正し時代に
適應せしめてゐる。

が本社を本市に置いてゐる。之は一般經濟
界にも好影響を及ぼし、商店街は活況を呈
し大百貨店は種々新設せられ、從來振はな
かつた工業界も燦々、燦々等の工場を始め
近時見るべきものが現出した。

來滿市街は特別市、新市街は國都建設局が
擔當してゐた。大同元年三月開港たる原野
の一角に發止と打ち込まれたピリアの橋を
一億の巨費はこゝに人口四十萬人を擁する
近代都市を出現させ、康德四年九月、畏
くも皇帝陛下臨御の下に大同廣場に於て盛
大なる國都建設五周年記念式典が舉行さ
れ、國都をあげて第一期計畫完成を慶祝し
た。

上水道は毎月約六千立方メートルの排水を二十箇所を設
け、排水水の延長二〇二軒、新市街の全域に普
及し、現在の排水量は一萬五千立方メートルである。
下水道は地形に應じて九箇の獨立せる排水區域に分
割し、分派式、合派式に依り配分してゐて初年度以降
工事の完成した區域は安民大路、亞細亞大路以北に於
ける殆ど全市域に亘り、その面積九、四九〇、〇〇〇平方
米、敷設延長三〇、三〇一キロメートルである。

郵政總局、專賣總署、滿洲中央銀行、
協和會中央本部(日業側)關東軍司令部、駐
滿海軍武官府、關東憲兵司令部、關東局、
日本大使館、日本總領事館(外國側)ドイ
ツ公使館、イタリ公使館、ローマ教皇使代
表部、中華民國臨時政府通商代表部、蒙疆
聯合委員會駐滿機關、蒙古聯盟自治政府代
表部。

その他滿洲赤十字の聖徳學院、幼稚園日本側
三、滿人側二あり。
專門教育施設として大同學院、建國大學、新
京醫大、法政大學、國立大學講工技術院、
中央師道訓練所、地籍員養成所、財務職員
養成所、新京中央警察學校、同地方警察學
校、刑務官訓練所、憲兵訓練所、獸醫軍士
養成所、郵政職員訓練所、留學生準備校。
日本側教育施設として在滿日本學校組合
管下の小學校七、青年學校男女各一、特別
市日本學校組合管下の中等學校は中
等一、商業一、高女二で此のほか新京普通
學校組合の經營にある朝鮮人小學校(普通
學校)が一ある。

主要官公署(滿洲國側)宮内府、國務院
(國務廳、參議府、興安局、恩賞局)中央法
院(最高法院、最高檢察廳、高等法院、高
等檢察廳、地方法院、地方檢察廳)民生部、
治安部、產業部、經濟部、交通部、司法部、
外務局、警備備品局、特別市公署、首都警察



沿革 奉天は別に瀋陽とも云ふ、瀋水(瀋河)の北にあるからである。北遼一帯の平野は遼く遼海時代の瀋陽で當時(西歴八世紀)既に小さな城市を形成してゐた。城東の福陵は渤海國の創始者大祚榮の築いた東牟山の舊跡である。唐の太宗が東征の後安東都護府の置いたのはこの地であると云はれてゐる。唐朝以前は高句麗の領土で高句麗以前は挹婁國であつた。明期の末期愛親賢王が吉林上流の牡丹江なる俄來里に興り興寧を根據地として更に南下撫順を攻落して瀋陽を陥れ奉天に瀋陽中街を設置した後天命十一年奉天に都を遷し荒廢せる古城(併し十廳)を修築して居城となし天子となつて清の太祖と稱したのである。城内に現存する宮殿は清の太宗及びその子太宗文帝とともに二代の居城の跡である。

奉天市の呼稱は種々變化し唐の時代には定州府と云ひ遼、金、は瀋州と稱し元時代

には瀋陽路清時代は盛京、後瀋陽或は奉天と稱せられるに至つたものである。

地位 奉天は遼河の支流瀋河を洶く沃野中に入り瀋陽本線、安奉線、奉吉線、及び奉撫線の交會點に當つてゐる。地形は東北一帯丘陵地にして西及び南に開け南方は瀋河西流して自から境界をなしてゐる、市街地は比較的高く東より西に通る稜線となし新開河及び瀋河兩方面に緩傾線をなし更に皇姑屯より西方に緩傾線をなす。新京へは三百五十軒、大連へは三百九十七軒、安東へ二百七十六軒、山海關へ四百十九軒交通の要衝將來商工都市としての躍進を約束されてゐる。

氣候 大陸的性質として氣温は例年十二月月中旬より二月中旬に至る約三箇月間は氷點下十數度を示し夏期は六月中旬より八月下旬まで二十度以上に達する状態で寒暑の差は著しい懸隔を示してゐる。恒風は南々西であるが、特に奉天は南方に瀋河がありその兩岸に砂原を控へてゐるため春季に於ては之が南風により市中に砂塵を吹込むため他の都市より砂塵が多い。

市内の行政區畫 人口百五十萬を指す大都市計畫に依つて疊きに市に編入された市街隣接瀋陽縣十四箇村並に康國四年十二月一日(昭和十二年)治外法權撤廢滿洲附屬

地行政權移譲により舊滿鐵附屬地をも包含滿洲國の一元的行政下に入り總面積二百六十二平方軒に達し行政上十一區に區劃された。

瀋陽區城內一と稱する邊城以外の地區故宮を中心にして省公署をはじめ滿洲國各機關諸人大商店と共に高さ三丈五尺、周圍一里半に達する城壁は奉天を象徵するものである。

大和區一舊滿鐵附屬地及び商埠地を合せた地域で日本人及び外國人が最も多く住み大奉天の中心をなす。

鐵西區一工業地として指定された所市の躍進とともに大小無數の工場が窮出煙突林立して大奉天の面目顯たるものがある。

大東區一城内の東方張政權時代の軍需工場地帯で現に造兵廠をはじめ滿洲工廠、造幣廠、被服廠等大工場がある。

瀋陽區一瀋陽區の南瀋河に臨む地區。

永信區一鐵西區の南側瀋河河畔に至る地區、下沙地子の日露戦跡はこの地區内、西部にある。

于洪區一于洪屯、三野家の戦跡ある地、鐵西區の西側に位置す。

皇姑區一鐵西區の北側滿人街である。

北陵區一聖地北陵を中心とする地域で都市計畫でこの地は東陵區とともに住居地城

大部分は滿人を對象としたものであり事業内容としては...

財政 大都市計費と共に...

大都市計費と共に進歩の一路を辿つてゐる奉天市の財政は...

中央卸賣市場特別會計課入歳出

Table with columns for 入 (Income) and 出 (Expenditure) for the Central Wholesale Market Special Accounting Office.

奉天は滿鐵本線、安奉線、奉天線、奉吉線、奉撫線の交會點に當り...

一般會計課入歳出

Table showing general accounting income and expenditure for the six-year period (1931-1936).

Table showing income and expenditure for the Special Accounting Office for the West Manchurian Industrial Land (西工業土地特別會計課).

貿易 奉天の貿易は日滿間經濟の緊密化と共に...

奉天の貿易は日滿間經濟の緊密化と共に中樞市場地たるの本質を一段と發揮し...

滿洲主要都市—奉天

Table with columns for years (1933, 1935, 1936, 1937), categories (A, B, C), and values. Includes sub-sections like '新設貨物' and '割引手形'.

以上の組合加入銀行の外市内銀行として志城、豐業、世合公、同益、益通、商業、益發、東洋拓殖、東省實業、中國、交通、

工業 奉天は商工都市たると同時に、工業都市としてその將來を約束されてゐる。奉天が工業地として著目されたのは日露戦争後日本が滿洲に進出して來てからのこと、大正五年南滿鐵道株式會社(滿洲

五四六

天は工業地としての要素たる水、氣候、諸原料、勞働、燃料等において最善の條件を具備してをり、更に交通の要衝にあるから滿洲のマンチエスターとしての重大使命を有することゝなつた。

鐵西工業地帯 康徳二年三月十一日滿洲國と滿鐵共同出資に依り奉天工業土地股份有限公司(奉天土地會社)を設立し、工業用土地並に之に附屬する商店街、住宅街の貸付及び道路上下水道等附帯事業等この地一切の經營に當つて來たが治外法權の撤廢と共に滿洲國經濟部に屬してゐた同公司の業務一切を奉天市公署に移管されるに及んで地域も一千三百九十九萬四千八百二十四平方米に擴張された。康徳六年七月は現在の工場敷は創業中のもの一〇七、目下建設中のもの三六、未開工四八、計一九一である。

教育 日本人小學校は學校組合に於て滿洲國側は市公署で管理經營されてゐる。現在市公立としては幼稚園一、國民學校二、國民學校八、國民優級併置學校一九、國民優級學校四がある(外に六年中に優級學校單置校が一開校されることになつてゐる)

康徳六年七月末現在の國民學校兒童數は三萬七千餘名、國民學校兒童數は七千六百餘名あり、教員數の如きも八百十六名(内日采七十三名)ある。一年十萬以上の人口増加を示してゐる奉天市のことゝて年々の就學兒童の増加數も七、八千名に上り市當局に於ては學校の増設をもつて就學兒童の收容に努めつゝある。かくて現在の兒童就學率は約五〇%であるがこれを康徳十年度までに約六〇%に引上げを期してゐる。日本人開學校組合の各學校名は左の如くである。

奉天一中、奉天二中、朝日高女、漢達高女、奉天南華、春日小學、彌生小學、千代田小學、教員小學、平安小學、高千穂小學、聖心小學、高等小學、實業學校、北市場實地。

この他青年學校、公學校、春日、彌生、數島の幼稚園、滿鐵經營の南滿中學堂あり、最高學府としては滿洲醫科大學(學生數約七百名)國立農業大學等がある。其他に本年(康徳六年)七月十二日私立商科學院の開校も見てゐる。

交通機關 奉天は全滿鐵道の樞幹をなし、滿鐵本線、大通、奉天、新京、哈爾濱、安奉、山海關、天津、北京、奉天、吉林、奉天、撫順(奉天、撫順)の五線を交會する中心點

滿洲主要都市—奉天

五四七

であり、主要地間の距離は大通へ三九九、五軒、安東へ二七五、八軒、新京へ三〇四、八軒、山海關へ四二〇、〇軒である。バスは奉天、撫順、遼陽、法庫、哈爾濱、奉天、遼陽、撫順、遼陽、大連、奉天、新京、安東、大連、日本航空會社の新京東京間の急行便あり、奉天、遼陽間は通商公司經營により北支各地と連絡することが出来る。一方國道は、鐵嶺國道(奉天、鐵嶺、新京)、法庫國道(奉天、法庫)、新民國道(奉天、新民、山海關)、遼中國道(奉天、遼中)、遼陽國道(奉天、遼陽)、大連、撫順國道(奉天、撫順)の六線に集中し物資集散に便利である。また最近撫順より奉天を經由して營口に至る運河開鑿計畫も既に實行に着手されることになつた。なほ市内の交通機關としては奉天交通會社經營のバスと電車のほか洋車(人力車)八、七〇〇臺、馬車二、五〇〇臺がある。

主要官公署 (滿洲國側)奉天省公署、奉天市公署、高等法院、高等檢察廳、地方法院、地方檢察廳、奉天警務廳、奉天警察廳、第一軍管區司令部、滿洲國軍機廠、奉天治

安瀾病院、協和會奉天省本部、同市本部、奉天郵政管理局、(日本側)奉天稅務署、商工公會滿洲工業會、關東軍兵事支部、軍人後援會奉天辦事處、在郷軍人聯合分會、奉天中央電話局、奉天中央電信局、奉天中央放送局、國防婦人會奉天支部(日滿友員會)(外國側)米國領事館、英國領事館、佛國領事館、獨逸領事館、伊太利領事館。主要會社 鐵道總局、奉天鐵道局、滿洲航空會社、滿洲自動車運輸會社、同和自動車會社、奉天海兵所、奉天紡紗廠、滿洲工廠、電業會社支店、電氣管理局、滿洲毛織會社、南滿製糖會社、奉天製糖會社、南滿會庫會社、中山製糖所、住友金屬工業會社、滿洲通信機噐會社、滿洲電噐會社、金鑛精煉所、滿洲日立製作所、滿洲噐噐會社、日本ベイント會社、滿洲ベイント會社、日滿鋼材工業會社、滿洲麥酒會社、亞細亞麥酒會社、滿洲皮革會社、滿洲製糖會社、嘉納酒造會社、本嘉納商店、東洋釀造會社、明治製菓會社、康徳染色會社、滿洲噐噐會社、滿洲製糖會社、滿洲取引所、滿洲棉花協會、滿洲土建協會、奉天輸入組合、各府縣駐在員協會、日滿貿易館、國際運輸會社、大會組出張所、吉川組、三井物產出張所、三菱商會出張所、東亞煙草出張所、大阪商船出張所、ツリーリストビュロー奉天支店。

名所廟蹟 滿洲國の發展は奉天への觀光團體を毎年増加してゐるが、此に對し鐵道總局、ビネーロー、奉天觀光協會等が觀光團體の案内に萬全を期してゐる。主に名所廟蹟は左の如くである、忠靈塔、奉天神社、千代田公園、平康里、北陵、東陵、故宮、法輪寺(北塔)大清宮、北大營、大南門、珠林寺、萬泉園、國立博物館、北陵賽馬場、社 奉天神社、忠靈塔、北陵、東陵、故宮、法輪寺、天清宮、天齊廟、皇寺。

實業機關 (日文日刊新聞) 滿洲日新新聞、奉天每日新聞、(滿文日刊新聞) 盛京時報、醒時報、(通社) 滿洲國通信支社。

各種工業機關 紡績工業、斯の種工業に屬する工場は現在約十件を數へることが出来る。その主なるものは康徳染色、恭泰莫大小、滿蒙毛織、滿洲製麻、奉天紡紗廠等諸會社である。然らば之等の諸工場は如何なる環境の下に於て織業しつゝあるであらうか。先ず綿糸紡績に於ける棉花に付て記して見る。

それと共に産業五箇年計畫の樹立は之に一層積極的な發展を促し又支那事變を契機として滿洲産業五箇年計畫の修正もあり品質の改良と相俟つて益々膨脹の形勢にある。即ち滿洲棉の最近に於ける作付段別と操棉出來高を年別に示せば次の如くである。

大同元年	作付段別(担)	操棉出來高(担)
大同二年	三、七〇〇	二、三〇〇
大同三年	三、七〇〇	二、三〇〇
大同四年	三、七〇〇	二、三〇〇

以上の如く年々急激な發展を示しつゝあるのであるが、尙自給自足の出來得るまでには相當な距りがあるのである。而して日滿經濟プロツクの見地から日本に於ける棉花消費をも考へるなれば前途多難なりと云はねばならぬ。尙棉花は現在滿洲棉花株式會社の一元的統制下に置かれてゐる。

次に綿糸紡績業であるが、現在滿洲に於ける紡績會社としては奉天紡紗廠以下八社を擧げることが出来る。而して操業中のもの六社であり、その緯数は三十二萬三千餘であり、明年度は更に八萬餘を増加される豫定である。又織機は大四、四六七臺、小二一〇臺であり明年度増設豫定分は前者が一、八六〇臺、後者が一、六〇〇臺である。之等の工場に於ける昨年度の生産高は、綿糸一七〇、七四七担、綿布三、二二八、

六五反である。之に對する棉花消費量は六九四、七七二擔(但し緯數三五五、一七六會社數五)にして、本年度は八〇萬擔前後の見込である。

以上の現況で概略示したが之等の現状から來る需要關係は如何であらうか、世界一の綿業國日本を隣國に控へてゐる滿洲國としては種々難關もあらうが、當業者の互譲と協力に依り將來への大飛躍をなすであらうと考へられる。次に毛織物工業であるが滿洲は古くより牧畜が盛んであり、羊の如きも北支那、蒙古方面を中心として飼育せられて來たが從來は食用と採皮を目的とし羊毛は殆ど省みられなかつたのである。

然るに滿洲建國とともに羊手利用の必要が叫ばれ各方面に於て研究されることとなつたので品質の點も徐々に改良せられつゝある。殊に滿蒙毛織會社の積極的な運動と相俟ち北支における斯業と共に滿洲羊毛界の將來は多望であらう。

最後に麻糸紡績業であるが、これは滿洲に於ける雜穀の包裝用に供せられ麻袋製造として重要な工業である。現在この需要は年三十萬枚と云はれるが之を満すまでには尙遠いものがあらう。奉天に於ける工場としては滿洲製麻株式會社がある。

尙紡績工業の一種として染色工業がある



お買物は

幾久屋で



幾久屋

HEIANZA Chain

★ ★ ★

皆様の娯樂殿堂

常に新鮮な欣
びと娛しき糧と
明日への希望と……

奉天平安廣場十八番地

平安座

奉天住吉町九番地

演藝館

電話③③ 二二三八〇番

電話③ 三三〇五番



國民精神總動員
盡忠報國
舉國一致
堅忍持久

全滿一を誇る

娛樂映畫の殿堂

各社優秀映畫滿洲封切場

姊妹館

大陸劇場

新富座

濱口喜太天

大 陸 劇 場
うよちしよみす
TEL 3 5717

GINEI THEATER

3 Sumiyoshi-cho

MUKDEN

Ph. 3-4246

銀映劇場

奉天住吉町三電話(3)四二六

◇暖房冷房設備
◇料金均一制
◇明治製菓賣店出張



◇各社ニユウス
◇文化映畫
◇外國名畫

美徳電氣株式會社

奉天市鐵西區勸工街三段十二號

各種電球、標示球、攝錄機、放映機、照相用電氣機器各種
屋內、外、照明器具、製造販賣
一、般、電、機、材、料、電、氣、工、具、製、造、販、賣
絕、緣、材、料、テ、ー、プ、フ、ア、イ、バ、ー
組、卷、瓦、斯、卷、各、種、電、線
礦、山、用、電、氣、機、器、各、種

出張所 大 東 大

電話 ④ 四四九 四四九 四四九
振替口座 奉天四三二四二番

大連市山縣通五三(第一山縣ビル) 事務所
電話 國 五三二六番

東京市澁谷區向山町六〇番地 出張所
電話 高輪(44)六三七〇番

大阪 出張所
新道交又點(太平ビル) 出張所
電話 一三三番

健全娛樂の殿堂
南座映画劇場

電話 ③ 三三三二
五三三七 御客様用
事務所用

滿洲主要都市一奉天

同等當籤五千四
業界未曾有之福利壽險抽籤規程
利益配當附養老保險契約抽籤券贈呈

△滿洲國唯一の生命保險會社
△國策遂行の爲の生命保險會社
△信用絕對の生命保險會社



滿洲生命保險株式會社

理事長 高橋康順

△保險種類 利益配當附養老保險
△保險金額 五百圓以上五萬圓迄
△契約獨立 滿洲國人全部、日本人二千圓未満契約獨立

本社 新京特別市熙光路四〇一號
支店 奉天、哈爾濱、安東、齊齊哈爾、
撫順、鞍山、牡丹江、延吉、吉林、
營口、佳木斯、通化、黑河、北京、
四平地

新京特別市西七馬路十四號



滿洲圖書株式會社

電話新京(2)代表※一九二一(3)

製氷、冷蔵、凍菓 (アイスクリーム各種)
新京住吉町九丁目四番地



新京製氷所

工場 電話(2)三八三五番
同 新京住吉町九丁目
同 長春大街 第一工場
同 蓬萊町一丁目 第二工場
同 長春大街 第三工場
販賣所 同 長春大街 電話②六五〇五
同 同 電話②六五〇六
凍菓部 新京長春大街 電話②三三七一
同 同 電話②三三七二
同 同 電話②二五三一

本店 新京特別市大同大街二〇二號



株式會社大興公司

支店 奉天、錦州、新京、吉林、哈爾濱
營業所 國內重要地點三百五十八箇所

營業科目

滿蒙輸出入貿易並ニ委託販賣
米穀其他糧秣ノ賣買及委託販賣
陸海軍諸官衙御用達業

奉天市大和區松島町十九番地

大矢組株式會社

支店及出張所
大連、海城、新京、錦州、哈爾濱、齊齊哈爾、牡丹江、天津、旅順、承德、赤峰、海拉爾

奉天中央郵政局私書函二六號
電話四〇三番・四〇二六番・五〇二四番・六四二番
奉天西區興工街四段二三號・電話五七〇番
奉天市鐵道老松町八番地・電話五七〇番

暖房給湯設備
衛生設備
換氣設備
乾燥設備
炊事設備
病院消毒

以上工事
一般設計
の請負
專賣特許
式花米
鮮總代理店

杉山製作所支店

奉天大和區信濃町五番地 電三一三一四七番
新京興安大路一二二號 電二一一七一番



滿洲鑛業株式會社

奉天市大和區義光街一段十三號

電話代表(二)一五一一番

土木建築請負業



川組

代表 永古由藏



株式會社

永

順

洋

行

本店 大連市山縣通八十八番地

滿洲國本社 奉天瀋陽區一心街一七

北支本社 青島天津路一五

資本金國幣壹百萬圓

滿洲證券取引所取引人

裕民彩票代賣人

滿洲興業證券株式會社

營業種目

- 一、滿洲興業債券、滿洲儲蓄債券、其他有價證券の賣買應募及引受
- 二、有價證券の賣買及應募の受託
- 三、有價證券を擔保とする貸付
- 四、滿洲興業銀行の代理事務
- 五、前各號に關聯する業務

本社 新京特別市大同大街二〇二
 大興ビル電話二一四四九二番
 奉天 奉天市大廣場興銀支店內
 電話二一四一八四番

事務用品
一般文具

製圖板・インキ用紙
定規・計算尺・其他
各種豐富取揃へ!

特製文具 製圖器



新 京 康 德 會 館 一 階



株式會社

滿洲文祥堂

電話(2) 三 四 六 五



近代生活に相應しい服飾雜貨を豊富
 に取揃へ皆様の御用命をお待ち申上
 げて居ります……………どうぞ

大連
 浪華洋行
 電話代表②———

が之は主として關稅關係による生地綿布の輸入に原因する爲である。鐘紡系の康徳染色株式會社、滿洲染色廠等が奉天に於て現在活躍してゐる。

金屬工業 現在の斯の工場として挙げられるものは三十工場であつて、その推定投資額は約一千五百萬圓將來益々發展すべく豫想されてゐる。工場的主要なるものを記せば中山製鋼所、日滿鋼材工業、滿洲製作所、滿洲電線、金鋼製鍊所、滿洲金屬工業、瀋陽橋梁系の滿洲橋梁等の諸會社である。鐵道以外のものでは大連機械奉天工場、滿洲工廠等が活躍をなしてゐる。

機械器具工業 奉天にある各種工業中斷然優位を占めてゐる斯の種工業は現在二十九工場を數へられる。而して其の投資額は約三千四百萬圓にしてその隆盛は刮目するものがある。その代表的なものは奉天造兵所、同和自動車工業株式會社等の所謂特殊會社（後者は國內自動車工業の確立、自動車に關する企業の統制等政府保護の下に多方面に活躍しつつある）を始として國産電氣、滿洲機器、滿洲宮田製作所、滿洲通信機、協和工業、東京電氣、滿洲計器等を數へることが出来る。而して前記金屬工業と共に將來の發展に對して期して俟つべきものがあらう。

滿洲主要都市——奉天

窯業 現在奉天に於ける窯業工業の製品としては建築用の赤煉瓦を主として陶器類製煉、タイル、耐火煉瓦等であり、又近く板硝子及びそれに附随した製品工場として昌光硝子系の滿洲昌光硝子も操業すべく豫想せられてゐる。工場も日本人經營、滿人經營の兩者があり大規模のものより小規模のものまで約七十餘の工場がある。殊に煉瓦工場は好景氣、不況等により多少の消長はありたるも年々發展する建築界の必需品として膨張の途を辿つて来たものである。殊に滿洲建國と共に建築界の一層の隆盛は他に比し著しい影響を與へ益々發展しつつある。奉天に於ける主要窯業工場としては奉天窯業、滿洲窯業、肇新窯業、柏内製煉、滿洲昌光硝子等がある。

化學工業 滿洲建國以來建國諸工作の進行に伴ひ原料の需要も著しく増加し、その輸入量は目覚ましい激増振りを示してゐる。現在奉天に於ける原料工場としては操業中のものは日本ベイント株式會社奉天工場のみであるが、近く神東染料、滿洲ベイント等の進出も約束され、又關西ベイント工場を建設すべく傳へられてゐる。次に藥品工業であるがこれに屬する會社は大同生藥工業、鶴原製藥等であり、寶藥製造工場としては富山縣廣實堂の進出が決

定を見てゐる。之等の各工場から生産されるものは蓖麻子油、工業藥品、鹽酸、苛性曹達等である。

石鹼工業 滿洲に於て供給される石鹼は主として日本よりの輸入品に依つてゐる現狀であるが、然らば現地に於ける石鹼工業は如何と云へば滿洲事變當時は奉天にも相當多數の製造者があつたのであるが、原料製造の比較的高價なに加へて製品の輸入關稅引下げにより、コストの高い現地生産品は全く壓迫され、工場あつても休業状態のものも多く現在のところ關稅改正を持つより外將來への望は殆どないと思はれる。

次に皮革工業に就て云へば、滿洲に於ける斯業はその原料に甚だ恵まれてゐると云へる。即ち滿洲の農家に於て家畜を飼育せぬところは殆どなく従つて多量の獸皮が生産される。然しながら質的に之等を觀るならば未だ不良である。これは自然的原因もあり又皮革製造技術の幼稚なることにも原因するものであらうと考へられる。故に優良皮革は日本、朝鮮、支那等よりの輸入によらざるを得ぬ状態であつたのである。然るに事變後斯の種工業の再發展を促し、滿洲皮革株式會社の創立を見たのである。尤も従来の工場は主として滿人側の工場であつたが約二十數工場を數へられた。然し

五四九

規模も小さく従つて製品も粗雑であつた。近く日本皮革以下二工場の進出が豫想せられてゐる。

次に醸造工業であるが従来は見るべき程のものもなく、国外品に壓倒され勝ちなりしところ満洲護國株式會社の設立あり、又つちや足袋系の國產護國工業、滿洲助産業、秋毎護國等種々操業中乃至は操業準備中であり、將來は相當な發展があるものと見られてゐる。参考までに従來の主なる工場を挙げれば東光膠皮工場、康德膠工場、大和ゴム工場、瀾口ゴム工場等がある。

麥酒醸造業 従來は酒や麥酒は内地製品に限ると云はれてゐたのであるが、滿洲事業を契機としてこの方面の事業に著目せられ麥酒共販會社を主體とする滿洲麥酒と亞細亞の二大工場が設立され、年々成績を挙げ基礎を固めつつある。然しながらこゝに一考すべき點は麥酒の原料たる大麥、ホップ、碎米に就てであるが、この中碎米は品質の改良さへ充分となれば滿洲米にて需要に應じ得るが、大麥及びホップが殆ど生産なく大部分は輸入に仰いでゐる現状である。現在のビールの需要數量は年約六十五萬兩乃至七十萬兩にして、これに對する生産は未だ不足し今後自給自足の實を擧げるまでには大麥、ホップの生産に就て、相當

な研究努力を要すること、想はれるが當局に於てもこの點に留意し事業と共に研究試作中であるから速からずして國産を使用需要を充し得ること、思はれる。

日本酒醸造業 滿洲殊に奉天における諸工業は事變後急激なる進展をなせるものであるが殊に醸造工業中日本酒醸工業に於て著しい躍進を見せてゐる。従來は水質研究の不充分とか、材料蒐集の不便等の理由からして二、三の酒造場があつたが之等は事業不振にして殆ど廢業状態であつた。然しながら其後水質もよく原料の點に於てもさして支障なきことが解り、新に數工場の設立を見、年々膨張する内地人口と共にこの將來は惠まれてゐるものがありと云へよう。然し最近に於ては滿人側の需要も増加の傾向にあるを以つて日滿の差なく前途有望である。これらの工場を紹介すれば萬壽酒造株式會社、株式會社嘉納商店、樓屋酒造株式會社、千代乃春合名會社、株式會社滿洲千福醸造場、鳳凰醸造株式會社等である。

支那酒醸造業 先ず高粱酒であるが従來奉天は滿洲に於ける高粱酒の主要産地であり且又集散地として重要な地位を占めてゐる。然るに農村の疲弊、匪賊の跋扈、支那關稅の束縛による輸出不振等幾多の惡條件重なり、同産廢業するもの續出し一時斯

業も衰微したのであるが、其後滿洲國の機體整備されるに従ひ、漸く舊態に復しつゝある。奉天のこの種工場は日本人側滿洲酒株式會社及び康泉海燒酎の二工場あり、前者は高粱酒の外紹興酒の醸造もなし、それぞれ好成績を擧げてゐる。又其他滿洲特産工業に於ても高粱酒並に理研酒の生産を行つてゐる。滿人側の工場としては義盛泉、永成源、萬隆泉、永興海、德泉湖、聚泉、永隆源等を擧げることが出来る。

染房 斯業者は現在百軒前後あり、これには藍染坊(靑、藍、紫色を專業とするもの)、京染坊(赤、黄、綠その他各種染色を專業とするもの)、彈染坊(衣服、古漬物染色を專業とするもの)の三種類がある。これらは農民を始め綿房子、綿糸布商を主たる顧客としてゐる。然しながら日本製織物物の進出、或は滿人が洋服を服用するやうになつた等から需要の減退を來たし、營業状態も一般に不振の模様である。この種の工場として大なるものは新々染房、瀋陽染房、泰昌染房、福增源、天慶源等であり之らは資本も大きく電力を利用して營業してゐる。が其他は何れも手工業の範圍を出ない。

あるものに油房業がある。現在奉天には同仁恒、豐泉長、立増油房、公興成、公興恒、増盛油房の六軒あり、専ら地場消費を對象として他は米穀商を兼業して販賣するのみである。従つて一般に營業不振である。

織物業 この工業も過去に於ては隆盛であつたが、現在では日本製品の躍進的進出に依り僅かに工場を維持してゐるやうな状態で營業も極めて不振である。尙製品として比較的大なりと思はれるものを擧げれば同德水、興盛工廠、雙合成、至誠水、至誠工廠、同盛工廠、裕民工廠等である。

針織業 斯業者は現在約百軒あり、これも日本製品の進出のため近時營業不振にして解氷期その他の特種的時期以外は注文も激減する。この業者の代表的なものは、永興工廠、德順成、義增厚、大公號、天德源、大公機廠外等を擧げることが出来る。



沿革 本市の建設は今を去る四十年東

滿洲主要都市——哈爾濱

支線建設に當り鐵道建設局の設置された時に始る。當時は瀋陽の散在せる一農村に過ぎなかつたが、帝政ロシアは本市を東方經略の據點となし東洋のモスタワを企圖して大都建設を創めたものであつて、爾來ロシア革命に至る二十年間に投せられた資金は二億六千萬圓と云はれ、其企圖の壯にして且規模の如何に大であるかと思はれる。

其後日露戰爭、世界大戰、露西亞大革命露支の角逐等多彩な變遷を經、嘗てのロシアの牙城であつた本市は今や王道の曙光に包まれ滿洲國北滿の雄都として勃興しつつある。

地誌 本市は緯度には樺太の南端に相當し、經度には地球の西方附近に當り、面積は八六四平方軒の廣大なる地域に及ぶ。標高僅に百四十米にして沿岸地區は松花江水面より低位であるので其の氾濫に遭ふや水禍の洗禮を受けた事は一再でなかつた。

氣象は雨量少く所謂大陸的なを免れな

十餘萬に上り現在約四十七萬に達し奉天に次ぐ滿洲第二の大都市である。

其の人口別も三十箇國に及び國際都市の名に背かない。

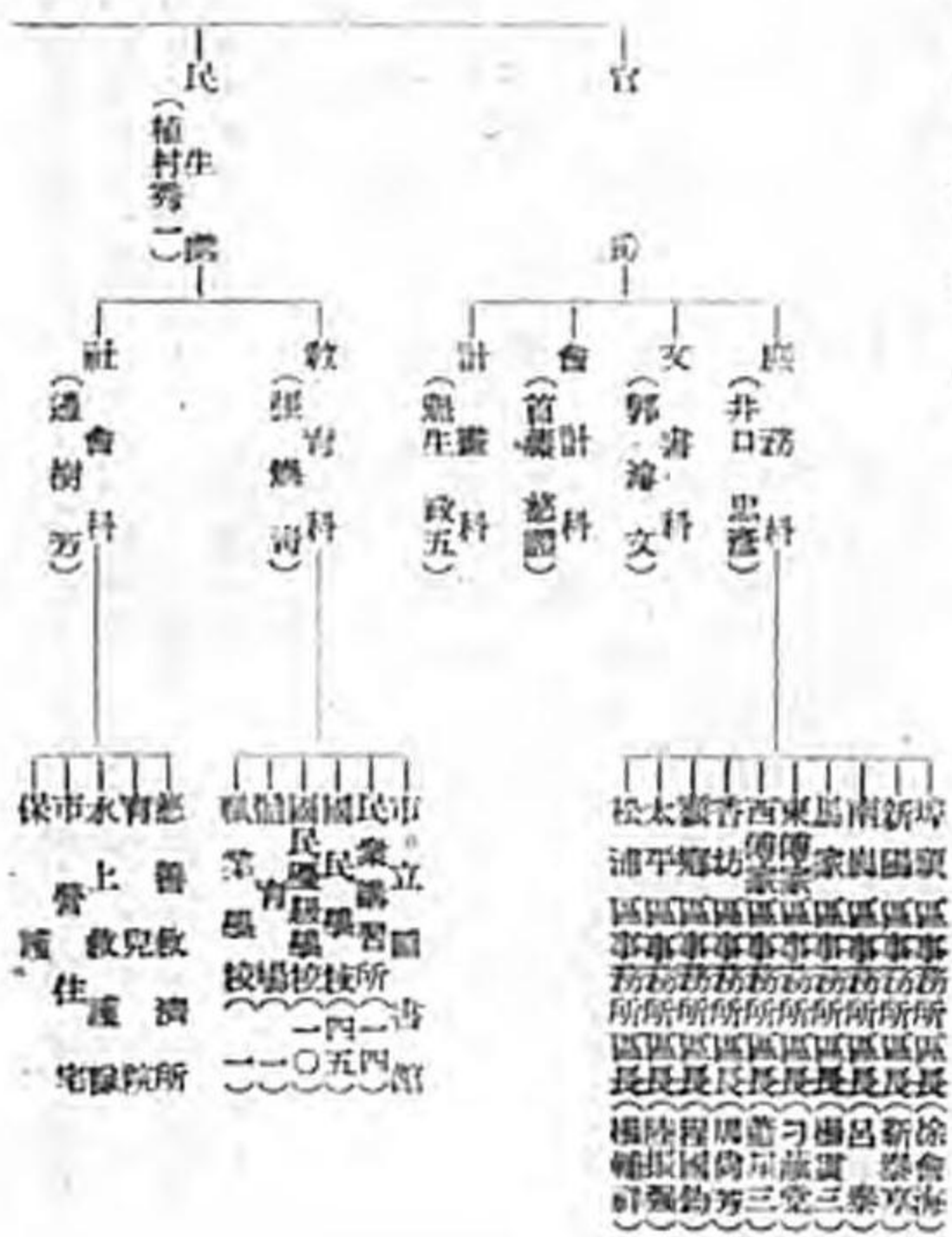
又古くより歐亞連絡の形勢を占め、京滬線、濱綏線、濱洲線、拉濱線、濱北線の五線を擁すると共に北滿を東西に貫流する松花江水運の便に惠れ、北滿航空網も亦本市を中心とし實に交通の要衝に當つてゐる。

市制 東支鐵道の北滿經略時代以來本市は北滿政治の中心であつたが、滿洲國が創建するや漸次其の政治的色彩稀薄となつたと云へ尙省公署、各法院、郵政、稅務の各官廳等官衙尙妙くない。

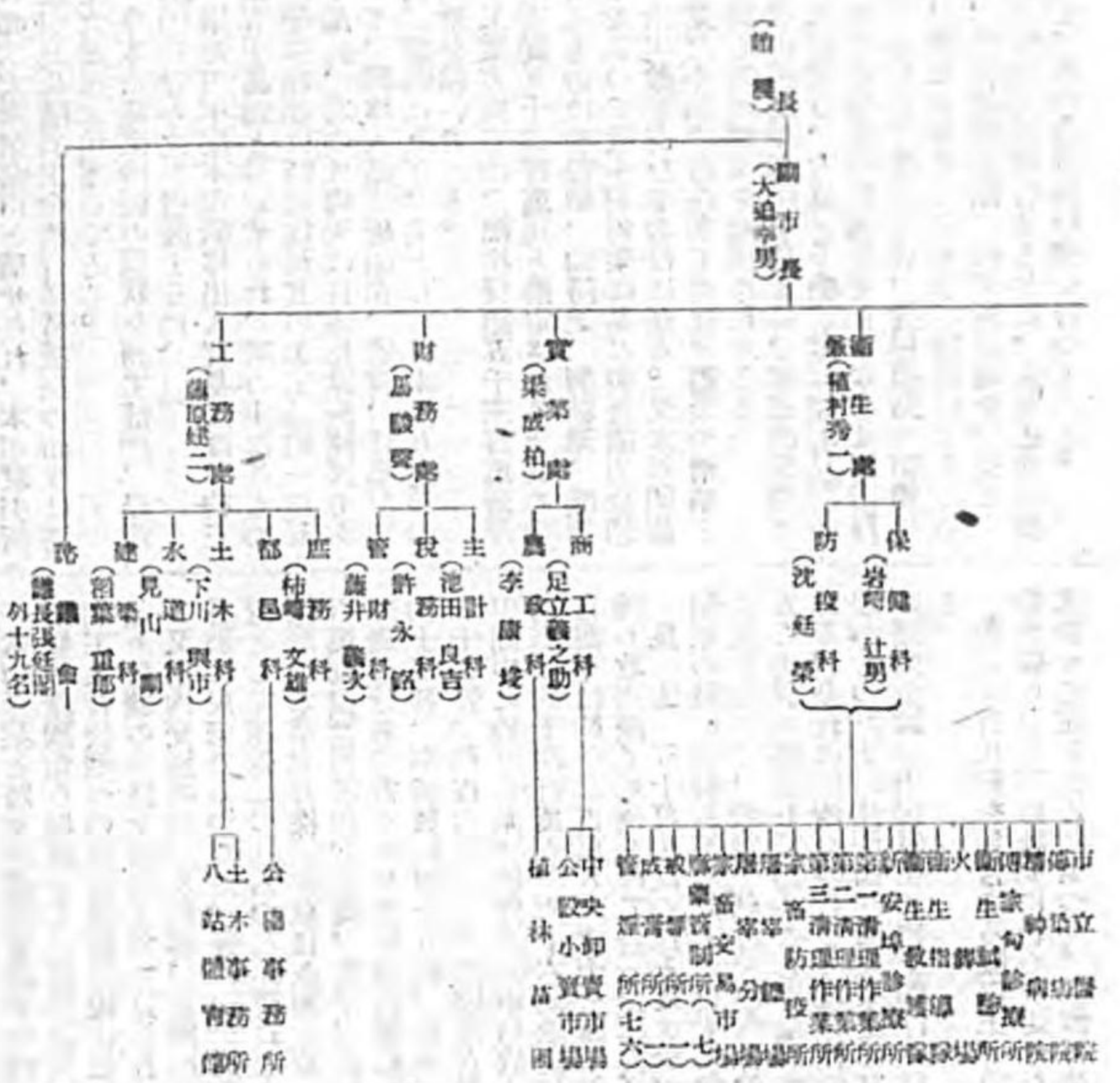
し更生した。
 次で客歲七月一日滿洲國行政機構の大改革断行せられるに當り、本市は其の現狀に即應する爲に普通市に改編され濱江省の管轄下に置かれることになった。又自治市時代より自治委員會存し各民族より其の委員を選出し議決機關として市政に参畫したが客年十二月一日改正市制の施行と共に廢止され、之に代り民意暢達の爲諸機關たる諸議會の設置を見其の定員は特に二十名で現在は日本人六名(内朝鮮人一名)滿人十二名、白系露人二名の會員を以て構成され市長の諮問に應じて居る様な現況である。
 現在市公署機構は官房、五處(民生、衛生、實業、財務、工務)にして之に二十八科を配置してある。蓋し經濟國策の強化、産業五箇年計畫の進展に順應する爲には機動性に富む體制に強化するの要があるに鑑みて本年頭現機構に改編したものであると共に七月一日以來従来の交通局を株式會社組織に改組せり。且つ本市は市政實施古く從來より廣範圍に亘り各般の事業を経営せる結果、附屬機關極めて多く従て其の従事員も五千に垂んとし、其の内譯は滿系八割、露系七分、日系一割三分の割合である。
 財政 成立の沿革に鑑みて、財政上北

滿鐵路に依存する處渺なかつた爲、該鐵路の買收成立に伴ひ從來の財政計畫を根本的に變更するの必要を生じた。而も國地稅制の整理に依り市の重要財源を逐次國庫に移讓され建國以來財政上幾多の難關を経て來た。一方歲出に於ては非常時局の進展と産業五箇年計畫等國策遂行の基本線に沿ひ、本市が有する新なる北滿中心都市的使命達成に必要な諸經費逐年増大し、大同二年

市公署組織表



度豫算三百萬圓に對し康徳六年度は二千萬圓の巨額に達するに至つた。然しながら市勢著しく活況を呈し、各種收入の自然増收と元費の節減に依り、現今では各會計共毎年度相當額の歲計餘剰を生ずるに至つた外、不動産を以て基本財産百九十萬圓を設定する等健全財政の基礎確立に努力してゐる。
 康徳六年度豫算の内譯を示せば



(一) 一般會計(經常、臨時會計)
 (二) 特別會計(經常、臨時會計)
 都市計畫事業費(經常、臨時會計)
 管理事業費(同) 同
 基本財(同) 同
 水道事業費(同) 同
 中央卸賣市場費(同) 同

産業 過去に於ける本市産業經濟の發達は豊富なる資源を有する北滿の中心に位置し、水陸交通の便宜を有すると共に、東支鐵道の極端なる保護政策に依存するところ絶大なるものがあつた。其の結果哈爾濱市は北滿に於ける年度約七百萬圓に及ぶ特産物及之に代る輸入物資の集散並に中繼地となつた。之等を對象とせる各種産業は南滿各都市と何等の連繫なく獨自に異常なる發展を遂げた。
 斯の如く有利な地位に在つた本市諸産業も滿洲事變を契機とし之に次ぐ北滿鐵道接収の後には度量衡の統一、通貨の一元化、交通網の發達等の新情勢により南滿各都市と同一經濟圈内に置かれ、其の重壓を避け得られない状態に立ち到つた許りでなく、東方浦鹽斯德港との連繫遮断は致命的結果を齎して本市産業の諸面貌は一新するの巴むなきに至つた。然し乍ら北滿の中心都市としての地理的優位は尙南滿の奉天市と共に

本邦二大産業都市と稱せられ、本市取引所取引高及積預正金銀行爲替振高の如きは遠く大連市と角逐してゐる。

今本市産業經濟の現状を商工部門、農産部門に分ち之を概観するに、
康徳四年度本市輸移出入貿易額は、約三億五千萬圓と推定せられ、其の主なるものは輸移出品は特産物及其の加工品約一億五千萬圓、其の仕向先は日本及歐州諸國であつて、輸移入品は綿絹布、雜貨、建築材料約二億圓に及び、主として日本より之等の供給を仰いでゐる。

工業方面では、總投資額五千三百萬圓を生産額九千二百萬圓と推定される。其の主なるものは製粉業、油房業、製糖業、醸造業であつて就中製粉業は其の製造能力全滿の過半數を占むる地位に在る。又本年開設を見たる滿鐵畜産加工工場は、畜産の増殖と關聯し其の將來を期待されてゐる。

次に農畜産部門を見るに、本市總面積の約六割五分、七萬五千畝(五四二五方畝)の意大なる農耕地を現在有する本市は都市行政と並行して農村育成、農村道路の整備等農村對策を怠せに出来ない特異性がある。で、既に植林苗圃、種畜場畜場を經營し、農民の向上に努むると共に、適地適作を獎勵し、畜産の改良増殖を計つてゐる。

指導隊、救護隊を編成活動せしめ、且屢率場家畜交易市場、清理作業所、墓地等を經營し、世界最盛都市に於ける市民の保健に最も注意してゐる。

又昨年より實施した阿片斷禁國策に従ひ從來の市内許可零賣所を接收して市營事業としたが、之より生ずる公營收益を擧げて癮者の救護其他の醫療施設の整備に充當する方針である。

都市計畫 大同二年千五百萬圓の起債により都市計畫の大事業に着手したが、從來四箇所に分裂發展せる既成市街を綜合整備すると共に新に、創立市街を經營し近代都市を建設する特異性に満ちた計畫で本計畫は三十年後に於ける人口百萬を豫想したものである。即ち都市計畫區域は市街計畫の中心點より半徑約二十五軒の區域を以てし其の面積約八百平方軒に及び將來に於ては必要に應じ特色を有する多數の衛生都市を計畫出来る様にしてゐる。

市街計畫區域は市街計畫の中心點より半徑約十軒の區域にして、其の徑東西約十八軒、南北約二十一軒、面積約三百二十平方軒にして本區域に對して目下事業實施中である。尙市街計畫區域外に職員二軒の綠地區を設け無制限市街化を防止す。
本區域内の用地種別及用途地域並に面積

本市産業と將來は産業五箇年計畫、移民計畫の諸國策を樞軸とし、農産物の産給、加工及背後地への物資供給の線に沿ひ今後益々發達の一路を迎へるものと見られる。

又市内交通機關たる電車、自動車は従前各別に民營であつたが、疊に之を買收し市營として運營しつゝあつたが更にこの市交通局を本年七月株式會社に改組し資本金五百萬圓總務、經理、企畫、電車、自動車の五課に分ち、電車の營業軒延長單複合して約十三軒、車輛數約四十五輛、自動車は百三十二軒、約百六萬圓にして其康徳六年度上半期中に於ける乗客總數並車料收入は、電車は約千四百萬人、六十六萬餘圓に及び自動車は約千二百萬人、六十一萬餘圓に達し收支漸く均衡を得て居る現狀である。

民生 五十萬市民の住み良き哈爾濱の招來の爲に福利施設の向上は最も重點を置く所であつて、教育、社會、衛生各般に亘りて施設の整備してゐることは全滿第一である。是れは露西亞時代より既に相當の施設があつた上に滿洲國建國以來更に其の充實擴張を圖り市民厚生を實に擧げた爲である。

教育は各民族を包含する關係上、教育複維多岐に亘り其の統制に苦心を要したが兩度統一整頓を見るに至つた。亦治外法權撤

廢、行政權移譲並に新學制の實施と共に、根本的なる諸般の改革を斷行し、學校教育、社會教育に意を注ぎ健全なる第二國民の養成に努めてゐる。

今學校數並學生數を右表に示せば

Table with 2 columns: 國民學校 (National Schools) and 私立學校 (Private Schools). Rows include 公立私立 (Public-Private), 公立 (Public), 私立 (Private), 合計 (Total), and 學生數 (Number of Students).

以前には屢々惡疫の襲ふ所となつたが、市政實施以來觀念各施設の整備を圖ると共に衛生思想の教化向上に努めたる結果、保健方面に於ても面目を一新した。

衛生施設の主なるものは、各種病院、診療所、衛生試驗所等完備する外、別に衛生

左の如し。

(イ) 用地種別表

Table with 2 columns: 種別 (Category) and 面積(平方軒) (Area in square units). Categories include 公用並公共用地, 公園、運動場及墓地, 河川用地, 江川用地, 其他公用並公共用地, 工場用地, 普通民用地.

Table with 2 columns: 種別 (Category) and 面積(平方軒) (Area in square units). Categories include 市街區域内 (City Area), 市街區域外 (Outside City Area).

都市計畫事業 今や本都市計畫事業も既に第一期を終り、昨年度より引續き第二期事業に入るに至つたが同豫算は一、二期を通じ總事業費二千八百十三萬圓とし其施行に當りては人口増加の趨勢其他諸般事情の推移に深く留意し、一部重點主義的に修正し急を要する地區より實施してゐる。

るが、大同二年に市街計畫區域並近郊一帶二百四十二平方軒を三百二十萬圓で買收し次で康徳三年乃至五年の二回に亘り殘餘を市街地殆んど全部五十六萬平方軒を七百五十萬圓で買收し、本市市街用地はあけて市有となり、世界に類例を見ざる廣大なる市有土地を有するに至つた。因りて生ずる收益は凡て各種公共施設の擴充並市債の償還に充當するもので此大市有地主義の結果、地價並諸施設の統制ひいては住宅問題或は各種要地の設定配分等都市計畫並社會政策的土地經營の完備を期してゐる。

上水道は水源地の建設は既に完了し現在八萬人に對する給水設備を有し、目下使用者約六萬人一日配水量約六千五百噸にして尙餘力を持ち、配水管總延長百二十五軒で水源施設は防空防禦の見地からすべて地下に埋没する。

下水道使用狀況は十二萬六千餘人、下水施設區域内人口に對しては約三十四%に達し、排水場六箇所は前年度を以て既に完了した。

土道を除き悉く舗装が施されてゐる。都市計畫事業に伴ふ公共施設は公園、苗圃、墓地、糞尿處理場、公園、苗圃は大小合して二十二を數へ、總面積約百一十一萬平方米に及び、其他橋樑路樹多く全滿に例を見ない「緑の都」の都を構成してゐる。墓地は市有のもの五箇所、宗教其他の團體の管理に屬するもの二十五箇所及び、總面積約三十二平方千米あり、又鹽素殺菌法による糞尿處理場も康徳三年既に竣工を見た。

計畫案變更 三十年後に於ける人口百萬を豫想せる右計畫案はその後北滿諸情勢の變化により昨秋大規模を餘儀なくされるに至り今後は専ら道路、上下水道その他公園等の既設施設の整備に止まることとなつた。

區劃の施行 廣汎なる市政の發達を期すべく改正市制第十四條に基き行政區を設置することとなり、七月一日を期して十區を布き其の下に分區を置き更に牌を編成した之等には各々協和會の推薦により市長の委任する所の名譽職たる長を置き市政各般の事務を補助させてゐる。區、分區並牌の區域名稱に就ては本市は從來の保甲制の運用を尊重して原則として之を踏襲する方針を採り只都市計畫上の觀點並に警察管區の關

係より多少の變合を行つた。今其の組織を左表に示せば

Table with columns for district names (e.g., 中山區, 道里區), number of wards (區數), and number of streets (街數). It lists administrative details for various districts in Harbin.

主要官公衙 協和會、江省水警、駐哈日本軍司令部、總領事館、哈爾濱鐵道局、哈爾濱警察廳、哈爾濱市公署、市警署、江省警察廳、哈爾濱高等法院、同高等檢察廳、地政管理局、郵政管理局、北滿江區局、滿洲電信電話管理局、中央電話局、放送局、市立病院、哈爾濱市立公會、日本赤十字社病院、滿鐵病院、鐵道病院、佛蘭西圖書館、英國、美國、德國、ソ聯伊太利、佛蘭西領事館、葡萄牙、白耳國、波蘭、エストニア、和蘭、リトビヤ、チエツコスロヴァキヤ、リトニア、各領事館。 教育施設 哈爾濱市立各小學校、公私立國民學校、警察學校、國立高等工業學校、省立師範學校、省立男女子師範學校、哈爾濱醫科大學、哈爾濱鐵道局醫學專門學校、日本小學校、青島學校、中學校、女學校、哈爾濱學院、其他諸人、國人、波蘭人經營學校十數校、大韓科學院。 主要會社・銀行 哈爾濱交通會社、國幣運輸支店、哈爾濱農商會社、三井物產出張所、哈爾濱支店、興業銀行支店、大同銀行支店、東洋拓殖支店、滿洲電氣支店、三友商會出張所、中央銀行支店、正金銀行支店。 言論機關 (日本文、哈爾濱日新聞、哈爾濱新聞、哈爾濱報、(ロシア文)ハルビンスコエ、クレーマヤ(日刊)滿洲大北新聞。 交通機關 哈爾濱を中心として派出してゐる鐵路には濱洲線、京濱線、濱洲線、拉濱線、濱北線の五あり(大哈松花江の支流嫩江、呼蘭河、牡丹江の枝川には勿論、遠く黒龍江並にその支流に鐵路の便あり)。航空(滿洲航空會社の定期鐵路は哈爾濱を中心として西は齊々哈爾濱、滿洲里に及び、南は新賓、奉天を経て新賓州から日本に連絡)。(市内の乗物)電車、自動車、馬車、人力車、冬季には橇、電車は哈爾濱市中心として埠頭區、馬家溝及び傳宗街へ、市内バス。 主要産物 大豆、豆油、豆粕、小麦粉、酒精、ウツカ、麥酒、甜菜糖、蠶絲、皮革、毛皮、毛織物、木材、ベニヤ板、毛織物、石炭、煤油、毛皮類、菓子賣石。 社 寺 哈爾濱神社、孔子廟、ウタリインスキー寺院、ソフインスキー寺院、中央寺院(キリシヤ正教)ユダヤ教寺院、回教寺院、木蘭寺、彌樂寺(滿寺にて北滿最大)。 名 蹟 忠靈塔、富士の碑、彌樂寺、道源公園、呼蘭、玉泉、阿城、孔子廟、建國記念塔、哈爾濱神社傳説博物館。



沿革 青泥窪と稱へた一寒漁村大連が國際市場に登場、世界の觀聽を集むに至つたのは西歷一八五八年(清の末期咸豐八年)英佛聯合軍が北京天津を攻撃するに際しこの地を根據地となしたに始る。史實によれば當時この地はヴィクトリア灣と云はれ、海灣一帯はマイルン灣と名づけられてゐた。 その後北洋通商大臣李鴻章は旅順港及大連灣に軍港、砲臺等を建設するに決し先づ旅順港の防備に着手し、柳樹屯其他に砲臺を築造した。これが清廷が大連灣一帯に多少の施設をなした嚆矢である。 近くは極東に虎視眈々たる露西亞が歐洲方面の途を斷たれ一八九八年(明治三十一年)に締結した露清條約により、極東の不凍港としてこの地を選びデルニー(遠方の

護)と名を附して都市建設を企てた。然し之等建設も日露戰役に於ける日本の大勝に依り遂に關東州半島は日本の占有に歸し明治三十八年(日露戰役)に舊稱デルニーは大連と改稱するに至つた。 爾來日本の手に依る大連市の建設が開始され、ポーツマス條約が締結されて關東州は完全に日本の租借地となり大連灣滿洲鐵道の經營となつて租借地の統治機關として關東都督府が開設せられ官治行政の下に諸般の施設經營が行はれた。 滿洲の建設には南滿洲鐵道がその任に當り市街の建設工作は關東都督これに任じ市區計畫、道路、上下水道、建築等の施設から諸官廳の開闢に至る迄新興文化都市として日本の持つ唯一の國際都市計畫が進捗し遂に今日の威容を誇るに至つたものである。 面積 大連市は陸上大連、海上大連の二つから構成された海港都市である。即ち陸上都市大連の面積は露治時代百二十七萬六千七百八十五坪と註されたものが現在七百二十六萬六千六百六十餘坪に擴大されてゐる。更に海上都市としての大連港灣は大連灣の西半部を占むる約三萬坪の水域を有し陸上、海一の比率より構成されてゐる。尙水域の方は放泊區、柳樹屯、大連區の三區に分たれ、その主要な部分が大連區

の中にあるので、北東に向つて南方約一里餘の防波堤が築らされて、その堤内の水域は九十九萬坪と註されてゐる。 位置 日本中央標準時からすれば西に一時間の時差を拂つてゐる。今この緯緯度の上下より適にその環境を見るに、東西及南の三方は總て海を以て圍繞せられ海隔て、朝鮮を望み、西は渤海に直而して北支那に對し、南は黃海を隔て、山東省と相對してゐる。 氣候 俗に三寒四溫の大陸性氣候で平均氣温は一〇・二度となつて居るが大體特有の激變性に富み、最寒期に入りては平均零下五度最高二・九四度、夏季は之に反し平均二四・六度最高三五・七度を示してゐる。 風向、風速の點からすれば、大連に於ける最多風向は四、五、六、七、八月は概ね南風で、九月から翌年の三月迄は北風と見れば大差ない。 降雪量少く多期間に於ける降雪は僅か二十五日に過ぎない。 湿度は年平均に於て内地より乾燥の度極めて高い。

滿洲主要都市—大連

戸口 (昭和十三年末現在)

Table showing population statistics for Dalian in 1933, categorized by gender and residence type (urban, rural, etc.).

市制 現行大連市制は大正十三年五月發布された勅令を昭和十四年四月二十四日發布同年五月一日より實施された市制改革に基くもので官民同治の新市制であり市長は別宮秀夫氏副市長は田中稔氏が就任した。

なり新たに文書、土木、殖産の三課を新設秘書、市場、産業の三課を廢止大連の面目を一新した。
財政 大連市に於ける市税の内容を見るに左の六種に分れ、昭和十四年度豫算に於て
一、戸別 二百三萬四千圓
二、不動産取得税 三萬九千圓
三、特別税 二萬六千七百圓
四、特別税 三萬八千九百四十六圓
五、特別税 二萬四千五百二十五圓
六、特別税 二百圓
以上合計二百三十八萬四千九百六十六圓なるも右の内本年度に於ける遊興税は國稅の賦課に依り之を賦課し得ざる爲國庫より相當金額の補助金ある見込みなり。
尚今回市制改正に伴り移管を受けた教育、土木の經費の財源へ道路占用料等の財

Table showing various financial and administrative data for Dalian, including departmental budgets and expenditures.

滿洲主要都市—大連

Table showing financial data for Dalian, including income and expenditure for various departments like public works, education, and social welfare.

Table showing financial data for Dalian, including income and expenditure for various departments like public works, education, and social welfare.

Table showing financial data for Dalian, including income and expenditure for various departments like public works, education, and social welfare.

Table with columns for 出入貨物 (Imports/Exports), 貿易 (Trade), 市制改正 (City Reorganization), and 費收入支出 (Revenue/Expenditure). Includes numerical data for various categories.

二十三萬二千七百七十六圓に達し輸出貨物... 市制改正に伴う影響... 大連は交通運輸の至便廣大なる...

滿洲の文化施設... 大連の金融機關... 大連の工業... 大連の商業... 大連の教育...

大連の交通運輸... 大連の金融機關... 大連の工業... 大連の商業... 大連の教育... 大連の衛生...

大連の交通運輸... 大連の金融機關... 大連の工業... 大連の商業... 大連の教育... 大連の衛生... 大連の交通...

主要都市

吉林省

吉林

△位置 奉天より四四七六軒、圖們へ四〇〇三軒、新京へ二二七、七軒の地點で第二松花江に南面して、北山、小白山、龍潭山、團子山等に圍まれた山築水明の古都、滿洲の京都と稱する。

○戸口 (康德六年七月末調査)

戸口	二八、五三〇
人口	一三五、〇〇八
内地人口	一一、二〇〇
牛島人口	三、八九五
人口	四一

△主要機關(滿洲國側) 吉林省公署、永吉縣公署、市公署、警察廳、稅務監督署、稅務局、專賣署、營林署、郵政局、高等法院、

高等檢察廳、吉林監獄、省立病院、地方法院、戒煙所、農事試驗場、地方警察學校、都市金融合作社、林務署、電氣局、大體滿建設事務所、吉林國立師範高等學校、國民高等學校四、女子國民高等學校一、國民初級學校二、國民優級學校一、女子師範學校一、助産學校一、幼稚園一、青年訓練所一、指導訓練所、吉林電話電報局、電業吉林支店、中銀吉林支行、商工公會協和會吉林省本部、協和會吉林本部、滿航吉林出張所、觀光協會。(日本側)吉林鐵道局、吉林醫院、在郷軍人分會、吉鐵巡回醫庫、高等女學校一、小學校二、同文商業學校一、青年學校一、陸軍病院、學校組合幼稚園一、興銀吉林支店、吉林銀行、吉林無毒株式會社、吉林燐寸株式會社、滿洲林業吉林支店、滿

洲坑木吉林支店、大同洋灰株式會社、吉林產業株式會社、滿蒙毛織吉林出張所、國際運輸支店、ジャパントリースト、ビーエロ(支那側)中國銀行、功成銀行、吉林人造石油株式會社(資本金壹億圓)吉林電氣化學工業株式會社(資本八千萬圓)、東洋紡績株式會社。

△新聞 滿日吉林支局、大新京吉林支社、大同報成京支社、吉林新聞、滿洲新聞支社。

△交通機關 京吉バス、市内バス。

△名所 北山(多スキー場)、龍潭山、松花江、鶴湖。

△社寺 吉林神社、紅卍會、西本願寺、基督教會、メソジスト教會。

公主嶺

△位置 滿鐵本線大通より三九哩、北方新京(三九哩、四方地味肥沃なる平野の中に在る。北緯四三度三〇分、東經一二四八分。

△主要機關 陸軍病院、公主嶺街公所、滿鐵病院、公會堂、吉林省公署土木出張所、新京檢察局公主嶺分處、公主嶺區法院、新京地方法院公主嶺分庭、警察署、農事試驗場、農業實習所、農業學校、青年學校、家政女學校、實業補習學校、普通學校、小學校、幼稚園、興業銀行支店、大同電氣支店、公主嶺建物株式會社、吉奉汽車株式會社、同和自動車株式會社、公主嶺修理工場、輸入組合、金融組合、電信電話局、國際運輸營業所、滿洲織物工廠、淺野釀造、懷德農租局、牧草原圃圃、商工公會、農

△氣候 全く大陸性氣候にて冬期は零下二二度内外、夏季は一〇〇度に近い。

○戸口十四年七月末調査

戸口	七、四一七
内地日本人	一、三四八
牛島人	二〇九
人口	八、五八八
其他	二
人口	三六、七九六
内地日本人	二、七三一
女	一、二七五
牛島人	五八八
女	四五六
人口	一、四三三
女	一、〇五〇

龍江省

齊々哈爾

正寺、佛心寺、一妙寺、金光教、教布所、天理教布教所、稻荷神社、倉本少佐忠魂碑、殉難警官忠魂碑、露國人墓地。

新站

△位置 吉林省額爾古納西北方に位し拉濱線と京圖線との交叉點にして面積約二十六萬畝内水田及畑地は約一萬畝平野は全面積の五分一を占めてゐる。(一畝は八萬歩)

△氣候 四方山を巡らし風至つて少なく夏最高一三〇度多は最低温度零下三十度より卅八九度

△位置 嫩江の東岸北緯四七度二分、東經一二五度五分。海拔一五二米、龍江省城にして西部北滿に於ける政治、經濟、交通の要衝である。

△氣候 所謂大陸的で寒暑の差が激しく冬季は最低三度、夏は最高四十度上つたことがある。降雨日數年平均八十日、初雪十月十八日、終雪四月十五日、初霜九月二日、終霜五月五日。

事合作社、甜菜試作場、金融合作社、公主嶺金融會、日華公司、懷德縣公署、警務局、郵政局、稅務局、滿洲中央銀行分行、露天市場、勞工協會、協和會縣本部、同公主嶺聯合分會、日本帝國在郷軍人分會、公主嶺時局後援會、護勇奉公隊、滿洲國防婦人會。

△交通 鐵道は滿鐵本線、自動車は懷德縣城並に伊通城に通ずる聯合自動車道路、(一)東南方露山屯を経て百支里伊通河に、更に百八十支里進めば、磐盤山、(磐石縣)に。(二)南方二十五支里にして二十家子四十五里にて小孤山に、吉林街道に合して東方伊通河に、(三)東方五十支里入家子(懷德縣城)に達す。(四)北方二十五支里朝陽坡を経て四十五支里小城子に(五)西方百三十支里に楊家大城子に。

△主要施設 公園、墓地、葬祭場、火葬場、下水道、新聞支局。

△社寺 公主嶺神社、招魂社、高野山、大師寺、西本願寺、興

△主要機關 協和會、警察署、鐵道病院、街公所、金融合作社、電氣會社、電機會社出張所、商工公會等。

△産物 米、大豆、木材、山葡萄酒、烏拉草、木炭、鴨、黃鶩

△名蹟 新站神社、東本願寺、拉法山。

△交通 南は平齊線に由り四

公社齊々哈爾濱出張所。
 ○教育機關 省立圖書館、省立男子師範學校、日露專修學校、第一、第二、第三國民高等學校、女子國民高等學校、(日本側)齊々哈爾濱高等女學校、青年學校。
 ○日刊新聞 (邦文) 北滿洲日報 (滿文) 黑龍江民報。
 ○社寺 齊々哈爾濱神社、東本願寺、本派本願寺、妙法寺、護國寺、日滿寺、高野山、金光教、天理教、清風寺、城皇廟、聖廟、關帝廟、財神廟。

洮南

○位置 平齊線の主要驛四平街より三二〇軒九、齊々哈爾濱迄二五〇軒五。
 ○交通 バス市外突泉及安東及市内重要街大賣方面へ。
 ○人口 (康德五年八月末調査)
 戸数 九、一四一戸
 人口 五二、〇一三人
 日本人 三七一戸
 日本人 八七〇人
 牛馬 三五一人

北安省

北安

○主要官公衙 縣公署、地方法院、同檢察廳、奉天第九監獄、電信電話局、郵便局、鐵路監理所、洮南驛、商工公會、衛公所、鐵路局病院、警務隊出張所、電業出張所、警察署、專賣署、協和會、洮突稅捐局、國立種馬所、農事試作場、家畜交易市場、縣立病院。
 ○産物 畜産、畜産加工品、高粱。
 ○主要機關 中央銀行、國際通輪、日本子會、金融合作社、洮南在郷軍人分會、國防婦人會。
 ○教育機關 教育會、縣立圖書館、醫學研究所、青年訓練所、農民道場、日露講習所、男子及女子國民高等學校、日本小學校、光化國民學校、天主教一、キリスト教二、回教一、ラマ教二、佛教六、洮南神社。

○位置 北安は北安省の中央に在り北緯四八度八東位二二六度四の地點に在り北滿産業、交通、政治、軍事上重要な地に在り。康徳六年六月一日、滿洲國策北邊振興の重役を背負て生れた北安省公署の所在地であり省公署に關連した各機關及特殊會社の設立等革命的發展振りを示して居る。
 ○人口 (康德六年七月調査)
 戸数 一、九五六戸
 人口 一、八四三
 軍關係は軍備も算入せず
 邦人 三、五七九
 戸数 (邦人) 七、五七九
 ○官公衙其他 北安省公署、北安縣公署、警務局、協和會省本部、協和會縣本部、警察署、中央銀行支行、電燈會社、電業會社、郵政局、專賣局、稅捐局、總局病院、縣公署診療所、生活必需品會社支店、勞工協會支部、大阪毎日、滿洲日日、滿洲新聞各支局。
 ○交通 北安は洮北線、齊北線の終點であり北黑線の起點。

三江省

佳木斯

○位置 東經百三十度四十三分北緯四十六度五十二分、哈爾濱へ水路四〇〇軒、牡丹江へ六八五軒三江省公署の所在地にして又樺川縣城であり松花江岸に在り水陸の中心都市である。
 ○人口 (康德六年八月末調査)
 戸数 一七、二四七戸
 人口 一〇一、六七八人
 邦人 九、八五二人
 戸数 二、三四九人
 邦人 八、九三九人
 ○主要機關 省公署、市公署、日本小學校、房產會社、勞工協會、同和自動車會社、日滿製粉會社、法華寺、大禪寺、東本願寺、西本願寺、佳木斯神社、東宮會館、三江省會館。
 ○交通 圖佳線の終點であると共に綏佳線の終點たり。松花江に依る哈爾濱との定期航路の便あり。又富錦、虎林、黑河方面へ客貨共に連絡す。

牡丹江省

牡丹江

○位置 東經一二九度三六、北緯四四度三五、東一九〇軒、綏芬河、西三五四軒ヘルピン、南二四八軒蘭門、北三三三軒佳木斯(牡丹江其縣)
 ○市街 全市を九區に分ち現在の市街第一、第二、市街を東西南北中の五區とし郊外即ち掖河、樺林、興隆、謝家等を四區に分ちて區制を行ふ。市區域二百七十七平方軒の廣大な面積を有し、毎日に市街擴大人口激増第二のヘルピンを目されて躍進しつつあり。
 ○氣候 大陸的にして夏は百二三十度多は零下三十度。
 ○人口 (康德五年七月末調査)
 戸数 一、一五、一一一戸
 人口 三、八六六
 邦人 一、七、三四四
 日本人 五、〇二五
 牛馬 一、五、五二三
 六九、二六四
 合計 二四、六七三、一〇二、二五八

○主要機關 牡丹江省公署、牡丹江市公署、鐵道局、日本領事館、交通部土木建設處、專賣署、稅捐局、滿鐵建設事務所、鐵道警務隊本隊、警務局、警務署、高等法院、高等檢察廳、地方檢察廳、同地方法院、警察廳、郵政局、電信電話會社管理局、電報電話局、放送局、地方調查所、協和會省本部、同市本部、鐵道醫院、商工公會、勞工協會、日本高等女學校、日本小學校、國民學校、兩級小學校、學校組合、中央魚菜市場、觀光協會、常設消防隊、ヤマトホテル。
 ○銀行會社 電業會社支店、國際運輸支店、興業支店、ツオリストビニロー、中央銀行支店、木材工業株式會社、協和林業株式會社、親和貿易株式會社、三井支店、三菱支店、滿洲會社出張所、日滿商事出張所、航空會社出張所、康徳製粉工場、商業銀行、滿洲マルブ工場、東亞殖産會社、東滿農事會社、中東海林公司、滿洲房產會社出張所、高麗號百貨店、官吏消費組合。

寧安

○新聞 國通支局、哈日支社(現地版發行)大朝、大母、滿日、滿新、大北、各支局。
 ○社寺 東西本願寺、日蓮宗眞言宗、淨土宗、各布教所金光教、天理教布教所、牡丹江神社。
 ○名蹟 牡丹江公園の唯一の名所とし近郊に鏡泊湖寺の遊覽地あり、瀋陽は東京城、寧安(寧古塔)あり。
 ○位置 圖佳線要驛
 ○氣候 最高百二十度、最低零下二十八度。
 ○人口 (康德五年七月末調査)
 戸数 一〇、五五〇
 人口 四九、二八〇
 邦人 一、二七七

○主要機關 縣公署、街公所、稅捐分局、農民訓練所、種畜場、原種圃、農事試驗場、電報電話局、警察署、警務署、中央銀行支行、協和會支部、金融合作社、農事合作社、金融會郵政局、電氣會社出張所。
 ○社寺 建國廟、觀音閣、山東廟。
 ○産物 小麥、大豆、葉煙草、ニンニク、甘草、木村、其他野菜類
 ○名蹟 忠魂碑、依田大橋、寧安公園。
 ○位置 洮北線の要驛、洮江へ三三軒三、馬家へ七軒八。
 ○市街 寧安十數町の處にあり滿洲における支那式都市として殘された唯一の典型、民族研究の好資料多し。
 ○人口 (康德五年七月末調査)
 戸数 九、三三〇戸
 人口 五〇、二六八
 邦人 二、〇〇人
 ○主要機關 縣公署、地方法院、監獄、稅捐局、電報局、電話局、公安局、消防隊、商工公會。
 ○交通 鐵道は洮北線、水運は呼蘭河より松花江に通ず、バスは哈爾濱、同江線が通過、冬季馬船口との間に運轉(一日一往復料金國幣八角)。
 五六五

滿洲主要都市——海倫、綏化、延吉、通化

海倫縣本部、電報電話局、四鄉電話局、稅捐局、郵政局、專賣局、農事合作社、商工公會、北安電業支店、中央銀行支店、興業銀行出張所、金庫會、金融合作社、國際運輸營業所、國民高等學校、女子實業學校、日本小學校、日滿製粉工場、滿日亞細亞工場、海倫法院、街公所。

海倫

○位 置 北は通河河によつて通北縣に、西は拜泉明水の兩縣に、東は綏化縣に、南は望奎、寶崗の二縣に連る。東北部には大興安嶺支脈哈拉巴山に望む。濱北線に沿ひ。

○市 街 畑の中に建設せられた新都市であるために道路極めて悪く、晴天には土埃立ち、雨期には泥濘車輪を埋めたれど本年より道路完備し往年の面目を一新す。

○人口 戸数 九、〇三六戸 人口 五、一三八人 邦人戸数 八二〇戸 邦人人口 二、九五一人 中国人戸数 五八一人 中国人人口 三、一四八人

五六六

日本人 五三三 一、三二一 韓人 一三五 三九七

○主要機關 縣公署、高等法院、稅捐局、專賣署、電信電話局、電業局、金融合作社、農事合作社、商工公會、協和會縣本部、中央銀行支店、興業銀行支店、日本小學校、國民中學校、師範學校、女子師範學校、省立第二中學校、日滿製粉工場、綏化街公署(四月一日閉廳)。

○特産 大豆、小麥。

間島省

延吉

○位 置 東滿洲間島省の中央に位し、東部朝鮮國境より十六里西。

○氣候 概して溫暖なれど朝夕の涼氣の變更烈しく夏季最高九五度多期最低零下二十度位。

○人口 戸数 五、八六九戸 人口 三三、三五三

通化省

通化

○位 置 梅嶺線の主要驛。北部東邊道の政治經濟の中心地。

○産物 金、石炭の産産盛んなり、農産物の輸出著し、其の他皮革毛皮等を産す。

安東省

安東

○位 置 滿洲國とわが朝鮮との國境を流れる鴨綠江の下流の右岸、江を遡ること約二十七哩(第一ゲイ起點)、江を隔て、朝鮮の新義州と相對す。

○氣候 冬は零下二五・六度平均零下二〇度位、夏は華氏九〇度以上に昇るが朝夕涼し。雨量は七月下旬より八月中旬頃までの雨期以外少し。

○人口 戸数 四一、五九九戸 人口 二、四九七、七二二人 邦人戸数 四、一五八戸 邦人人口 一、八四二一人 中国人戸数 三六、四四一戸 中国人人口 一、六八八五人

○交通機關 (鐵道) 滿鐵の安奉線は安東を起點として奉天で通

滿洲主要都市——安東

○氣候 夏期比較的涼涼にして高原地帯の感あり、冬期零下三十度以下降ること無し。

○人口 戸数 九、〇三六戸 人口 五、一三八人 邦人戸数 八二〇戸 邦人人口 二、九五一人 中国人戸数 五八一人 中国人人口 三、一四八人

○主要機關 省公署、縣公署、專賣署、營林署、稅捐局、法院、檢察廳、觀測所、警備隊、協和會省、縣本部、郵政局、街公所 第八軍管區司令部、憲兵隊、日本小學校、師範學校、第一、二國民高等學校、女子中學校、地方警察學校、中銀支行、興業支店、滿洲生命支店、金融合作社、朝鮮金融會、商務會、電業營業所、電報電話局、東邊道開發會社、生活必需品會社、滿鐵建設所、自動車區、航空會社出張所、國際運輸營業所、土建協會支部 金融營業。

○交通 梅嶺線の開通により奉天三五九軒、梅河口二三〇、一軒飛行機の便あり。

五六七

京線に連絡、鴨綠江鐵橋によつて朝鮮鐵道と接続。(海路)海上方面では大連汽船、朝鮮郵船、政記公司、怡隆洋行等の定期航路(道路)鳳凰城街道、九連城街道、大孤山街道、安東—寬甸—桓仁—通化間道路—安東城子—開安城—安東—延吉—安東—五龍間はバスあり。

○主要機關 安東警察廳、安東省、安東縣公署、安東郵政局、安東電報電話局、安東放送局、安東商工公會、安東稅關、安東專賣署、安東航務局、安東金融合作社、滿洲鴨綠江航運株式會社、安東戒煙所、安東營林署、協和會安東省、市、縣本部、國防婦人會安東支部、安東市公署、滿洲興業銀行支店、協成銀行、安東實業銀行、東邊實業銀行、中央銀行安東支行、中國銀行安東支行、安東豐夜無盡、安信無盡、金東金融組合、安東輸入會社支店、安東商事金融、安東取引所、東折出張所、三井物產出張所、三菱商事出張所、滿鮮杭木、日陸公司、鴨綠江製紙、鴨綠江製材

合同株式會社、電業公司安東支店、滿洲瓦斯支店、滿鮮製材、土建協會安東支部、安東交通株式會社、鴻業公司安東駐在所、安東六合成記清紙廠、安東造紙會社、安東製糖物製清業組合、大連汽船出張所、朝鮮肥料、鴨綠江採木公司、安東藥業、國際運輸安東支店、安東製材會社、安東稅捐局、日本赤十字社安東委員支部、鐵道總局安東自動車區輸出検査所、大東港建設總署、滿洲輕金屬安東建設部、滿洲紡績安東工場、安東文化廳話會、安東作蠶製絲業組合。

○主要施設 上下水道、鎮江山公園、墓地、火葬場、公設市場、公會堂、滿鐵厚生會館、陸上競技場、滿俱、實業兩野球場、安東滿鐵醫院、兒童遊園、消防隊、圖書館、屠獸場、安東青年學校(男子部、女子部)、安東中學校、安東女學校、幼稚園、安東保健所、安東朝日小學校、安東大和小學校、安東大正普通學校、安東昭和普通學校、第一、第二、第三新興國民高等學校。

○主要産業 木材、炸藥系、大豆、豆粕、豆油、製材、製紙、製糖、ゴム。

○日刊新聞 安東新聞(日本文)、安東時報(滿文)。

○神社佛閣 安東神社、東本願寺、西本願寺、曹洞宗相誓寺、安東寺、高野山弘德寺、日蓮宗法華寺、鎮江山臨濟寺。

奉天省

撫順

○位置 奉天を距る東方三五軒、北渾河の河心から南千山臺の中腹へ南北四軒、東州河より西古郷子河まで一七軒、面積六〇一六萬平方メートルの撫順炭礦を一般に撫順と言ひ、市街地はその一部に存在してゐたが、昭和十二年十二月、行政權移譲と同時に撫順市は隣接地の編入により市街地面積は九一三三萬八〇五〇・平方メートルとなり、瀋陽府

面積六二二五萬八〇五六平方メートル、二九〇七萬九千九百九十四平方メートルの膨脹となつた。

○氣候 四方山脈に圍まれてゐるために風少く冬も雪下一〇度内外(最低零下三〇度)。夏は最高三五度。

○人口 (康徳六年七月末現在)
 戸数 四四、九七四戸
 人口 二三四、三二〇人
 (内) 日本人 三、三四七人
 朝鮮人 六四、一五八人
 滿洲人 一九六、五〇二人
 其 他 四六八人

○交通機關 鐵道は滿鐵本線渾河より分岐線あり之れと連絡、電車は東西十里の礦区内に點在する住宅と市街を結ぶ。他にバスがあり、人力車、馬車、が一般の交通機關。

○主要施設 上下兩水道、滿鐵病院、婦人病院、傳染病院、衛生隊、小學校四、中學校、工業學校、女學校、青年學校、幼稚園四、公立國民優級學校四、公立國民學校一〇、圖書館、救濟院、消防隊、商工公會、公會堂、公

營口

○位置 遼河の南岸に臨む狭長な市街。

○氣候 大陸的氣候多は北風風強く零下二五度、夏は七月最も暑く三五度。

○人口 (康徳六年七月末現在)
 戸数 一、〇〇八戸
 人口 二、五七二人
 (内) 日本人 一、〇〇八人
 朝鮮人 一、五六四人

園四、普通學校、市發展市場、墓地等。

○主要産業 石炭、原油、石油、揮發油、鐵、硫安、アルミニウム、鹽業、豆粕等。

○日刊新聞 撫順新報(邦文)撫順民報(滿文)。

○神社、佛閣 撫順神社、本派本願寺、大谷派本願寺、淨土宗教會所、曹洞宗、社昌寺、臨濟宗妙心寺、金光教、天理教布教所、眞言宗偏照寺、日蓮宗布教所、日本基督教會、救世軍、ホリネス教會、天主教會。

種族	戸数	人口
日本人	一、〇〇八	一、〇〇八
朝鮮人	一、五六四	一、五六四
滿洲人	二、〇〇〇	二、〇〇〇
其 他	四六八	四六八
計	一、〇〇八	二、五七二

四平街

○位置 滿鐵沿線の主要都市、滿鐵本線と平齊線、平梅線との分岐點。

○人口 (康徳六年七月末現在)
 戸数 一〇、二九五戸
 人口 二八、〇四二人
 (内) 日本人 二、二二二人
 朝鮮人 一、三三一人
 計 二、二二二人

○主要官公衙 市公署、警察廳、地方法院、檢察廳、稅捐局、專賣署、郵政局、電信電話局、ケール線中繼所、觀象所、新京警備隊四平街分所、消防所、衛生所、阿片救濟所、保健所、金融組合、梨樹金礦合作社、在郷軍人分會、國防婦人會、協和義

四平街

勇奉公隊、協和會、滿鐵四平街病院、ツリストロビエロー、語義員會、購保委員。

○教育機關 省立師道學校、師道訓練所、省立女子高等學校、小學校(日本)、普通學校、若葉國民優級學校、若葉國民學校、中華國民優級學校、中華國民學校、北街國民優級學校、北街國民學校、海豐屯國民學校、南街國民學校、德化國民優級學校、同國民學校、慈光國民優級學校、慈光國民學校、幼稚園、慈祥幼稚園(鮮人)、青年學校、青年訓練所、日本少年團、滿人少年團。

○會社銀行其他 興業銀行、中央銀行、滿洲油化工業株式會社、大同電氣株式會社、東洋製粉工場、康徳製粉工場、國際運輸株式會社四平街支店、滿洲輸入組合株式會社四平街支店、四平街無償株式會社、株式會社義和順、四平街市場株式會社、四平街建物株式會社、滿洲不動產會社四平街代理店、滿洲糧食會社

四平街出張所、四平街晝夜金融株式會社、日滿商事株式會社四平街出張所、市民公會堂、中央公園、南ヶ丘公園、西ヶランド並運動場、水泳プール、屠畜場、墓地及火葬場。

○社 寺 四平街神社、(忠魂碑)、眞宗西本願寺、同東本願寺、曹洞宗平安寺、眞言宗康徳寺、淨土宗重照寺、日蓮宗安國寺、四平街天理教會、四平街金光教會、天主堂カトリック教會、四平街日本基督教會、四平街ホリネス教會、孔子廟(玉皇閣)、關帝廟、地藏廟、尼姑廟。

○梨樹縣關係官衙 縣公署、街公所、勸民村公所、實行合作社、總務部、地籍整理局、梨樹縣農事局、四平街稅捐局、梨樹縣分局、梨樹縣金礦合作社出張所、農事合作社、四平街電信電話局、梨樹縣分局、四平街郵政局、梨樹縣分局、勸業模範農場、梨樹縣五病院、羊毛加工工場、梨樹縣俱樂部、青年訓練所、農民修練所、國防婦女會、救戒煙酒所

滿洲主要都市——遼陽、蘇家屯、鞍山

遼

△位置 大通(二〇六哩四、奉天(四〇哩)
△人口 (康徳六年七月末調査)
○戸数 一六、一五四戸
○人口 九四、五七〇人
○内 漢人(人口) 一四、七三五戸
○人口 八八、八七三人
○人口 一、三三九人
○人口 五、三三九人
○人口 六三三戸
○人口 三四人

△主要官公衙 (日本側) 關東軍軍犬育成所、陸軍病院、工務區商業學校、青年學校、小學校、幼稚園、圖書館、滿鐵ケナフ種苗園、滿洲棉花公司遼陽工場、興業出張所、滿洲セメント、金融組合、輸入組合、公園、滿鐵醫院、遼陽紡織株式會社、太陽ゴム株式會社、滿鐵棉花株式會社、高工公會、滿洲輸入株式會社遼陽支店、遼陽警察廳、地方法院、監獄、專賣署、電報電話局、金融合作社、滿洲棉實工業株式會社、農事合作社、採種園、省立國民高等學校、省立國民高等女

蘇家屯

△位置 九哩滿鐵本線と安奉線の分岐點に位置し昭和十二年十二月滿鐵地方政廳移讓と共に勅令指定街に指定さる。
△氣候 奉天と大同小異なり
○戸数 二、四二二戸
○人口 一〇、七八八戸
○人口 一、〇七八戸
○人口 一、五五戸
○人口 一、三三八戸
○人口 一〇、二六一人
○人口 二、二二五人
○人口 一、五六六人
○人口 四〇〇人

鞍山

△位置 奉天省瀋陽縣の南部に當り海拔三四米五四に位し、面積五二、三五一、七四三平方米。
○戸数 二六、七〇五戸
○人口 一五六、二九七人
○人口 二一、〇五四人
○人口 一三、八五〇人
○人口 五九一人
○人口 四八六人

△主要機關 街公所、警察署、郵政局、電報電話局、青年學校、小學校、幼稚園、圖書館、工務區、列車區、滿鐵醫院、滿鐵社員文庫、消費組合分配所、滿鮮抗木會社防務工場、滿鐵營業所、國際運輸出張所、協和會瀋陽本部、協和會青年訓練所、農民修練所、戒煙所、種畜場。
△社 蘇家屯神社、成田山蘇家屯寺。

五七二

滿洲人男 八一、八三三人
同 女 三八、四五四人
外國人男 二七人
同 女 二人

△主要官公衙 市公署(附屬機關)、商工公會、稅捐局、郵政局、專賣局、警察廳、消防隊、滿洲國協和會市本部、屠宰場、在郷軍人聯合分會、鞍山國防婦人會、鞍山義勇隊公隊、青少年義勇隊公隊、圖書館、地籍整理局鞍山支局、滿鐵病院、各新聞社支局。
△主要會社 昭和製鋼所、滿洲ロール製作所、滿洲住友金屬工業鋼管製造所、滿洲鐵鋼所、鞍山鋼材、日滿鋼管、滿洲久保田鐵管、滿洲亞鉛鐵、小野田セメント鞍山工場、滿洲興業銀行支店、奉天商工銀行支店、鞍山金融組合、康徳不動產、滿洲不動產支店、滿洲興拓、福井商工支店、新進コンクリート鞍山工場、鞍山精製業、鞍山建材、井ノ口洋行、滿洲耐火工業、鞍山シャイリング、滿洲製氷、滿洲伊藤工場、南滿鐵製氷、鞍山

印刷、鞍山市場、昭和建物、鞍山無業、鞍山劇場、鞍山中央商事會社、滿洲電業支店、滿洲瓦斯支店、滿洲電報電話局、日滿商事支店、滿洲輸入會社支店、坂本組、高岡組出張所。
△教育機關 (日本側) 鞍山中學校、鞍山高等女學校、鞍山青年學校、富士小學校、大宮小學校、曙小學校、鞍山普通學校、昭和製鋼所臨時技術員養成所、昭和製鋼所實科講習所、鞍山富士幼稚園、鞍山大和幼稚園、康徳幼稚園。

(滿人側) 鞍山中央國民學校、鞍山中央優級學校、鞍山中央國民學會、滿洲帝國協和會鞍山青年訓練所。
△日刊新聞 鞍山日日新聞
△社 寺 鞍山神社、興盛廟、淨土宗知恩寺、眞宗大谷派、鞍山布教所、曹洞宗聖德寺、本派本願寺、法華寺、眞言宗高野山大日寺、川崎大師別院、妙心寺布教所、眞言宗醍醐派不動院、日蓮宗日本山妙法寺派、本門法華宗本門佛立教會佛立寺、高野

山大妙王院布教所、日蓮宗妙日山鞍山寺、天理教鞍山教會、神理教鞍山別院、金光教鞍山教會、普覺寺、地藏庵、鞍山聖教會、日本基督教會、朝鮮耶穌教長老會、滿洲基督教長老會、鞍山回教民族協會禮拜會。
△名所史蹟 千山、忠靈塔、陸ヶ池、ドライブコース、鞍山神社。

熊岳城

△位置 滿鐵本線、大通に二七八延二、奉天に二二八軒四。
○戸数 一、八九六戸
○人口 九、七九八人
○人口 六六四人

△主要機關 街公所、警察署、郵政局、電報電話局、公營、國立農事試驗場、神社、小學校、幼稚園、農業修練所、電燈會社金融合作社、國民學校、州外果樹組合聯合會、農事合作社交易所、果樹組合。
△産物 苹果、梨、葡萄、杏など一般果實及野菜、就中紅梨

西安

△位置 平博線四平河口の中間。
○戸数 八、二二七戸
○人口 四一、九一七人
○人口 一六二二戸
○人口 八三四戸

△主要機關 街公所、警察署、郵政局、電報電話局、青年學校、小學校、幼稚園、圖書館、工務區、列車區、滿鐵醫院、滿鐵社員文庫、消費組合分配所、滿鮮抗木會社防務工場、滿鐵營業所、國際運輸出張所、協和會瀋陽本部、協和會青年訓練所、農民修練所、戒煙所、種畜場。
△社 蘇家屯神社、成田山蘇家屯寺。

は隈岳城名産として有名である。
△名蹟 平野に忽立する粹なヘルメット型の孤丘望小山、山自らの傳説と悲話がハイカーを招き、青龍山、梨山いづれも風光明媚、眺望また佳絶なるを以て知らる。
△温泉 驛の東南三軒隈岳河畔にあり、河原の砂掘れば隨所に温湯湧出し、泉質は無色透明微かに硫黄化水素の臭氣と弱アルカリ性の反應をもつ、温度平均攝氏五〇度、リウマチス、濕疹、婦人病、痔疾に特效、夏期は全滿主要都市の小學生たちによつて温泉療養並びに養護兒童の温泉學校が開催されてゐる。

鄭家屯

△位置 平齊線四平街より九二軒八、臥虎屯に二三軒。
△市街 東西八支里南北四支里、城壁なし他の開放都市に比し堂々たる規模、雜貨商多く、蒙古貿易の中継市場、一帶の草原には野兎、雉多く狩獵の好適地、蒙古七山の一たるボクトル山は東方四軒遼河を眼下に四季の眺望極めて絶佳。
○戸数 七、二五七戸
○人口 四三、九九八人
○人口 九三七人

五七三

滿洲主要都市——龍房城、西安、鄭家屯

税捐局、興安軍管區司令部、郵政局、遼源監獄、金融合作社、專賣局、鄰家屯警察署、鐵路分院、中央銀行支行、國際運輸出張所、鄰家屯電報電話局、商工公會、ベスト調査所、興安憲兵團、遼源地區協和會本部。

交通 鐵道は平齊線と大鄭線との連絡點、水運は遼河埠頭(市街の東二支里)より營口まで一四三五支里、湖江一四、五〇、下帆七、八日、市内に兩後公園、康德公園、鄰家屯神社、關帝廟、聖廟、娘々廟、龍王廟、城隍廟、福晉堂、世界紅十字會等がある。

大石橋

位置 遼東半島の幹本部、蓋平縣と營口市の南端。

氣候 大陸的最低温度も二十度を降ること少し夏季は三十度前後、雨量少。

人口 (康徳六年七月末現在) 戸数 二、〇八七戸 人口 七、五三六人

内邦人口数 一、四二二戸 人口 四、〇九〇人

男 二、四五七人 女 一、五六八人

主要官公衙 郵政局、街公所、警察署、電報電話局、大石橋金融組合、農事合作社、大石橋金融合作社、尋常高等小學校、國民優級學校、青年學校、幼稚園、税捐局、商工公會、協和會分會、國防婦人聯合分會、主要會社、工場其他、南滿洲鑛業、大石橋工場、大石橋綿絲工場(滿洲國棉花有限公司經營)、マグネシヤ鑛業會社、福元號マグネシヤ工場、福井組工場、東亞鑛業公司、滿洲微粉工業合資會社、マグネシヤ工業會社、信愛善士鑛業會社、協和公司(滑石採掘發賣)、天恩公司鑛業會社、滿洲國中央銀行大石橋支行。

交通 鐵道は滿鐵本線と營口支線との分岐點道路は大石橋一營口、大石橋一海城、岫巖、大石橋一萬福庄一莊河、大石橋一蓋平、瓦房店、大石橋一牛莊、沙嶺。

錦州省

錦州

位置 小凌河畔の盆地に伸在した城廓市街で遼西地方における政治、經濟の中心地。

氣候 比較的凌ぎよく、酷暑時零下一四度五、夏は二七度乃至三十度なるも春、秋の二季風強く黃砂天を蔽ふことあり。

人口 (康徳六年八月末現在) 戸数 二、五〇一戸 人口 二二、〇六三人

内邦人口数 二、六四〇戸 人口 一七、〇五一一人

交通 奉天線の中央、熱河

線の起點にして連山、西海口まで定期バスあり、航空路は奉天、山海關、赤峰、承德に通じ、遼瀋島、大連間には定期船が通ふ。

主要機關 大使館分駐所、治安部病院、省公署、市公署、警察廳、錦縣公署高等法院、高等警察廳、地方法院、地方檢察廳、監獄、警備本隊、警備隊、郵政管理局、中央郵政局、專賣署、奉天稅務監督署錦州出張所、税捐局、農事試驗場、警察學校、協和會省市縣本部、商工公會、神社、鐵道局、鐵道醫院、滿洲赤十字病院、錦縣驛、滿洲合成燃料會社工場、東棉紡織會社工場、日滿製粉會社、中央銀行支店、興業銀行支店、輸入會社、都市金融合作社、錦縣合作社、國際運輸支店、電業會社支店、電報電話局、航空會社出張所、滿鐵營業所、日滿商事出張所、土建協會支所。

主要物産 高粱、大豆、粟、玉蜀黍、羊毛、獸皮、棉花、果樹、紙張、スツボン。

朝陽

位置 錦州省の終點、熱河東の咽喉を扼し、鐵道により錦州へ連絡す。

氣候 温暖にして嚴寒でも零下十度を下る事は少い。たゞ春より夏にかけて熱河特有の黃塵に悩まれる、空氣は常に乾燥してゐる。

人口 (康徳六年八月末現在) 戸数 三、九五一戸 人口 一六、三三一人

内邦人口数 二、五二三人 邦人人口 四、六四一人

主要機關 縣公署、街公所、警察署、郵政局、電報電話局、税捐局、專賣局、協和會、商工公會、檢察廳、中央銀行、金融合作社、日本人小學校、鐵道監理所、棉羊改良場。

社寺 朝陽神社、西本願寺、朝陽寺。

産物 綠豆、高級葉煙草、棉花。

名蹟 喇嘛塔、喇嘛寺(佑順寺)樓閣、殉國碑(石本欄四郎)

阜新

位置 「東洋のザール」と稱せられ四十億噸炭田の所在地。

氣候 地勢上、同緯度の奉天より餘程氣候温和なるも春季風強く、秋は晴大續く。

人口 (康徳六年七月末現在) 戸数 一四、〇〇〇戸 人口 七九、〇〇〇人

内邦人口数 二、一〇〇戸 邦人人口 七、二〇〇人

主要機關 縣公署、旗公署、街公署、警察署、郵政局、電報電話局、税捐局、專賣局、都建局、地軍聯合分會、協和會、商工公會、勞工協會、檢察廳、中央銀行支行、興業銀行支店、金融合作社、農事合作社、滿鐵阜新礦業所、阜新製作所、火藥工場、電業發電所、滿石試掘所。

興城

位置 奉天線の要驛。

氣候 温暖にして遊昇遊降に適す。

人口 (康徳六年八月末現在) 戸数 四一、四五一戸 人口 二五八、二四〇人

内邦人口数 七九戸 邦人人口 二三五五人

主要機關 縣公署、陸軍病院、滿鐵病院、法院、商工公會、鹽務局、税捐局、郵政局、協和會。

社寺 文廟(孔子廟)

産物 大豆、玉蜀黍、豆粕、高粱、粟、落花生。

名蹟 温泉、祖師坊、孔子廟、海水浴場。

北票

位置 錦承線北票支線の終點にて奉天へ三五・二・六軒にして北票炭礦の飛躍に依つて炭層上の現市街を西南方の高地に移轉すべく、北票都市建設局にて新市街建設中なり。

人口 (康徳六年七月末現在) 戸数 四、〇二八戸 人口 二六、七八〇人

交通 (鐵道)、金嶺寺にて乗替へ錦承線に接続、東に錦縣にて奉天線に西に承德、北京並に赤峰に連絡す(自動車)、昭和十三年九月より東北方に黒城子(西十獸吐右旗)を経て下窪より奈曼旗までの間鐵道總局の聯合自動車毎日運行さる。北票炭礦三室開所及蒙吉開發間は一日數回北票炭礦自家用聯合自動車の運行あり。

産物 北票炭礦は滿洲炭礦株式會社の經營にして炭層は東

滿洲主要都市——山海關、赤峰、王爺廟

西に三十軒の長きに及び炭質の優良なることは滿洲炭礦株式會社中第一なり。所、大黒山、金山、は滿洲金礦株式會社經營下に入り其の事務所を北票に置き本年度より一大飛躍を約せられたり。

△位 置 萬里の長城を境として東は滿洲國軍城、西は北支河、北省臨榆縣山海關城、南は一邦里にして渤海に臨み北には龍驤をなせる山岳を受け、西に秦皇島港を控へ奉天(瀋陽)京山(北支交通)の鐵道の重要な地。

山海關

△位 置 萬里の長城を境として東は滿洲國軍城、西は北支河、北省臨榆縣山海關城、南は一邦里にして渤海に臨み北には龍驤をなせる山岳を受け、西に秦皇島港を控へ奉天(瀋陽)京山(北支交通)の鐵道の重要な地。

中春夏秋冬の四季を十二分に満喫できる。
○戸 口 (康徳六年八月末調査)
北支側(山海關)
日本人 一、七九五戸
支那人 六、四九六戸
支那人 三、六〇三戸
滿洲國側(東縣城)
日本人 二、四七名
支那人 一、七四七戸
支那人 九、四八七名

路局管下驛及各區、冀東電業山海關支店。
△日刊新聞 山海關日報社(邦字紙)
△社 寺 山海關神社(造營中) 忠魂碑、本願寺、四海寺、太平寺。
△産物 渤海魚貝類、アユ。
△名 蹟 萬里の長城、天下第一關、山海關事變蹟、南海海水浴場、二龍廟、角山寺、支陽洞、姜女廟。

熱河省

赤峰

△位 置 熱河省の殆ど中心部蒙古への關門、西路哈河の沿岸東北に紅山(赤峰山)南郭博山。
○戸 口 (康徳六年七月末調査)
支那人 七、七七八戸
支那人 三、八、四六〇人

興安南省

王爺廟

△位 置 興安鎮東麓は洮兒河にて西科後旗と北境界をしは東白城縣西烏珠穆沁旗接南は西科中旗烏珠穆沁旗と北緯四十五度七十七分東經百十九度五十分

より百二十二度七十五分間にある。
△氣候 北西方に聳る興安嶺にすべての水蒸氣を奪はれるを以つて乾燥高度にして三年降水量六四四・二種氣温最高三五・六度最低〇下三五・八度平均三・七度風向は北西風を主とし冬季より春季に激しく夏季終息す結氷期十二月上旬にして解氷期四月下旬初霜九月初旬日晩霜五月末日

興安南省地方教育訓練所、西科前旗農事合作社、滿洲電業王爺廟支店、滿洲電信電話株式會社、國庫運輸營業所、中央銀行支行、街里公所、滿洲生活必需品配給會社支店、滿洲國防婦人會省本部同分會、青年訓練所、王爺廟神社、日本小學校、在郷軍人分會。
△産物 羊毛、杏核、苞米、大豆、高粱、蕎麥。

内郡人 九〇〇人
△主要機關 通遼縣公署、警務局、財政局、教育局、實業局、稅捐局、天恩地局、電報局、電話局、郵局、中央銀行分行、國際運輸營業所、滿鐵醫院、縣公醫院、專賣局、滿洲興業銀行新設、滿洲畜産會社新設。
△教育機關 男師中學校、女師中學校、日語學校、天主堂、小學校、第一第六小學校。

に依つて喜札嶺南旗に、北は伊薩起山嶺及海河に依り阿拉旗に接す。
△氣候 大陸的氣候、夏季最高温度二七・八、冬期最低温度零下二四・一、降水量年四九〇・二平均月四・一初雪十月終雪六月初霜九月二十六日。

△主要機關 興安東公署、布特哈旗公署、滿鐵病院、地方警察學校、協和會省本部、地方師道訓練所、師道學校、國民高等學校、日本小學校、國民優級學校、國民學校、中銀支行、天守公教會、電燈廠、郵政局、電々會社、種馬厰遺場、營林署、滿日支局、武道會支部、高等檢察廳分院、地方法院、警察署、稅捐局、學校組合、鐘淵興安牧場。

通遼

△位 置 大鄭線の主要驛、鄭家屯(一一四軒一、大老山(三三三軒)。
○戸 口 (康徳六年七月末調査)
支那人 一、〇五〇戸
支那人 六〇、〇〇〇人

△産物 羊毛、獸皮、高粱、大豆、粟、麻實(大麻子)米等。

△主要機關 興安東公署、布特哈旗公署、滿鐵病院、地方警察學校、協和會省本部、地方師道訓練所、師道學校、國民高等學校、日本小學校、國民優級學校、國民學校、中銀支行、天守公教會、電燈廠、郵政局、電々會社、種馬厰遺場、營林署、滿日支局、武道會支部、高等檢察廳分院、地方法院、警察署、稅捐局、學校組合、鐘淵興安牧場。

△産物 燒酒、サイダー、馬

五七七

札蘭屯

△位 置 興安省の省城に位し東南は省外甘肅縣、景星縣、札賚特旗に隣接し、南西は綽南河

滿洲主要都市——札蘭屯、通遼

滿洲主要都市——清津、羅津、旅順

錦製より生産の澱粉、粟、灰、黒、粳子。
○名 蹟 避暑ホテル、釣橋、關帝廟、天拜山慶福臺、スキー場、貸別荘本年十月頃完成のラヂウム温泉ホテル。

北 鮮

清 津

△位 置 咸鏡北道に位し北鮮最大の貿易港、重工業地。

○戸 口 (昭和六年八月末調査) 一八、三〇〇人

○昭和十一年三月緯緯平野一千五百萬坪に將來人口五十萬を包擁すべき大都市計畫令施行され日下逐次建設中。

○主要官公署團體 府廳、警察署、郵便局、地方法院、刑務所、税關支署、國稅關辦公處、商工會事務所、鮮銀殖産各支店、日織日紡三菱精煉所、漁業

組合、各種水産組合、放送局、水産試験場。

○交通 鮮内鐵道北鮮鐵道、京圖線、拉濱線、國佳線の各起點。清津敦賀一連線、清津一新洞、伏木、外裏日本各港定期船、敦賀、北鮮、浦鹽線、清津一阪神、清津一表日本各港線等にして、朝鮮郵船、大阪商船、北日本汽船、清津、羅津、雄基間及び清津、羅南、朱之間に乘合定期バス運行。

○産 物 鹽油製品、各種水産物、鮮魚類、ウルク、白頭、鱈魚類、ツルツノソク、白頭、鱈魚類。

○主なる旅館 國際ホテル、鷄林館、櫻屋、昌平館、其他。

羅 津

○位 置 咸鏡北道の北部に位し相當の大汽船も數隻同時に自由に接岸荷役し得る理想的港である。

五七八

○戸 口 (昭和十四年八月末調査) 五千五百七十五人

○將來人口三十萬を拘束する大都市計畫案あり。

○主要官公署 羅津府廳、滿鐵北鮮事務所、羅津警察署、羅津郵便局、要塞司令部、陸軍運輸部出張所、陸軍軍馬補充部分隊憲兵分遣隊、清津地方法院羅津出張所、滿洲稅關、海軍出張所、專賣局派出所、羅津高女、羅津公立尋常、若草、岳木、明湖各尋小、私立光成學校、鮮銀支店、殖産支店、羅津金融組合、羅津稅關、國稅關支署、羅津商工會事務所、滿拓北鮮事務所、國際運輸支店、滿蒙、電氣出張所、○主要旅館 滿鐵ヤマトホテル、高砂旅館、草島旅館。

關 東 州

旅 順

○位 置 遼東半島にあり。

Table with population statistics for various groups in Manchuria, including Japanese, Koreans, and others, with columns for gender and total counts.

金 州

○位 置 大連に約二十哩、奉天に約二百二十六哩。

○戸 口 (昭和十四年七月末調査) 二四、三二四人

○主要機關 民政署、警察署、第一、第二金融組合、金州女子高等小學校、金州商業學院、尋常高等小學校二、公立南金州女學校、同董家溝分教場、城南公學堂、普通學堂、農業學堂、書房、獎學會、夜學書房、少年赤十字團、大連醫院分院、水道、屠獸場、關東州農事試驗場、苗圃、關東種畜場、金州驛、金州東門驛、郵便局、電報電話局、關東通信局金州無線送信所、大連航空路無線標識局、鐵道研究所大連分所、金州出張所、關東植物檢査所、農會、赤十字支部、果樹組合支部、興業銀行支店、内外綿金州支店、電業會社金州營業所、

病院、同婦人醫院、旅順驛、旅順民政署、旅順警察署、旅順觀光協會、旅順郵便局、旅順無黨會社、黃金臺ヤマトホテル、旅順商工協會(株式會社一〇、合資會社二〇、組合團體二九)。

滿洲主要都市——金州、普蘭店

東亞青果會社金州集荷所。關東州勞務協會金州出張所、興亞特殊纖維工業所、復州鑛業株式會社金州詰所、泰東皮革株式會社金州工場。

普 蘭 店

○位 置 關東州××の都會。

○戸 口 (昭和十四年七月末調査) 二、三六三人

○主要機關 民政署、警察署、

郵便局、電々局、小學校、幼稚園、公民學校、在郷軍人分會、警防團、土木管區事務所、愛國婦人會、國防婦人會、第一金融組合、地方法院出張所(登記事務)電業營業所、公學堂、植物檢査所、稅關分卡、興業銀行支店、日本鹽業會社出張所、川崎鑛業會社分工場、普蘭店會(社團法人)商務會、居住民會、朝鮮人會、畜産組合、農會、日滿果樹組合、勞務協會出張所、赤十字社分院、滿日支局、果樹協會。

五七九

在滿株式會社覽

(格内は資本金、他の数字は設立年月日、人名代表取締役、昭和十四年七月末現在)

日本法人

取引所

△大連株式取引所(五百萬圓)大連市
市敷島町九(大九、二、一〇)田中千吉

清算會社

△大連取引所(千二百萬圓)大連市
山縣町二四(大九、二、一〇)田村幸三
△大連證券信託(百萬圓)大連市敷島町
四九(大九、三、一八)小野實雄
△大連五品代(五十萬圓)大連市敷島
町四九(大九、二、一〇)首藤定
△大連商品取引所(五十萬圓)大連市
敷島町四九(大九、二、一〇)井上輝夫

無盡業

△運送無盡(五十萬圓)大連市春日町四
二(大八、九、一四)高木吉郎
△第一無盡(二十萬圓)大連市西邊七七
(大八、五、一三)津田澤六

金融業

△日華銀行(三百萬圓)大連市愛宕
町三五(大八、七、二二)野津孝次郎
△東洋銀行(五十萬圓)大連市福町九〇
(大八、九、一〇)龍登庄三郎
△滿洲不動產(百萬圓)大連市信濃町
六一(大九、三、一三)門田新松

商會

△大信洋行(二百萬圓)大連市監道四
九(大九、二、一六)石田榮造
△通商會(二百萬圓)大連市信濃町三
〇(大八、五、一五)高田友吉
△西川商店(五十萬圓)大連市伊町二
〇(大八、三、二九)西川高橋
△永泰食品(五十萬圓)大連市
豐井町二七(大八、三、二二)小杉貞治
△福昌公司(三百萬圓)大連市山縣二
一三(大八、五、一三)相生常三郎
△山田商店(五十萬圓)大連市山縣二一六
(大八、六、四)山田三四郎
△滿洲金物(三十萬圓)大連市若狹町四

機械器具工業

△大連鐵工所(百萬圓)大連市大山邊一
〇(大八、二、一)小田切善江
△大連船舶工業(四百五十萬圓)大連市
濱町三(大八、二、一)田村陸士
△大連機械製作所(一千萬圓)大連市
山町三二(大八、五、四)高田友吉
△滿洲無線電氣(八十萬圓)大連市若狹
町二(大九、八、一〇)竹下重太
△滿洲電機工業(二十萬圓)大連市近江
町八(大九、五、一五)泉繁三
△鳥羽鐵工所(二十萬圓)大連市近江町
六(大八、七、一八)鳥羽賢

製材及木製品工業

△大連工業(五十萬圓)大連市橋立町二
(大七、四、五)伊藤善一
△秋田會社(三百萬圓)大連市北大
山邊四(大九、四、一)秋田久太郎
△滿洲木材工業(二十萬圓)大連市入館
町一(大八、一、四)宮本平一
△大連製材行(三十萬圓)大連市山縣
通五四(大八、一〇、三)森田太郎

食品工業

△大連製水(二百二十五萬圓)大連市常
盤町二二(大八、三、二九)佐藤重雄
△廣島製水(三十五萬圓)大連市廣島町
二(大八、一〇、一〇)兒島卯吉
△大連製粉(百萬圓)大連市山縣二(大
八、二、一〇)松田清三郎

印刷及製本工業

△東亞印刷(百萬圓)大連市近江町九〇
(大八、七、一)山田善通

其他工業

△滿洲藥草(千二百萬圓)新京特別市第
二區(大九、一、二)長谷川太郎吉
△東洋藥草(五十萬圓)大連市秋月町一
三(大八、二、六)南波清吉
△滿洲製糖(二十萬圓)大連市山縣通二
一三(大九、六、二)相生由太郎
△大連製糖(五十萬圓)大連市秋月町(大
八、八、八)木村澤
△東亞紙業(二十五萬圓)大連市福水屯
一五〇(大八、一、六、一〇)小松原

鑛業

△南滿洲鐵子(三十萬圓)大連市榮町二
(大八、二、一)野村榮吉
△滿洲鐵子(二十五萬圓)大連市財源街
五(大八、一〇、二)山本セツ
△關東州小野田セメント製造(五十萬
圓)大連市泡盛街二、一四〇(大九、二、
五)笠井清三
△南滿下ロアイト工業(五十萬圓)關東
州南房山(大九、五、五)山崎謙一

電氣・瓦斯

△滿洲開發(五十萬圓)濱州市江町九
(大八、二、三)田中又五郎
△南滿洲瓦斯(二十萬圓)大連市西邊二
一七(大八、四、七、一八)菅川鶴次郎

交通・運輸

△南滿洲鐵道(八億圓)大連市東公園町
三〇(大八、三、一)大村幸一
△大連市交通(五十萬圓)大連市西邊
一五(大八、一、五、二)山岡信夫
△大連自動車(五十萬圓)大連市勿衣町
六七(大八、五、四)田邊操行
△ソバノ自動車(五十萬圓)大連市東山
町九(大八、九、一四)風田明
△大連汽船(二千五百萬圓)大連市
山縣通一九五(大八、一、二八)安田匠
△東和汽船(三十萬圓)大連市山縣通一

鑛業

△南滿洲鐵子(三十萬圓)大連市榮町二
(大八、二、一)野村榮吉
△滿洲鐵子(二十五萬圓)大連市財源街
五(大八、一〇、二)山本セツ
△關東州小野田セメント製造(五十萬
圓)大連市泡盛街二、一四〇(大九、二、
五)笠井清三
△南滿下ロアイト工業(五十萬圓)關東
州南房山(大九、五、五)山崎謙一

電氣・瓦斯

△滿洲開發(五十萬圓)濱州市江町九
(大八、二、三)田中又五郎
△南滿洲瓦斯(二十萬圓)大連市西邊二
一七(大八、四、七、一八)菅川鶴次郎

交通・運輸

△南滿洲鐵道(八億圓)大連市東公園町
三〇(大八、三、一)大村幸一
△大連市交通(五十萬圓)大連市西邊
一五(大八、一、五、二)山岡信夫
△大連自動車(五十萬圓)大連市勿衣町
六七(大八、五、四)田邊操行
△ソバノ自動車(五十萬圓)大連市東山
町九(大八、九、一四)風田明
△大連汽船(二千五百萬圓)大連市
山縣通一九五(大八、一、二八)安田匠
△東和汽船(三十萬圓)大連市山縣通一

△在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

拓殖興業

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

投資會社

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

雜業

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

金融業

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

商事會社

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

無靈業

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

在滿株式會社一覽——滿洲國法人

- △在滿株式會社一覽——滿洲國法人
△在滿株式會社一覽——滿洲國法人

在滿株式會社一覽——滿洲國法人

- △滿洲國幣(五百萬圓)奉天南橋地一三...
△西安煤礦(三百萬圓)奉天西安路第一...
△延龍金礦(八十萬圓)同島延龍街...
△大瀋陽金礦(二百萬圓)新瀋陽街...
△南滿鐵道(三百六十萬圓)海城縣第四...
△滿洲國幣(四百萬圓)奉天市加茂町二...
△滿洲國幣(三百六十萬圓)海城縣第四...
△滿洲國幣(三百萬圓)奉天市南一路二六...
△安奉鐵道(五百萬圓)奉天市平安道三七...
△滿洲國幣(五百萬圓)奉天南橋地一三...

交通・通信

- △大石電燈(三十萬圓)大石橋石樓大...
△郵政電報(三十萬圓)奉天省城...
△北安電報(四十萬圓)龍江省北安鎮...
△瓦房店電報(二十萬圓)瓦房店常盤街...
△滿洲國幣(二十五萬圓)吉林省德惠縣...
△滿洲國幣(二十五萬圓)吉林省德惠縣...
△滿洲國幣(二十五萬圓)吉林省德惠縣...
△滿洲國幣(二十五萬圓)吉林省德惠縣...
△滿洲國幣(二十五萬圓)吉林省德惠縣...

土地・建物

- △土地建物(二百萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天江/島町(大...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...
△土地建物(三十萬圓)奉天長慶街(康...)

- △土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...
△土地建物(五十萬圓)奉天南橋地一三...)

新聞・通信業

- △新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...
△新聞通信(二十萬圓)奉天市道成街二九...)

旅館・娛樂業

- △旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...
△旅館娛樂(百圓)奉天子(九三、...)

投資會社

- △投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...
△投資會社(四百五十萬圓)奉天大同...)

雜業

- △長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...
△長春商會(二十萬圓)奉天特別市大和...)

在滿株式會社一覽——滿洲國法人

- △拓殖・興業
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...
△拓殖興業(五百萬圓)奉天特別市豐樂...)

日用便覽

滿洲國の祝祭日

元旦・陽曆一月一日、各官公署機關等は拜賀式を舉行、三日間休憩、名刺を交換して賀年、民間では何れも行事もなからず。

春節・陽曆一月一日、各官公署機關等は五日間休憩。

萬壽節・陽曆二月六日、三千萬民衆の共に相敬仰する滿洲國皇帝陛下御慶辰の佳節、宮中には莊重なる御儀あり、政府要人外同僚僚内して賀詞を呈上、政府各機關學校その他休職して慶祝。

元宵節・陰曆正月十五日、一名燈節、爆竹、仲秋とともに三大節句の一つ。

建國記念日・陽曆三月一日、各官公署機關を始め民間にても盛んなる祝賀式、祝賀の催しをなす。

春秋新孔・春秋は陰曆二月上丁日秋祭は同八月上丁日、孔子を祀る、官

滿洲年中行事

孔子生誕日・陰曆八月二十七日、各官公署機關休憩して聖誕の記念日とする。

年末・陽曆年末の三日間公休、別に官衙にも儀式なく、民間にも行事なし。

除夕・陰曆臘月十二月末日、一日休憩。

一月

一日・午前一時各家の男女皆早起し、初めて堂門を出る時は必ず宮方に向つて喜神を迎へ、後屋内に歸る。又前夜諸神の前には燈を行ひ、この夜爆竹を打ち天明に至る。天明に至り各商民盡く新衣裳を掛ひ、各親友の家に至り即賀する。これを拜年といふ。拜年の禮は三日に分ち初一日は父方、二日は母方、三日は妻の親戚に至り、四日から十日まで各郷中の親友方面に行き拜年する。

二日・黎明商家は財神を祭り、爆竹を打ち、地方により前に松樹二本乃至六本を植ふる。高さは丈餘で桃符を貼り楹を張る。

二月

五日・破五といふ婦女はじめて掃除をする。四日から六日に至る三日間は地方により商家で所有するすべての貨物の価値みをする。これを盤貨といふ。

六日・この日は商家は半日の間、初賣りをする風がある。

九日・玉皇上帝誕生期で全商民皆廟に詣り、香を焚き禮拜する。

十日・俗に穀生日と稱し各戸皆粟食を作る。

十五日・この日の晚、元旦と同じく各神を祀る。十三日から十七日まで各大街皆燈を掛け各家の婦女も出てこれを觀る。各郷の子供は皆籠籠影船及び馬脚の遊戯をして治街を遊遊する。これを秧歌といふ。又この間を元宵節といひ、初賣を以て祖先を祀り街市に振舞する。この日男女出遊して平沙を歩む。然る時は年中閑遊に備ることなしといひ、これを走百病といふ。

二十五日・臘五日といふ各家皆親戚の門口に掛けて燈を懸ける。小兒女は五穀を拵つて團形とし、蜜餅を以てこれを穿つたものを穿ひ、これを小團尼といふ。家々では皆合盆を焚ふ。盆に龍封日吃合盆といふ、以て臘年の兆とする。



「藥」の三共研究室から
皆様の鏡臺に贈る、正しい養毛料です！
◇烈しいフケ・痒みを抑へ◇病的脱毛を防止し
◇病産後のウス毛を恢復し◇若禿に發毛力を促す

正確的養毛頭尼克
養毛料

全滿到處にて
販賣してあります

生物學的養毛料

頭尼克

三共 SANKYO 共

發賣元・東京・宝町(三共總社)泰昌製藥株式會社

「よて育く強」 に爲の國御



効主
動脈硬化、痔、疾、婦人病、皮膚病、神経痛、美容

本舗 東京ベツブ商會
 満洲生活必需品配給會社御用
 販賣所 大連・小寺藥局 奉天・仁天堂藥局

▼赤ちやんの苦しまれるアセモヤタダレはベツブの御風呂で夢の様に全快されます

▼特に生湯の時から御使用を御奨めする譯は發育の立派な御健康な御子様を得られるからです

▼世界的の權威醫學博士三浦 髓之助先生を初めとし井上 (内科) 太田 (泌尿科) 加藤 (痔疾學) 福島 (神經學) 片平 (細菌學) 雨宮 (神經學) 等の諸博士も實驗奏効を證明され患者に使用を推奨されて居られます

プツバ精浴庭家 温泉

星名刺

櫻井大二郎商店

星名刺本舗
 櫻井大二郎商店
 東京市日本橋區馬喰町二丁目
 電話 浪花(67) 5.000-3
 振替 東京 四一〇番

在滿株式會社一覽—日本法人

五七八
五八〇

本 社
科 營 目 業

東京市麴町區丸ノ内二丁目十番地
 物品販賣業・問屋業・運送業
 仲立業・代理業・製造加工業
 工業請負業・上記各營業ニ附帶スル事業・並ニ保險代理業

大連市山縣通



三菱商事株式會社大連支店

電話代表本局二一八一五一番

主要取扱商品
 大豆・豆粕・雜穀・豆油・硫安・麥粉・砂糖・セメント・木材・石油・重油・機械油類・一般金物・電機其他一般機械類

支店所在地
 哈爾濱道裡水道街三七
 新中央通二三滿鮮ビル内
 天津通三九
 錦州浪速街十番地

營 業 目 種

曹達硝子、クリスタル硝子、食卓硝子、汽用硝子、炭坑汽用硝子、汽船、自動車、信託用品、化粧品、藥用品、各種瓶類、各種明硝子(ブリズム)各種硝子、各種硝子原料



南滿洲硝子株式會社

大連市榮町二番地
 電話(三)二七四〇(販賣會計)
 (三)二五七四(倉庫)
 振替口座大連五四八〇番



合資 大康硝子製造所

營業品目
 醫化學用硝子・電燈照明硝子
 其他硬質硝子・化粧品用硝子
 牛乳壘・藥壘・各種機械吹瓶類
 製造

新東京特別市鐵道北孟家橋東北
 電話③六一八九番
 私書函新東京中央郵政局六八

營 業 目 品

ローソク類、麻袋、帆布、毛織物、晒布、白布、色布、綿織物、粗織物、荒織物、木製、式柄類



增井洋行

工場
 電話④ 四七三一九番
 大連市中山町二七番
 電話④ 〇三一三番

大 株式會社 滿洲岡本洋紙店

本店 奉天加茂町三井ビル四階
電話(四)二七〇(三)二八七三
受信略號 ホウテンゲンロク

支店 大連市山縣通二、東拓ビル三階
電話(四)四〇八七(三)九四四一
受信略號 タイレンゲンロク

王子製紙株式會社製品滿洲一手販賣
鴨綠江製紙株式會社
六合造成造紙廠
安東造紙株式會社 製品一手販賣

大連市山縣通一四七番地

日本洋紙株式會社

出張所 大阪、新京、安東

鐵道信號機類 其他線路用品一切
交通信號機 製造並二取付工事
轉轍器轍叉

日本信號株式會社大連工場

大連市裾野町三十一番地
電話(四)四〇〇(一)四一五(四)番
本社 東京丸の内

大連市裾野町十五番地

昭和工業株式會社

電話(4)〇四二八番
電話長(4)九〇三三番

NKK

日本鋼管株式會社

大連出張所

本社 東京市麴町區丸ノ内
支店 神奈川縣川崎市渡田
出張所 天津福島街八七ノ三
出張所 富山縣射水郡新湊町

大阪分工場 大阪府此花區大開町
大連出張所 大連市正區船町
新潟電氣製造所 新潟市沼垂町

特許砂型遠心力鑄造製管法

水道瓦斯用高級鑄鐵管並二屬具製造販賣



滿洲久保田鑄鐵管株式會社

大連營業所 大連市東公園町三十五番地(技術會館内)
本社及工場 滿洲國鞍山市南六番町七十四番地
電話 三三三三 三三三三 三三三三

營業 各種船舶建造及修理、遭難船救助、汽罐類製造及修理
種目 鑛山用鐵骨、橋梁、鐵塔、鐵道車輛



大連船渠鐵工株式會社

大連市濱町三番地

電話代表 二一七一 九五五番
出張員事務所 奉天浪速通都ビル
鞍山北四條町二〇〇
新京大同大街二〇二大興ビル



株式會社 大連鐵工所

大連市榮町二番地

機械部 大連市榮町二番地
電話 三三三三 三三三三 三三三三
製罐部 大連市外周水子驛東方三丁目
電話 四一〇一 六九番

地番八二町仲北區庫兵市戶神

丸善石油株式會社

(津下縣山歌和町福市阪大 所油製)

營業種目

石 油
モ 油
マ 油
タ 油
變 油
シ 油
車 油
各 油
其 油
他 潤滑油一般

スワロー
Mツバ
ワロー
印

高級潤滑油製造發賣元

陸軍省 海軍省 鐵道省 指定工場

丸善石油株式會社 滿洲國支那總發賣元

大連丸油株式會社

電話(3)一三三三番(3)一九〇二番
受信略號(タイレン)マルゼンオイル

太原	青島	北京	天津	鞍山	奉天	新京	安東
張所	張所	張所	張所	支店	支店	張所	張所
山西省太原市南省塔巷二四號	青島泰山路四四〇番號	北京司法部街大府二〇六三番號	天津日本租界伏見街一三〇一番號	鞍山三條街三四一番號	奉天八幡町九奉信ビル電話④四三五〇番	新京梅ヶ枝町三丁目一四九番號電話③三二八九番	安東北一條通リ四丁目一電話三三五〇番



滿洲鉛工業株式會社

營業科目
鉛管、鉛板、硬鉛製品、化學工業用諸機械及裝置
鉛工事請負、ホモケン施工、接觸式硫酸製造裝置一式請負
人絹及製紙ハルプ製造機械、アルミニウム及諸金屬合金鑄物

社長 芳澤 鶴太郎
營業所及大連工場 大連市山手町二十四番地
電話四本局(2)八九四〇一番

ボールベアリング
ローラーベアリング



滿洲ベアリング製造株式會社

代表取締役 丹羽 昇
取締役 水木 善四郎
取締役 武富 吉雄
本社工場 滿洲國瓦房店 電話二五二番



滿洲鑛山株式會社

新京特別市大同大街二二三號
電話代表(2)三六一六番

營業品目
マグネサイト・輕燒マグネシア
硬燒マグネシア・建築マグネシア
下ロ・マイト



南滿鑛業株式會社大連駐在員事務所

大連市紀伊町二十六番地
電話本局代表②九四三四番
電信略號タイレンマクネ
本社 滿洲國 大石橋

豐年製油株式會社製油滿洲一手販賣店
滿洲生命保險株式會社大連代理店
大連取引所取引人

恒裕洋行

營業所 大連市山縣通り大倉ビル
常 深 隆 二
電話代表②五一八一番

大連市愛宕町七十四番地
家具裝飾品株式會社
製造販賣
成三洋行
常 深 隆 二

電話 二二四二七五番
二二四八五番

營業科目

クボタ石油發動機
トヨタ自動車
三三三 萬 別
三 德 選 別
三 土 木 礦 山 機
朝日コンプレッサ機



滿洲杉山公司



株式會社
本社 大連支店
奉天出張所
天津出張所
新東京特別市豐樂路二一七號地
電話 ④三九四一八番地
大連市山縣通り九八八番地
電話 ④七六三三番地
奉天市天橋北街三三番地
電話 ④二二二番地
天津市河北大街二八番地
電話 ④二二二番地

KOYO PHOTO GRAPH STUDIO A.SATO



光洋寫真館

大連市浪蕩町三丁目 佐藤影良 電話(2)5982番

天下 一品



大坂府堺市 醸造元 河又醬油株式會社

河河又又 河河又又 醬味又又 油噌又又

大連市信濃町 又商店 發賣元 電話④四四六六番 ④四九三〇番

海陸運送 通關代辦 貨物自動車營業



合名 丸仲運送店

本店 大連市信濃町一三五番地

電話④五四六一、④七三〇三、④一八八八
出張所 大連市北大通り四番地 電話④六九六四
入船 鮮貨取扱所 電話④五〇一一
支店 金州驛前電一四一、奉天加茂町六番地電④二九九五番、新京富士町六丁目電④五八七四、天津日界新街三電④二二五七、④二二五八、④二二五九、④二五八四、北京東河沿八五號、電南分局九五四、濟南經一路四八八電二三八七、青島河北路三五號電三六八二、石家莊正東街一番地



株式會社 天祐貿易公司

大連中央郵便局私書函一三九號

營業科目

ゴム製品一切、石綿製品原料、内外各種パツキング、保温防熱材料、麻綿帆布製品、フェルト製品、セルロイド製品、エポナイト製品、フアイバ製品、マイカ製品各種、ゲージガラス、電氣絶縁材料一切、ホイル及ローラーベアリング、棉ゴムベルト、革ベルト、縫金具一切、諸機械工具類、土木建築材料、諸油塗料、ボンブ、金物、スチール、その他

總發賣元

本 社 大連市敷島町九番地
電話代表④五二二二番 ④五二二三番 ④五二二四番 ④五二二五番
支店 天津法租界棧橋星里二二番 電話三局三一八五番
同 支店 新日ノ出町三丁目六番地 電話④五五三五番

專務取締役 宋 德 元

在滿株式會社一覽一 日本法人

在滿株式會社一覽——日本法人

御家庭の延長として、御會食に御商談に
御宴會には是非！

割烹

三樂

電話(3)三五一六番

洋品專門
旅行用具

大和屋



敬天・銀座



相互奉
組合

天券番
淀町十六番地

電話
②

代務用表
事務部

四四一四

八〇四四

六五〇一

四七四六

創 立 明 治 四 十 二 年
 滿 洲 本 社 資 本 金 七 拾 五 萬 圓



會 合 社 名 近 澤 洋 行

滿洲本社 哈爾濱
 同支社 新豐路
 同支社 丹景街
 同支社 奉天
 朝鮮本社 京城長谷川町七
 電話 四〇二五八四九番

各種高級印刷
 御用命は是非
 弊店へ……

新 京 中 央 通 り 四 十 八 番 地
 世 界 堂 印 刷 工 廠
 改 々 村 上 印 刷 所
 電 話 四〇二五八四九番

サ 太 各 各 各 東
 ラ 陽 種 國 亞
 イ 印 再 洋 煙 煙
 シ ー 酒 草 草
 プ 酒 類 輸 特
 ツ 製 類 輸 特
 造 製 輸 特
 販 發 出 出 約
 賣 販 出 出 約
 元 賣 入 入 店



會 商 ス エ ー ケ

大 電 振
 連 話 替
 市 ② 大
 吉 一 連
 野 四 六
 一 三 二
 一 四 八
 一 番 番

特 選
 農場大連市外星ヶ浦
 指川泰東園
 ワゴ—果物店
 本店 大連市連鎖街
 電話 3-3932
 支店 大連市葛町市場内
 大連市羽衣町市場内
 販賣所 大連驛構内
 販賣所 大連市早湖町

營 業 品 目 卸 小 賣
 果 物、蔬 菜、新 鮮 鷄 卵
 菓 子、罐 詰、シ ロ ッ プ、其 他

胃腸
榮養

わかも
素



健康統制

世界唯一の複合ヘーアエ菌類
若素(わかもと)の常用によつて
健康不安を一掃するは、長期建
設下時局に處する國民の要諦で
あります。

若素(わかもと)の細胞原形質
賦活作用は、消化吸收機能を活
潑にし、全身の榮養を充實し、
血液を増加して病菌を殺滅し、
全體制を強靱なる組織下に統制
改造するからであります。

藥價
三圓一角
百圓入
九十五圓入

東京芝罘公
わかもとも
本舖

この日又養育といひ、養育を煮き
焚香して食を祀る。一に養育といひ
よ。この風俗間において最も甚だ
し。

二十四日から二十五日に至る間
各戸各親友男女と會合する。これを
會年茶といふ。各郷では二月十日以
後に行はる、ことがある。

二月 月

二日・花朝といふ。又俗に龍藏日と
いひ、漢毎に豚肉及び饅頭を食ひ、
夜に至ると各處に燈を懸する。名附
けて照燈といふ。又中留神の誕生
期として各家皆燈を設け、婦女は
この日裁縫することを忌む。

三日・清明節である。各郷では城隍神
を出迎する。この日は神像を担ぎ、
儀仗を用ひ、鼓樂を以て前導し、城
北に至つて海主の孤魂を祭る。この
日各家は皆祖先を祭り、人死して三
年以内なればその家人皆墳墓に至つ
て焚紙する。

十四日・地蔵菩薩の誕生日である。
十六日・城隍神の誕生日である。又
山神廟の祭日で、地方の人番前は相
集つて廟内で演劇し、山村の居民は
牲を具へてこれを祀る。

二十八日・東嶽大帝の祭日で、三月
一日から末日に至る山東泰山の神を
祀るものである。各郷の東嶽廟に祭
壇がある。

四月 月

八日・釋迦の誕生日である。
十五日・呂祖の誕生日である。この
日から三夜間は婦女神聖會といふ。
この日午飯に多々包子を食ふ。又小
兒七、八歳なるものはこの日に留髮
し、廟に詣り僧侶の唱合を受け家に
歸る風がある。これを跳繩といふ。
廟から家に歸る時、後方を顧みるこ
とを禁ずる。かゝすればその子が壯
弱であるとされてゐる。

二十八日・藥王の誕生日である。

五月 月

五日・端午節で、各商民皆酒を張
る。又門戸に菖蒲を懸け、角黍を包
み、糯米を食ひ雄黃酒を飲み、門前
に胡蘆を掛ける。婦女は髮を以
て小盥を懸して髪を覆ひ、或は布を
以て虎を作り、兒の肩に懸いで除災
の災とする。

十三日・俗に關帝廟力會といひ、十二
日を俗に關帝廟力會といふ。早天と
雖も必ず雨が降ると傳へてゐる。

六月 月

六日・土用の入りで、農王廟會があ
る。各郷國姓を備へて神を祀る。こ
の日多く衣を晒し書を晒す。又各郷
民は多く豚を殺して酒造し、又麴を
食ふ郷もある。

十九日・覺音堂で演劇祀神する。
二十四日・關帝廟會がある。

七月 月

七日・婦女浴河の日で、各家兒女夜間
婦女神を供養する。
十五日・中元節で又鬼節と稱する。鬼
とは幽魂の靈である。即ち魂祭で各
家祖先を祭り、各郷では城隍神
郊外に出迎し、各郷官衙の郊外に至
り無主の孤魂を祭る。

八月 月

十五日・仲秋節で、各商民戸々酒造す
る。俗に祭太陰又は供月といふ。

九月 月

九日・重陽節といひ、各家皆豚を殺し
て美食する。この日芋及び白朮を豚
肉に合して煮る者が多い。又菊花酒
を食ふ。

十七日・財神の誕生日で各商家でこ
れを祭り、皆廟に詣りて祭拜する。

十月 月

一日・この日も亦鬼節と稱し、城隍神
へ出遊して魂祭すること清明及び七
月十六日と同じ。この日農具を祀
り、遊藝衣といふ。又この日から粥
廠を開き綿衣を散じ以て窮民を濟
す。

十一月 月

冬至・この日各戸夜間祖先諸神を祭
り、各處は皆豚を殺して包子を食
ひ、地方の苦力も亦開宴すること略
々正月と同じである。名づけて蒸食
といふ。

十二月 月

八日・各家皆百歳及び各種種を用ひ
て粥として食ふ。これを臘八粥と
いふ。

二十三日・臘に臘を祭り糖瓜を用ひ
る。これを辨臘といひ、各家の祭後
靈神像を撤去し、三十日目に至つ
て新しいものに換へる。又この日を
過小年といふ。盛んに爆竹を放つ。
この日の前後は各家々に餃子を食
ふ風がある。

除日・早朝各神像祖先の前に祭物を陳
設供獻し、蠟を點じ香を焚き、朝六

日用便覽—滿洲年中行事

日用便覽 兵役法、滿洲國の度量衡

時に至つて茶酒を濫飲禁絶の禮を行ふ。各種の名は謂ふ所の、觀實書...

兵役法

在滿特別規則摘要

△關東州及滿洲國在住者は州内は警...

在郷届出

△特命、休職、後援維持將校准士官...

△右届出後關東軍管内に於て在郷地...

△關東州及び滿洲國在住者の召集及...

△關東州及滿洲國に於る軍事扶助及...

滿洲國の度量衡

滿洲國の度量衡は從來は各地によ...

米突法

(滿洲國採用)

Table with columns for name, unit, and conversion factors for various measurement units like meter, gram, liter, etc.

滿洲國從來の度量衡米突法比較表

Comparison table of measurement units across different regions like 海拉、通遼、安東, etc.

名			命位	米	法	日本尺	ソ
長	サ	度					
高	分	寸	0.0001尺			1.10000	0.01031
分	寸	分	0.001			1.10000	0.01031
寸	寸	寸	0.01			1.10000	0.01031
尺	尺	尺	0.1			1.10000	0.01031
引	寸	寸	1.0			1.10000	0.01031
道	寸	寸	10.0			1.10000	0.01031
寸	寸	寸	100.0			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.001			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.01			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.1			1.10000	0.01031
分	寸	寸	1.0			1.10000	0.01031
分	寸	寸	10.0			1.10000	0.01031
分	寸	寸	100.0			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.0001斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.001斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.01斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.1斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	1.0斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	10.0斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	100.0斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.0001斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.001斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.01斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	0.1斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	1.0斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	10.0斤			1.10000	0.01031
分	寸	寸	100.0斤			1.10000	0.01031

斤 尺 法 (滿洲國採用)

郵便規則と料金

取扱制限
一、内地關東州内局所より滿洲國側局所に宛てたる代金引換郵便、別配論

内國通常郵便料金

種別	料金
第一種 印刷書	二十グラム迄毎に 三錢
第二種 印刷書	二十グラム迄毎に 四錢
第三種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第四種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第五種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第六種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第七種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第八種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第九種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第十種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢

日用便覽 郵便規則と料金

内國特殊郵便取扱料金

種別	料金
第一種 印刷書	二十グラム迄毎に 三錢
第二種 印刷書	二十グラム迄毎に 四錢
第三種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第四種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第五種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第六種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第七種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第八種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第九種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢
第十種 印刷書	二十グラム迄毎に 五錢

滿洲國及中華民國宛通常郵便料金

書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢
書状 (全部印刷したる無封書状)	二十グラム迄毎に 三錢

電報と電話

和文電報取扱局所

和文電報取扱局所
(關東州) 登沙河、梅田、李家...

和文電報取扱局所 (續)
(青森) 八道、龍王、龍江、...

和文電報取扱局所 (續)
(關東) 登沙河、梅田、李家...

和文電報取扱局所 (續)
(關東) 登沙河、梅田、李家...

無線電報料金

無線電報料金
五語以上一語...

特殊取扱料金

特殊取扱料金
(關東) 登沙河、梅田、李家...

郵便電信爲替料

郵便電信爲替料
(關東) 登沙河、梅田、李家...

電話料金の土地區

電話料金の土地區
(關東) 登沙河、梅田、李家...

航空旅客賃金表

札幌	大連	東京	新京	瀋陽	長春	哈爾濱	...
...

(●印は急行のみによる料金)

電話市外通話料



満洲旅行案内

日滿連絡

(一) 汽船 (大阪商船經由)

航線 船 鶴見丸、黒龍丸、扶桑丸、熱河丸、吉林丸、うすり丸、うらる丸 (毎日或は隔日就航)

日滿連絡船發着時間表

船名	種別	発着時間
大連	發着	午前十一時
門司	發着	午前十一時
大連	發着	午前十一時
門司	發着	午前十一時

料 金 料 率 一等 二等 三等
大連・門司 六一〇 五五〇 三七〇 一七〇
大連・神戶 八五〇 六五〇 四五〇 一九〇

滿洲旅行案内 日滿連絡

(二) 汽船 (北日本汽船會社經由)

航線 船 敦賀、清津及び新潟、雄飛間直通航路は兩者共月三回往復就航。

北日本汽船會社發着時間表

船名	種別	発着時間
津津	發着	午後四時
津津	發着	午後四時
津津	發着	午後四時
津津	發着	午後四時

料 金 表 運 賃 一等 二等 三等
敦賀・清津 四八九 四五〇 三〇〇 一五〇
敦賀・津津 五二六 四八〇 三二〇 一六〇

(三) 汽船 (九州方面、日本郵船經由)
鹿兒島、長崎と大連間を結び西九州方面との連絡に便、使用船は千歳丸、淡路丸兩船三千噸。五日毎に鹿兒島、長崎、大連相互發着。

運賃 (三等)
長崎行 十二圓 鹿兒島行 十五圓

時間表

船名	種別	発着時間
大連	發着	午後三時
長崎	發着	午前七時
鹿兒島	發着	午前七時
大連	發着	午後五時

(四) 汽船及び關釜連絡船 (朝鮮經由)
毎日朝夕二回下關釜山間を鐵道省直營の連絡船が通ひ相互到着地に於て夫々急行列車に接続。近來スピードアップの結果東京、新京又は大連間は従来より十數時間の所要時間短縮となり日滿兩國交通政策上一大エポックをつくつた。

日滿連絡急行列車のぞみ

船名	種別	発着時間
釜山	發着	午前七時
釜山	發着	午後二時
釜山	發着	午後二時
釜山	發着	午後二時

同 「ひかり」
釜山發着 午後六時 奉天發着 午後二時
奉天發着 午後六時 釜山發着 午後二時

六〇一

滿洲旅行案内 日滿連絡

料 金 (三等) 東京・奉天 三二・九三 釜山・奉天 一九・〇一 東京・新京 三六・八六 釜山・新京 二二・七四

定期航空發着時間表

Table showing flight schedules for routes like 東京・福岡・大連・新京間(下り) and 東京・大連・釜山・奉天. Includes columns for flight type, departure times, and fares.

東京・大連 三七・八一 釜山・大連 二四・六九 (五) 飛行機 (日本航空、滿洲航空經由) 東京、大連間毎日相互發着一日にて連絡

(但し日曜日東京發休航、大阪大連間日曜日大連發休航) 東京新京間毎日相互發着一日にて連絡

Table showing flight schedules for routes like 東京・福岡・大連・新京間(上り) and 東京・大連・釜山・奉天. Includes columns for flight type, departure times, and fares.

×印は大連北京間に自社線と連絡線の中継航空機の時間です (御注意) 急行便は當分の間大阪に暫時致しません

料 金 東京・新京 (急行) 一七〇円 普通 一四七円 大阪・新京 (急行) 一四〇円 普通 一二二円

東京・奉天 (急行) 一四九円 普通 一〇四円 東京・大連 (急行) 一五〇円 普通 一〇五円 普通着陸場 新京、奉天、大連、新義州

急行着陸場 平壤、京城、大邱、蔚山、福岡、大阪、名古屋、東京 新京、奉天、大連、京城、福岡、大阪、名古屋、東京

連絡鐵道

滿鐵線と國有線及びその他の接続線及び線名は左の通りである。奉天... 四平街... 新義州... 哈爾濱... 滿洲里... 同... 金州...

運賃

Table showing fares for different classes (一等, 二等, 三等) and distances (一等, 二等, 三等) for various routes.

滿洲旅行案内 運賃

特別急行券は列車出發の日の五日前から發賣。

普通急行料金

Table showing fares for special express and ordinary express services across different routes.

鮮滿連絡急行料金

Table showing fares for special express services connecting Korea and Manchuria.

寢臺料金

Table showing berth charges for different classes and locations.

團體割引

團體旅行は可成前に申込むやうに、多數

の旅客を一度に輸送する爲には車輛の増結或は臨時列車の運轉等の手配で相當の時日を要しますから、餘り實際の申込でありますと希望に副ひ得ないことがある。尙團體の人員が所定の人員に満たないときでも所定の人員だけの運賃を拂へば次表の通り割引がある。

Table showing group discounts for different group sizes (e.g., 10-19 people, 20-49 people).

滿洲朝鮮相互間往復割引

一、安東經由 會社所管線の蘇家屯以遠(沙河、渾河方面)各驛と朝鮮線の平壤以遠(大同江、大平方面)各驛間 二、輪城經由 會社所管線の教化以遠(大平嶺方面)及東京城以遠(石面方面)各驛と朝鮮線城津以遠(日新方面)各驛間 以上の各驛相互間を往復せられる場合は二割引往復乗車券を發賣してゐる。

オシドリ香水



ムツゴロ
オシドリ
香水

請使用

興亞
女性ノ誇リノ
爽快ノ優雅ノ
一段ト氣品ヲ高メル
芳香馥郁ノ
「オシドリ香水」

オシドリ香油



興亞女性ノ誇リハ
美髪ニ在リ
オシドリ香油ノ使用ハ
活潑優雅ノ魅力ヲ發揮
ス平常ノ使用ハ女
性ノ賞美的常識
ナリ
請試用!

店商衛兵太上井 京東 舖本

主要驛間運賃表

鐵道總局所管線中四平街・齊々哈爾濱間及新京・牡丹江間は哈爾濱經由、奉天・吉林間は新京經由、錦縣・四平街間は奉天經由、吉林・圖們・清津・羅津と牡丹江・佳木斯相互間は圖佳線經由黒河・吉林・圖們・羅津・清津相互間は拉濱線經由の運賃。

等級	大連	奉天	新京	哈爾濱	安東	吉林	齊齊哈爾	佳木斯	牡丹江	清津	羅津	圖們	長春	錦州	營口	瀋陽	大連
一等
二等
三等

滿洲旅行案内 運賃

口中殺菌劑

(衛生口錠)

口より入る病を防ぎ、精神を爽快にする

カキル



一の豫防は

百の治療に優る

飲食の後・外出の時・人込に居る時
必ず本劑の二、三粒を口中に含み
悪疫に侵されぬ様御注意を願ひます

量容と價定

同錠	人	(二十粒)	二百
推定用防濕瓶入	人	(廿五粒)	二百五十
赤ケツト付	付	(三十粒)	三百
白ケツト付	付	(三十粒)	三百
銀形付	付	(五十粒)	五百
茶金石付	付	(五十粒)	五百
保藏用瓶入	入	(五十粒)	五百
同錠	入	(五十粒)	二百
同錠	入	(五十粒)	二百

東京市日本橋區本天宮前
本舖 株式会社 安藤井商店
製品部

樂器 蓄音器

一木洋行

電話二二四六七

音樂喫茶

名曲

電話二一六二四〇

"VANCO"



斯界の權威

萬年筆は

一萬古



全満到る所に於て販賣せり

營業課目

一、各種罐詰製造販賣、海產物、麥粉
 二、茶類調味料、絹、人絹及同加工品、石鹼
 三、ゴム靴、殺虫剤、ベニヤ板

大連市山縣通一八一郵船ビル



株式會社 野崎商店 大連出張所

本店 支店出張所

電話 (2)(2) 五五八八
 一三番
 横濱市中區相生町二ノ四七番地
 東京、大阪、神戶、兩育館
 上海、天津、倫敦、紐約

營業品目

鑛山鐵道用諸機械、工作機械類、電動機類、高級切削工具類
 ホワイトメタル類、伸銅製品、工業用ゴム及皮革製品
 ダイヤモン、ドッソール類、ボールベヤリ、ング

大連市山縣通一九三番地



福信洋行

電話本局三五七二番

取扱細品

キリンビール、キリンレモン、味の素、蜂アドウ酒、三ツ矢アドウ酒、銘酒松竹梅、進軍、玉椿味淋
 セービス、カルビス、松田のシロツブ、ボンパン、三菱サイダー、桃屋のフルーツ、スムス、スライム、日
 清サラダ油、マヨネーズ、三ツ矢ソイス、カゴメソイス、ケチヤツア、ニビシ醤油、九金醤油、日
 北海バター、丸助酢、山本の海苔、積名湖印ウナギ罐詰、アカシヤ印、ジャントク印、練詰、ニッサン石
 九冷きぬこし豆腐、寒天、ヤマキ印刷、國旗印、澤庵、其他

大連市磐城町八十七番地

卸商 食料品 尖 彌 宜 田 商店

電話(二)四七五五、三六〇二、二九三一
 出張所 天津日本租界旭街二十七番地
 大連市三春町永喜食品工業所

各種罐詰 製造 富山罐詰工場

營業所 大連市惠比須町一六〇ノ二
 電話長伏見局三四六二三番
 工場 大連市裾野町五九
 電話西局(四)九八〇七番

二營業種目二

コンベヤー昇降機及其他一般輸送機械・鐵骨・橋梁・其他一般鋼構造・鑛山用諸機械電孤銲接作業

二設計製作二



株式會社 **滿洲松尾鐵工廠**

奉天市大和區木曾町五番地

電話 本局 2-3175 番

工場 奉天市鐵西區獎工街一〇六

電話 春日 3-3272 番



株式會社 **奉天製作所**

電話 ③七二一一—三番

本社並工場

奉天市鐵西區篤工街三段一號

營業部出張所

奉天市大和區加茂町三井ビル三階

電話 ②二七〇五(機械)
電話 ②二四六七(電機)

目種業營

- 一、各種原動機、壓縮機、送風機、各種唧筒
- 二、各種起重機、運搬裝置、捲揚機
- 三、各種發電機、變壓機、電動機、配電盤及用品、電氣爐
- 四、鐵鋼構造物、製鐵及鑛山機械、鐵道船舶用機械、化學機械、橋梁鐵工工事、製罐工事
- 五、鑄造、鑄造製品、各種絕緣物

目料業營

石油揮發油
重油輕油
潤滑油類
機械器具
鍛造鑄造
一般工業品
自動車輪胎

大連市龍田町八十三番地
三井物產株式會社一手販賣代理店



株式會社 **三友商會**

大連市淡路町三四

其務取寄復

室

函

係

治

部

電話 九九五七
三〇五七
九〇九一
六七七〇

大連市龍田町八十三番地

伊東洋行

伊

東

三

言

電話 二二七九
〇五八三
二二七九

主 要 製 品

安 全 硝 子、鋼 硝 子
 ローレックス硝子、硬質硝子
 建築用プリズム硝子、照明用硝子
 カット・ガラス、パルト・ド・ヴェール
 イワギ熔接眼鏡、航空用眼鏡
 寫真用クロス、フィルムター
 鐵道信號用レンズ
 船舶信號用レンズ
 航空信號用レンズ
 航空機用反射鏡
 各種精密反射鏡

奉天市鐵西區北二路一



滿洲岩城硝子株式會社

電話(三)五一六二番
 (三)六六五三番

加茂町五番地

電話 (2)3270
 (3)7734

德田葬儀社

南滿社 資合會社

霞町四〇番地

電話 (3)7492
 (3)6172

板橋造花會社

青葉町二六番地

電話 (3)3905
 (3)7734

板橋慈善葬儀社

海陸運輸
 通關代辦



丸重洋行

奉天宮島町十六番地

電話 (三)二一七三番
 (三)七四九五番
 (三)八二二〇番
 (三)四一五〇番
 (三)四一三一番
 (三)四一四二番
 (三)四一五二番
 (三)四一六二番
 (三)四一七二番
 (三)四一八二番
 (三)四一九二番
 (三)四二〇二番
 (三)四二一二番
 (三)四二二二番
 (三)四二三二番
 (三)四二四二番
 (三)四二五二番
 (三)四二六二番
 (三)四二七二番
 (三)四二八二番
 (三)四二九二番
 (三)四三〇二番
 (三)四三一二番
 (三)四三二二番
 (三)四三三二番
 (三)四三四二番
 (三)四三五二番
 (三)四三六二番
 (三)四三七二番
 (三)四三八二番
 (三)四三九二番
 (三)四四〇二番
 (三)四四一二番
 (三)四四二二番
 (三)四四三二番
 (三)四四四二番
 (三)四四五二番
 (三)四四六二番
 (三)四四七二番
 (三)四四八二番
 (三)四四九二番
 (三)四五〇二番
 (三)四五一二番
 (三)四五二二番
 (三)四五三二番
 (三)四五四二番
 (三)四五五二番
 (三)四五六二番
 (三)四五七二番
 (三)四五八二番
 (三)四五九二番
 (三)四六〇二番
 (三)四六一二番
 (三)四六二二番
 (三)四六三二番
 (三)四六四二番
 (三)四六五二番
 (三)四六六二番
 (三)四六七二番
 (三)四六八二番
 (三)四六九二番
 (三)四七〇二番
 (三)四七一二番
 (三)四七二二番
 (三)四七三二番
 (三)四七四二番
 (三)四七五二番
 (三)四七六二番
 (三)四七七二番
 (三)四七八二番
 (三)四七九二番
 (三)四八〇二番
 (三)四八一二番
 (三)四八二二番
 (三)四八三二番
 (三)四八四二番
 (三)四八五二番
 (三)四八六二番
 (三)四八七二番
 (三)四八八二番
 (三)四八九二番
 (三)四九〇二番
 (三)四九一二番
 (三)四九二二番
 (三)四九三二番
 (三)四九四二番
 (三)四九五二番
 (三)四九六二番
 (三)四九七二番
 (三)四九八二番
 (三)四九九二番
 (三)五〇〇二番

本支店所在地
 本 店 大連・支店 新 京、哈爾濱、吉林
 齊齊哈爾、瀋陽、錦州、敦化、圖們、南
 牡丹江、南興安、通化、遼寧、白城子

洋品雜貨
 寫真機材料 商

奉天春日町三番地

裕民彩票代賣 金十三洋行

電話三一六〇七番
 振替奉天四〇七番

營 業 種 目

綿糸布の染色加工竝に販賣

奉天市鐵西區嘉工街二段十四地號

鐘紡康德染色株式會社

業務用度會計 電話三一五四七六番
 電信略號 水ウテンコウトク
 取引係専用 電話三一四九六五番
 荷渡取用 電話三一四九六七番

奉天柳町料理店組合

 **滿洲製糖株式會社**

奉天 奉天市大和區永代町二番地
 本社 電話 〇二五二
 東京事務所 東京市麹町區丸の内二丁目三番地
 哈爾濱事務所 哈爾濱道里區地段街一七三號ノ一
 新京工場建設事務所 連京線范家屯

營業科目

各種機械 改良農具 製作付請負 各種革車 其他部分 肥料



東山產業株式會社奉天出張所

滿洲國奉天市大和區青葉町四番地

電話(三)四一三番
 一 接口座奉天四〇五〇番
 二 發電略號(ト)又ハ(トサ)

本浦出張所 全南木浦府榮町
 京城出張所 京城府南大門通五
 本社 全北裡里邑日出町



鞍山市製鐵工場地區
 株式會社 **滿洲口一ル** 製作所

電話代表區三一六一番



鞍山市製鐵工場地區
 株式會社 **滿洲鑄鋼所**

電話代表區三一五一番



鞍山市製鐵工場地區
日滿鋼管株式會社

電話代表區三〇五四番



鞍山市製鐵工場地區
滿洲亞鉛鍍株式會社

電話代表區二五九二番



孔雀印 印刷インキ製造販賣

株式會社
諸星千代吉商店

本店	横濱市中區西久保町一二一番地	電話(8)〇三三七番
東京支店	東京市京橋區寶町二丁目九番地	電話(56)〇二四七番 七〇八五番
大阪支店	大阪市南區鍛冶屋町二七番地	電話(76)五二二一番
名古屋支店	名古屋市東區大津町五丁目七番地	電話(4)五七九二番
福岡出張所	福岡市下名島町一二番地	電話(四)二五一三番
大連出張所	大連市紀伊町六五番地	電話(2)七五四二番
嘉天出張所	奉天市大和區富士町三番地	電話(8)六六五七番
天津出張所	天津日本租界花園街六番地	電話(2)〇五九二番
諸星公司	上海文路五三號	電話(4)一五五九番
第一工場	横濱市中區西久保町一二一番地	電話(8)一一八五番
第二工場	横濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町四七一番地	電話(8)一六八九番



充實せる
百貨と
國都に誇る
近代設備



百貨店

山宝 新 京

—〇五②電



孔雀印 印刷インキ製造販賣

株式會社
諸星千代吉商店

本店	横濱市中區西久保町一二一番地	電話(8)〇三三七番
東京支店	東京市京橋區寶町二丁目九番地	電話(56)〇二四七番 七〇八五番
大阪支店	大阪市南區鍛冶屋町二七番地	電話(75)五二二一番
名古屋支店	名古屋市東區大津町五丁目七番地	電話(4)五七九二番
福岡出張所	福岡市下名島町一二番地	電話(四)二五一三番
大連出張所	大連市紀伊町六五番地	電話(2)七五四二番
奉天出張所	奉天市大和區富士町三番地	電話(8)大大五七番
天津出張所	天津日本租界花園街六番地	電話(2)〇五九二番
諸星公司	上海文路五三號	電話(4)一五五九番
第一工場	横濱市中區西久保町一二一番地	電話(8)一二八五番
第二工場	横濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町四七一番地	電話(8)一六八九番



充實せる
百貨と
國都に誇る
近代設備



百貨店
山宝
新 京

—〇五②電

健康報國

精神總動員の推進力!



東京製菓株式會社

☆ホシノ胃腸薬

滿洲内地相互間往復割引

滿洲内地相互間を往復乗車せられる場合は下記の割引乗車券(通用二箇月)を發賣してゐる。

- 安東釜山經由 鐵道(鐵道省鐵路を名む)二割引
- 轉送釜山經由 鐵道及九州郵船鐵路 二割引
- (但津浦會社線のみ)
- 大連經由(鐵道、近郊鐵路) 一割引
- 北鮮經由(北日本、日本海、南滿鐵路) 二割引

内鮮滿周遊券

會社所管線の主要驛から所定經路により内鮮滿を週遊せられる場合は鐵道二割引、大阪商船航路一割引、北日本汽船航路一割引にて二箇月通用の二三等周遊券を發賣してをります。

滿洲朝鮮間團體割引

片道の場合 二十人以上一團となつて旅行せられる場合は人員の多数により二割引以上六割迄の割引がある。

往復及週遊の場合 會社所管線本滿洲以東(本滿洲を除く)の各驛と間驛、朝鮮線、金剛山鐵道各驛間(安東經由)及會社所管線各驛と局線宜川以北(宜川を除く)各驛間(安東經由)及會社所管線敦化以東(敦化を除く)及東京城以南(東京城を除く)の各驛と明徳各驛各驛間(輪城經由)及會社所管線各驛と局線津浦以北

滿洲旅行案内—旅費

(旅費を除く)及朝鮮或北滿の各驛間(輪城經由)等を往復せられる場合は次の割引があります。

内鮮滿間團體割引

片道の場合 二十人以上(鐵道省線は三十人以上)一團となつて旅行せられる場合は人員と時期により一割以上六割迄の割引があります。

往復及週遊の場合 滿洲から内地へ連絡運輸機關所定の驛相互間を往復又は週遊せられる、十人以上の普通團體は鐵道三割以上五割迄、航路一割以上二割五分迄、學生團體は鐵道五割以上六割迄、航路二割以上三割五分迄の割引があります。

旅費

内地から鮮滿の周遊旅行をするには旅費がどの位必要だらうかといへば、汽車汽船賃、旅館宿泊料、食料、車馬賃(馬車又は電車使用)その他旅前に於ける心付等を合せて一人一日當り大體左記の金額を標準として計算すれば大差はない。

單獨の場合

二 等	十二圓—十三圓として約二百〇五圓。
三 等	七圓—八圓として約百二十八圓。
三 等學生	五圓見當として約八十九圓。
團體の場合 (二十人以上、一人當り)	
二 等	十四圓として約百六十六圓。
三 等	六圓として約九十九圓。
三 等學生	四圓として約六十九圓。
備考	
一、宿泊料	一泊二食付(學生三食付)
二 等	五圓
三 等	四圓
三 等(中學生)	三圓
同 體	四圓五十錢
同 體	三圓五十錢
同 體	三圓
同 體	三圓(中學生)
同 體	一圓八十錢
同 體	三圓(專門學校以上) 二圓三十錢
一、車中食事	二等は食車東利用その他は購買辦當
二 等	一圓
三 等	七十七錢
同 體	二圓
同 體	一圓
同 體	四十七錢
同 體	茶七錢
一、車中食事	
二 等	一圓
三 等	一圓
同 體	五十錢
一、車馬賃	
各地車馬賃の項参照	
一、雜費	
主として旅館使用人、船車ボーイ等の心付	

滿洲旅行案内—其他料金

滿洲及朝鮮旅館協會
團體宿泊料及食事宿泊料金表

關東州內 (昭和十三年六月一日改正)

項目	金額
小食料	一〇〇〇
中食料	一五〇〇
大食料	二〇〇〇
特別食料	二五〇〇
小酒料	一〇〇〇
中酒料	一五〇〇
大酒料	二〇〇〇
特別酒料	二五〇〇
小食酒料	一〇〇〇
中食酒料	一五〇〇
大食酒料	二〇〇〇
特別食酒料	二五〇〇

關東州外

項目	金額
小食料	一〇〇〇
中食料	一五〇〇
大食料	二〇〇〇
特別食料	二五〇〇
小酒料	一〇〇〇
中酒料	一五〇〇
大酒料	二〇〇〇
特別酒料	二五〇〇
小食酒料	一〇〇〇
中食酒料	一五〇〇
大食酒料	二〇〇〇
特別食酒料	二五〇〇

其他料金

赤帽
主要には赤帽(手荷物運搬人)が居ります。料金は手荷物一箇に付金五錢です。

構内食堂
次の各構内に食堂があります。
(大連、奉天、龍江、四平街、新京、安東、營口、吉林、瀋陽、哈爾濱、齊齊哈爾、滿洲里、牡丹江、琿春、佳木斯、大石橋、遼陽、鐵嶺、昌圖、公主嶺、大虎山、蛟河、敦化、樺甸、白旗、石門子、海林、長嶺、九龍屯、博克圖、海拉爾、齊齊哈爾、龍江、牡丹江、佳木斯、大石橋、遼陽、鐵嶺、昌圖、公主嶺、大虎山、蛟河、敦化、樺甸、白旗、石門子、海林、長嶺、九龍屯、博克圖、海拉爾)

名勝蹟車馬賃 (驛基點)

左表は大體の標準であるから、乗車の際、は定め料金を定めるのが得策である。
(参考) 日本の一里は書支距離六・八に當る。
(單位金圓)

項目	金額
常	金四〇錢
茶	金三〇錢
壽司	金七錢

項目	金額
安東	〇・〇〇
新賓	〇・〇〇
撫順	〇・〇〇
遼陽	〇・〇〇
鐵嶺	〇・〇〇
昌圖	〇・〇〇
公主嶺	〇・〇〇
吉林	〇・〇〇
延吉	〇・〇〇
和龍	〇・〇〇
汪清	〇・〇〇
敦化	〇・〇〇
蛟河	〇・〇〇
大石橋	〇・〇〇
磐石	〇・〇〇
雙陽	〇・〇〇
九台	〇・〇〇
農安	〇・〇〇
德惠	〇・〇〇
九龍屯	〇・〇〇
梨樹	〇・〇〇
伊通	〇・〇〇
懷德	〇・〇〇
雙陽	〇・〇〇
九台	〇・〇〇
農安	〇・〇〇
德惠	〇・〇〇
九龍屯	〇・〇〇
梨樹	〇・〇〇
伊通	〇・〇〇
懷德	〇・〇〇

項目	金額
遼寧	〇・〇〇
吉林	〇・〇〇
黑龍江	〇・〇〇
山東	〇・〇〇
河南	〇・〇〇
湖北	〇・〇〇
湖南	〇・〇〇
廣東	〇・〇〇
廣西	〇・〇〇
雲南	〇・〇〇
貴州	〇・〇〇
陝西	〇・〇〇
甘肅	〇・〇〇
四川	〇・〇〇
重慶	〇・〇〇
西康	〇・〇〇
西藏	〇・〇〇
新疆	〇・〇〇
察哈爾	〇・〇〇
綏遠	〇・〇〇
熱河	〇・〇〇
遼寧	〇・〇〇
吉林	〇・〇〇
黑龍江	〇・〇〇

項目	金額
遼寧	〇・〇〇
吉林	〇・〇〇
黑龍江	〇・〇〇
山東	〇・〇〇
河南	〇・〇〇
湖北	〇・〇〇
湖南	〇・〇〇
廣東	〇・〇〇
廣西	〇・〇〇
雲南	〇・〇〇
貴州	〇・〇〇
陝西	〇・〇〇
甘肅	〇・〇〇
四川	〇・〇〇
重慶	〇・〇〇
西康	〇・〇〇
西藏	〇・〇〇
新疆	〇・〇〇
察哈爾	〇・〇〇
綏遠	〇・〇〇
熱河	〇・〇〇
遼寧	〇・〇〇
吉林	〇・〇〇
黑龍江	〇・〇〇

哈爾濱ヤマトホテル 歐式 三・五〇—三・五〇〇
 五龍閣(五龍背) 歐式 一・〇〇—七・〇〇
 興城(温泉ホテル) 歐式 四・〇〇—七・〇〇
 登瀛島ホテル 宿泊料(二直付) 三・〇〇—七・〇〇
 齊々哈爾濱道ホテル 歐式 四・五〇—一五・〇〇
 阿爾山ホテル 宿泊料(朝直付) 五・〇〇—六・五〇
 扶桑館(北京) 宿泊料(二直付) 五・〇〇—二五・〇〇
 開原驛ホテル 歐式 二・五〇—均一
 承德驛ホテル 歐式 三・〇〇—均一
 佳木斯驛ホテル 歐式 和四・〇〇—四・五〇
 △滿鐵線
 大連—遼東ホテル、中央ビルホテル、ナ
 ニワホテル、花屋ホテル、天満屋
 ホテル、磐城ホテル、錦水ホテル、
 亞細亞ホテル、東郷旅館、鎮西旅
 館、東洋ホテル、南滿ホテル、日
 本橋ホテル
 旅順—旅順ホテル、寶來館、防長旅館
 龍岳城—温泉ホテル
 營口—清林館、營口ホテル
 湯灣子—對翠閣、玉泉館
 鞍山—近江屋ホテル、扇屋旅館、鞍山ホ
 テル
 遼陽—遼陽ホテル、内田旅館

奉天—瀋陽館、大星ホテル、大丸旅館、奉
 ビルホテル、平安ホテル、温泉ホ
 テル、昭和ホテル、平和ホテル、
 九州館、江の島館、日進館、常盤
 旅館
 撫順—安順ホテル、筑紫支店
 公主嶺—公主嶺ホテル、丸福旅館
 四平街—植半旅館、小松屋旅館
 鐵嶺—松花ホテル
 新京—國都ホテル、國際ホテル、中央ホ
 テル、大和旅館、西村旅館、新京
 旅館、富士屋旅館、梅屋旅館、滿
 蒙旅館、太平旅館、大丸新館、名
 古屋ホテル、向陽ホテル、旭ホテ
 ル、太陽ホテル、國華ホテル、愛
 國旅館
 安東—日滿ホテル、大和旅館、元寶館、
 富久壽美ホテル、安東ホテル、日
 之出ホテル、赤心閣
 △奉天線
 大虎山—大和館、大虎山ホテル
 溝帮子—溝帮子ホテル、角福旅館
 錦州—錦州ホテル、遼西ホテル、建國ホ
 テル、協和旅館、昭和ホテル、奉
 天ホテル、入城館
 山海關—東洋館、山海ホテル、大和館、日

本館、昭和館
 北票—大同ホテル
 △大鄭線
 通遼—通遼ホテル
 △平齊線
 鄭家屯—鄭家屯ホテル
 洮南—南滿旅館、萬國旅館
 △齊北線
 齊々哈爾濱—齊々哈爾濱ホテル、日の丸旅館、
 朝日旅館、龍沙旅館、東洋旅館
 北安—大同旅館、北黑ホテル
 △京圖線
 吉林—名古屋ホテル、日清ホテル
 敦化—大正旅館、都旅館、富士屋、大泊
 旅館
 圖們—佐賀屋、富士屋、博多屋、かめや、
 國側館
 △北滿線
 哈爾濱—北滿ホテル、名古屋ホテル、東洋
 ホテル、亞細亞ホテル、ナシヨナ
 ルホテル、中央ホテル、鶴屋旅館
 ニューハルビン
 昂々溪—昂榮館、小林旅館、滿蒙屋旅館
 滿洲里—日本ホテル、大正旅館
 △その他
 北平—扶桑館、日華ホテル、石田旅館、燕京ホテル
 天津—常盤ホテル、大和ホテル、松島館
 青島—松茂里旅館

附 錄

容 内

支那事變
 皇軍不退轉の活躍
 日英東京會談の經過
 再建新支那の展望
 極東ソ聯の現況

支那事變

皇軍不退轉の活躍

第三年を迎へた支那事變 新支那建設段階に入る

事變第二年の最も大きな出来事は英佛勢力濃厚な廣東を攻略して蔣政権唯一最大の榮養補給路を断ち援蔣諸國の策動に一大破局を下した事、延いて金城鐵壁と恃んだ武漢三鎮を陸海空三位一體の立體戰によつて僅々五箇月の短期間に攻略し、長期抵抗と遊撃戰を呼號してゐた蔣政權を重慶に逼り、遊撃戰の一端方政權に轉落せしむる實せしめ敗殘の一方政權に轉落せしむるとともに、わが國の支那事變處理態勢が戰争遂行と占領地復興建設の長期建設段階に入つたことであつた。即ち十月二十七日武漢三鎮を完全に占領するや、帝國政府は十一月三日の明治節を期し東亞新秩序建設の重大聲明を發して新東亞建設の帝國の眞意を明かにし中外の疑惑を一掃するとともに

支那事變——皇軍不退轉の活躍

支那民衆に離趨すべき目標を與へ、事變に一段階を劃したのであつた。かくて事變は長期建設段階に入つたが、帝國の戰勝から從來支那に不法な利權を有する英米佛の各國は自國利權確保に不安を感じ、蔣政權に法幣維持資金を供給し、或は未だ皇軍の占據せざる廣東省南部諸港及び汕頭、福建省福州、浙江省温州、寧波等より軍需資材を供給し或は外貨獲得の輸出物資を積載するなどの露骨な援蔣行動を敢へてするに至つたのでわが帝國はこれら援蔣物資輸出入口を封鎖するため、年初以來陸海軍をして海州、舟山列島汕頭等を占領すると共に福州、温州などを封鎖せしめ、蔣政權の榮養補給路の断つたのであつた。

一方南支、中支、北支の廣汎な占領地域においては、地域内の治安を維持すると共にその周邊の敵を隨時攻撃して、常に敵に莫大な損害を與へその企を挫折せしめた。蔣政權は二月以來英米佛などの支援によつて命脈を繋ぐべく四月攻勢或は五月攻勢

などと盛んにデマ宣傳を行ひ虚勢を張つたが、その都度皇軍の機先を制しての猛襲に支離滅裂に粉砕され事變第三年に入つて以後は唯一の頼みの綱英佛の各國が第二次歐州大戰の當軍國となつたため、これら各國の支援は殆んど断絶し、加ふるに昨年未重慶を脱出した汪精衛の和平運動は一鴻千里の勢ひを以て進轉し、中央新政權の創建は目捷の間に迫り、重慶政權内閣共兩派の暗闘は益々熾烈化し慈上明日をも測られぬ末季症狀を呈するに至つた。

帝國の東亞新秩序建設聲明

(昭和十三年十一月三日發)

今や、陛下の御機成に依り帝國海軍は東、西、南三鎮を攻略して支那の要衝を統制したり、國民政府は既に地方の行政に過ぎず、然れどもなほ國民政府にして抗日共政府を組織する限り、これが激減を見るまで帝國は斷じて鋒を引かざるべし、帝國の希望するところは東亞永遠の安定を確保すべき新秩序の建設にあり、今次征討の目的は政治文化など各般に互に互助協力の關係を樹立するを以て根幹とし、東亞に於ける國體正義の確立、共同防衛の徹底、新文化の創進、經濟結合の實現を期するにあり、帝國が支那に安定し世界の進歩に寄與する所以なり、帝國が支那に望むところは此の東亞新秩序建設の任務を分擔せんこととあり、帝國は支那國民が能く我意を理解し以て帝國の協力に應へんことを期待す、もとより國民政府と雖も從來の同種政策を一掃しその人的構成を改善し

支那事變——皇軍不退轉の活躍

て更生の實をあげ、新秩序の建設に乗り出すもの... 支那の復興を正軌に認識し東洋の新情勢に適應すべき...

帝國政府の

日支國交調整根本方針

（昭和十三年十二月二十二日發表） 東亞新秩序建設の根本問題をなす更生新支那と帝國との國交調整に關する根本方針は...

近衛内閣總理大臣談

政府は本年再度の聲明において明かにしたること... 支那の復興に對する共同の目的を以て...

陸軍の大戦果

大本營陸軍部は事變二周年間近に迫れる五月二十九日支那事變勃發以來本年四月末までの、日支兩軍交戦による彼我損害の総合的戰果を發表した。即ちわが占領地域は...

事變二週年の陸軍の大戦果

（昭和十四年五月二十九日） 大本營陸軍部發表 一、占領地域—察哈爾、綏遠、河北、山東、山西、江蘇の全省および河南の大部、浙江、江西、湖北、廣東の各一部、海南島の全部

支那事變——皇軍不退轉の活躍

彼我損害一覽表

Table with columns for direction (North, South, East, West), area, and damage statistics. Includes sub-sections for '敵損害' and '我損害'.

函獲品調査表

Table listing various items (weapons, equipment) and their quantities, categorized by type and date.

支那軍の活動状況

支那軍の活動状況に関する詳細な報告。支那軍の進軍ルート、戦況、および地方自治の進展について記述している。

支那軍の活動状況に関する表。日、地点、戦況、備考などの項目を含んでいる。

支那軍の活動状況に関する表。日、地点、戦況、備考などの項目を含んでいる。

支那における活動状況

支那における活動状況に関する詳細な報告。支那軍の進軍ルート、戦況、および地方自治の進展について記述している。

支那における活動状況に関する詳細な報告。支那軍の進軍ルート、戦況、および地方自治の進展について記述している。

支那軍の活動状況

支那軍の活動状況に関する詳細な報告。支那軍の進軍ルート、戦況、および地方自治の進展について記述している。

支那軍の活動状況

支那軍の活動状況に関する詳細な報告。支那軍の進軍ルート、戦況、および地方自治の進展について記述している。

支那軍の活動状況

つて第三國財産保護ならびに南支一帯における第三國の軍隊、艦船および飛行機等の行動について第三國においても南支作戦における帝國政府の意のあるところを諒解し深甚の注意を拂ふべきやうにとの通告を發した同通告は左の如きものであるが、去る六月二十日付公文をもつて發せられた通告をさらに敷衍具體化するものであり、今次の南支作戦が第三國利益および交通の問題より見て中支、北支に比し複雑な國際關係もある點を考慮し豫じめ第三國の注意を喚起せるものである。

南支作戦に關し第三國に通告の件

南支作戦に關し本月十二日近衛外相より在京各國大使宛左記公文を發付した。

一、帝國政府は第三國利益保護の點より去る六月二十日公文をもつて帝國政府の要請として將東陸上作戦地となる處れ大なる地域すなはち黄河以南、西安、宜昌、衡陽、北海を連ねる廣大の地域において、第三國人は支那側の軍事施設に接近せざること、第三國人民は支那中および地上に對し明瞭に顯示するともこれを通じて日本官憲に通過すること、支那軍にして該區域内第三國人民を保護する

る場合においては日本軍はやむを得ずこれを攻撃するの餘儀なきに至るべくこの場合日本軍においては其の保護の責任をとるを得ざること、第三國人は出來得る限り現實の困難區域より安全なる地帯に立退くことは各種事件發生防止の見地より最も望ましい次第なること、などを通告せる次第なること、今次南支方面における作戦實施に當り帝國政府は改めて右通告に關し閣下の注意を喚起するとともに特に左の諸點に關し貴國政府の適切な措置を要請するの光榮を有し候。

二、上海、九江における戰艦の移動によれば支那軍は故意に第三國財産の至近距離に防護隊を構築し或は第三國財産に對して日本軍に抵抗したるため日本軍は第三國財産の保護に阻みて困難を感じたる實情に有之從つて帝國政府は今支那支方面作戦において支那軍をして右の如きことをなさしめざるやうに要請致すものには有之候、この點に關し帝國政府は若し支那軍が第三國財産の至近距離に存在する場合においてはその被擧に對する責任は當然支那軍においてこれを負ふべきものなりとの見解を有するものには有之候、なほ帝國政府は成り續く支那軍と共存するも貴國側において日本軍をして貴國が支那側に好意を興へつたありとの懸念を抱かざるが如き一切の行動を避けられるやうに配慮あらんことを切望致し候。

三、帝國政府は日本軍の今次南支方面作戦中油頭より北海にいたる南支一帯の支那領土、領海および領空において第三國の軍隊、艦船および飛行機の行動することは帝國軍隊、艦船、飛行機との間に不慮の衝突を起する虞れあるにつき貴國側において出來得る限りこれを避けられることを要請するものにして

る限りこれを避けられんことを要請するものにしてもし已むを得ず貴國軍隊、艦船および飛行機が右地域を行動する場合は通信聯絡の關係上成るべく十數日の餘裕をもつて帝國官憲に通告せられ候、最後に帝國政府は支那軍においては第三國の領土領海および領空を利用せんとすることあるやもはかり難きに鑑み、貴國政府においてかかる支那軍の企圖は總對しこれを許容せられざるべきことを確信しかつ要請致すものには有之候、右中支支隊々々大臣は茲に重ねて閣下に向つて敬意を表し候致す。

南支陸軍最高指揮官更迭

陸軍省十一月十八日發表
參謀本部附設仰付 陸軍中將 古莊幹郎
第五師團長 陸軍中將 安藤利吉
廣東攻略に當り古莊中將を擧げた古莊中將は本作戦開始初より健康を害してをられたが病體を押し本作戦に従軍しその重任を果されたのであるが、廣東治安の回復しつゝあるを機會に重任を解かれしばらく靜養することになつた。

海南島占領 皇軍の廣東占領後も英米佛國の援將行爲は跡を絶たなかつたので、斷乎この援將國の反省を促すため、わが陸海軍の精銳は二月九日夜海南島を襲ひ何ら抵抗は受けることなく十日未明澄邁灣の敵前上陸に成功し、上陸部隊は直に二隊に分れ

て進撃一部隊は十日午前十時四十分同島の首都瓊山を、また一部隊は同島第一の都會海口を占領した。以後陸軍部隊は海軍陸隊と協力して戦果を全島に擴大し、文昌、嘉積、三亞島、榆林港等を相次いで占領したが、はじめ同島の支那側守備軍としては元第六十二軍長張達を總司令とし、王毅を副司令とする一箇師二箇旅より成つてゐたが、皇軍の廣東攻略後戦々として海を渡つて廣西方面への逃亡者相次ぎ、皇軍が澄邁灣に上陸當時は總司令の張達は疾に逃亡し、副司令の王毅の指揮する一箇旅の不正規軍のみが、海口を中心として警備に當りその他保安隊、自衛團などが全島に散在してゐたが、皇軍の急迫から便衣に着換へて山中に逃げ込み、日を經るに従つて陸續歸順、逐次治安は回復した。

支那事變——陸軍部隊の活躍

この大膽な皇軍の海南島占領は英米佛ソ等の援將國を驚愕せしめその援將策動に一大打撃を與へた。

廣東附近の掃蕩戰

昨秋わが南支作戦軍に廣東を奪はれて以來、余漢謀を指揮官とする廣東軍は韶關を中心として粵漢線の英德、翁源等に集結し、福建、廣東兩省を第四戰區とし馮發奎を總司令に、余漢謀を副司令に任命、また中央軍羅卓英の四箇師を湖南より南下せしめて、廣東奪回を策しつ

汕頭一帯を占領

わが粵東派遣軍は南支陸隊と緊密な協力の下に六月二十一日汕頭附近の敵前上陸に成功し、毛利部隊は同日午後入城して殘敵の掃蕩を行ひ、二十二日午前七時招商碼頭から上陸した海軍福田部隊と協力して、市政府をはじめ市内各重要施設を確保し更に市外の殘敵掃蕩を開始、こゝに昨日までの抗日據點は完全に皇軍の掌中に歸した。同地には第四戰區總司令張發奎麾下の李漢魂の部下葉振中の約二箇師を派遣して防衛に當らしめてゐたが、皇軍の疾風迅雷的な奇襲上陸に油頭を放棄して奄埠、潮州方面に逃じたので、市街には何らの損害もなくまたわが軍にも何らの損害を蒙らず無血占領した。かくて皇軍は奄埠方面と潮州方面の二路に分れて進撃、生田部隊は六月二十二日雨中泥濘の惡路を猛進午前十一時潮汕鐵路の終點奄埠を占領し、同二十七日毛利部隊は潮州に突入占領、さらに韓江を南下し

支那事變——陸軍部隊の活躍

二十九日午後二時海軍艦隊を占領、こゝに油頭一帯の敵を完全に掃蕩した。...

中支方面

武漢攻略 徐州大會戦後、政府は武漢を據拠として湖北省大別山系、江西省贛東山脈、...

河南方面

(八月二十一日廣州出發より概ね十月中旬まで) 敵遺棄死傷四〇、八五〇、捕虜五、五七〇...

揚子江方面

(七月下旬九江上陸より概ね武漢攻略まで) 敵遺棄死傷一〇二、八〇〇、捕虜三、七〇〇...

武漢攻略迄の海軍の戦果

Table with columns for '敵遺棄死傷' (Enemy killed/dropped), '捕虜' (Prisoners), and '計' (Total). Rows include '揚子江方面' and '武漢攻略迄'.

支那事變——陸軍部隊の活躍

と緊密に連絡して、武穴、田家鎮、石炭嶺、黃石港等を相次いで陥れ、遂に宜昌を明け十月二十二日午前七時...

支那事變——陸軍部隊の活躍

した三枝、龍野、鹿野、加茂、竹下、飯田、長谷川などの各部隊は八月九日、宜昌、襄陽、...

支那事變——陸軍部隊の活躍

軍閥に徹底的腐敗の地上作戦に協同して最後の止めを刺すべく活躍してゐるが、九日大本營海軍部の公表によると、...

支那事變——陸軍部隊の活躍

不	計	一三
不	計	八二
不	計	二六
不	計	一三
不	計	三九
不	計	二一
不	計	六
不	計	一三
不	計	一三
不	計	二九
不	計	二九
不	計	八
不	計	三七
不	計	五〇
不	計	一三
不	計	一四
不	計	二七
不	計	八
不	計	三五
不	計	四五
不	計	六

指揮官畑大將、艦隊最高指揮官及川中將など陸海軍將星は一堂に會し祝杯を擧げ、聖壽の萬歳を壽ぎ奉ると共に、不退轉の軒昂たる意氣を示した。

蔣政權地方政權に轉落 武漢の周邊に百數十萬の大軍團を配置して長期抗戦を誓語してゐた蔣介石は、少くとも一年以上は防守し得るものと思惟してゐたが、皇軍破竹の猛進に總ては水泡に歸し、皇軍の先鋒部隊が武漢に近づくと共に十月二十四日夜飛行機で重慶に逃亡し、それまで武漢にあつた財政部、外交部、大本營などの各機關も遑なく軍艦や汽船にて重慶に逃亡移轉したので、こゝに從來全支配の形態を整へてゐた蔣政權は完全に一地方政權に轉落し、支那事變に一大轉機を劃するに至つた。

即ち皇軍の武漢攻略によつて、蔣政權は武漢三鎮の陥落によつて支那における近代都市の殆んど全部を失ひ、今後皇軍に入込み「長期抗戦」を掲げやうとする軍事的にも政治的にも堪へべき地盤がないので、その抗戦力は日々弱められて行くことが明らかとなつた。

一、蔣政權が事變發生以來「放棄」によつて外國の同情を得、第三國の物心兩面の支援に依存する所大なるものがあつたが、廣東の陥落によつて武漢三鎮を攻められたことは、對外情勢を失せざることを望み、今後外國の支援も従来より減退することが懸念されるに至つた。

佛の援蔣に警告

フランスが佛領印度支那經由武器輸送を依然として繼續し、對蔣援助の態度にある現状に關し近衛兼任外相は、十月二十八日アルゼンチン駐日フランス大使の來訪を求めてフランス政府の嚴重なる注意を喚起するとともにフランス側において對蔣武器輸送禁止について有効適切な措置を執るべきを要望し、もしフランス側にて右の適切な措置に出でざる場合帝國としては自衛上必要な手段を執るべきことある旨を通告した。なほ近衛兼任外相は杉村駐佛大使に訓電してフランス政府に對し同様主

旨の申入れをなしたが、右に關し外務省では二十八日午後情報部長談の形式で左のごとく發表した。

情報部長

昨年十月フランス政府は自發的に印度支那を經由して支那へ送られる武器の輸送禁止を決定したのでその野心的態度は日本政府においてもこれを諒とし、その實行につきフランス政府の誠意に信賴したのである。しかるにその實行よりつきとくく遺憾の點があるやうに見受けられたのでその後しばらくフランス當局の注意を喚起し本年に入つても二度にわたる嚴重傳聞の反省を求むるところがあつたのである。右に對しフランス政府はその態度の轉換を促すべく右フランス政府の同意と一致せざる情勢が依然現地において繼續せられつつあるやう認められる。殊に廣東攻略後香港との聯絡が斷絶した結果、印度支那は中國武器の最も重要な輸送路として現存することとなり、支那側としてはすでにこの點に關し活躍を開始したとの情報もあり、わが方としては今後の進行につき重大關心を有する次第である。帝國政府としてはフランス政府がこの態度の轉換を遂げない限りは、わが方が如き的確なる手段を先づ先づ確約せざる限りは、右の實效の顯ることを要請し、もしフランス政府にして右の適切な措置に出でられざる場合には帝國政府としてはやむを得ず自衛上必要と思惟する手段を採るが如き事態に立至るべき旨をフランス政府に申入れたるやう杉村大使に電報すると共に二十八日近衛兼任外相より在法フランス大使に對し右の主旨を申入れた。

支那事變——陸軍部隊の活躍

最近の廣東攻略後においてすら印度支那經由對蔣武器援助の活躍に行はれてゐる事實あり、その一、二例を挙げれば香港に貯藏中のガソリンを佛領由雲南へ、佛領に貯藏中のものは雲南を経て廣西省へ輸送したる事實あり、更に二十四日には佛國製最新鋭高射砲二門及び軍用毛布二十四萬枚が河内に到着し、これを支那側に引渡してをり、この外高射砲四門の取引契約を終へ河内における支那運輸機關は右武器の送付を受けてゐる等、極く最近の事例について佛政府が昨年十月の對支武器輸送禁止協定と合致せざる歴然たる證據があるので斯く強硬な對佛申入れを行ふに至つたものである。

武漢周邊の確保

皇軍の武漢攻略によつて武漢を迫はれた黨軍は大別山系及び湖北平野に集結されたものは、京漢線を超えて同鐵道の東側地區及び漢水東方に敗退し武漢周邊の敵は粵漢線及び汽船舟艇によつて揚子江上流に退却したので、わが軍は武漢周邊の治安を確保するため武漢攻略後直ちに周邊の討伐戰を開始した。

湖北省方面 信陽より南下した矢木、高井、堀尾の各部隊は平靖關、武勝關に據る敵

を擊破して湖北省に入り、應山、安陸等を相次いで占領し、大別山を南下した山田、近藤、南部、古閑の各部隊は麻城、宋埠占領後進路を西に轉じ、二十七日河口鎮を占領更に西進二十八日京漢線花園に達し、前田軍先頭は花園に突入占領した。更に沙窩方面から南下した倉林部隊は二十八日岐亭を、矢木、高井、太田、堀尾、近藤の各部隊は安陸より南進して三十日京川公路上の要地應城の敵を驅逐して同地を占領した。

大別山系に據つてゐた廣西軍廖磊の指揮する約三箇師の部隊は、わが軍の突風迅雷の武漢攻略によつて退路を斷たれ湖北東部の羅山、英山等に集結し、武漢襄陽を策しつゝあつたが、わが小野、里見、前田、倉林の各部隊は三路に分れて羅山に向つて進撃、十一月十六日西南北の三方面より同城を包圍し頑強に抵抗する敵を猛攻、十七日午前十時半羅山縣城を占領した。更に兩角、堀尾、前田の各部隊は羅山より英山に潰走する敵を追撃、十八日大別山西麓の要害鳳凰關に據る敵を殲滅し、なほ猛進して同日午後三時英山を距る三里の要害石橋鋪を攻撃十九日朝英山に殺到西南北三方面より包圍攻撃し、同日午前十一時二十五分これを占領入城した。

支那事變——陸軍部隊の活躍

湖南省方面 武昌占領後の永井部隊は息つく間もなく敵を追ふて南下し十月二十九日揚子江沿岸金口鎮砲臺に據る敵に猛火を浴びせてこれを占領した。また金牛鎮より粵漢線に進出した田島、人見、寺垣の各部隊はひたすら同鐵道に沿ふて南進、二十九日成寧の砲臺を猛撃してこれを陥れ、また一部隊は南進して江洲橋を占領した。更に永井部隊は三十日山波を人見、寺垣部隊は吉益、津田部隊と連繫して官唐驛、張家道相次いで奪取し、三日午後七時蕪湖縣城を占領した。また田島部隊は快足を利して揚子江沿岸の嘉魚縣城に殺到猛火を浴びせて十一月三日同城を占領した。一方陽新方面より南下した宮崎部隊は三日西抗塘を奪取し、蕪湖、長谷川、岡崎の各部と協力明治面を期して蕪湖、蕪陽に據る敵を猛撃して、四日午前九時蕪湖縣城を、また成寧街道南蕪中の岡崎部隊は四日正午補林橋を占領、蕪水河畔西進中の宮崎、宮脇部隊と感激の握手を交した。

右の如き皇軍の猛攻に對し蔣介石は中央軍約四十萬を左記の如く配置し指揮官を任命して防戦に努めた。
一、粵漢線北段 蕪湖を第九戰區司令長官に任命武昌、長沙間の蕪湖、岳州、平江一帶を防守せしむ。
二、粵漢線中段 第三戰區司令長官に張治中を任命し

を浴びせつゝ陸軍岩崎部隊の揚陸に成功、兩者相協力して臨湘縣(南岸)楊林鎮(北岸)の敵陣地に殺到し、砲臺を撃破して九日午後三時臨湘縣城を占領した。かくて粵漢線を南下した陸軍各部隊と相連繫して、湖南省北部の一大據點岳州の總攻撃を開始十三日これを占領したが、海軍艦隊は開始十三日の閉塞線を突破、十三日午後三時黒相少尉指揮の快速掃海艇隊は、城陵磯の機雷源を強行啓開しつゝ岳陽樓前水上に到達、續いて機雷艇も十四日堂々岳州に突入し、岳州上海間七百八十哩の揚子江水路の制壓に完全に成功した。

戰區全支に擴大

帝國政府は武漢攻略後去る二日付をもつて長沙を中心とする戰區の擴大について第

支那事變——陸軍部隊の活躍

三國に對し覺書を手交したが、さらに廣東漢口を攻略せる今後の作戦進捗に伴ふ第三國との不祥事件發生を防止するため今回更に戰區擴大に關し有田外相は十一月七日付をもつて文書で在京列國大使に對し通告を發した。通告の内容は左の如くであるが帝國政府がさきに西安、宜昌、蕪陽、北海を結ぶ地域をもつて戰區たる旨通告せるよりさらに擴大して中部支那の陝西、湖南、湖北、廣西の四省を戰區とせるもので第三國においても右地區において自國民の生命財產保護に關し適當の措置を講ずべきことを要望したものである。

通告の内容

近き將來において戰區地域は陝西、湖北湖南および廣西の全省(廣東省は當然これを包含す)を含むにいたるべし。また右地域以外において鄭州、巴塘、大理を連らねる線にいたる支那領域内の軍事目標は日本飛行機により攻撃を受けることあるべきにつき關係國間においてはこれら地域内自國民の生命、財產保全のため至急左記事項に關し適切なる措置をとられんことを要望する。

皇軍の武漢攻略後英米佛各國は揚子江航路開放に關し、わが外務省及び上海出先當局に對して頻りに要求し來り、その不開放は既得權侵害であるとして幾たびか抗議して來たが、右の如く關係各國間に種々論議あるに鑑み及川支那方面艦隊司令長官は十一月二十九日在上海各國艦隊の先任指揮官に對し、同問題に對するわが現地陸海軍當局の見解を通告すると共に、併せて蕪湖上流にある各軍艦にして希望せらるるならば一回を限り下流にある軍艦との交代を認める旨申入れた。

長江航路を再開せず

今次事變解決まで
皇軍の武漢攻略後英米佛各國は揚子江航路開放に關し、わが外務省及び上海出先當局に對して頻りに要求し來り、その不開放は既得權侵害であるとして幾たびか抗議して來たが、右の如く關係各國間に種々論議あるに鑑み及川支那方面艦隊司令長官は十一月二十九日在上海各國艦隊の先任指揮官に對し、同問題に對するわが現地陸海軍當局の見解を通告すると共に、併せて蕪湖上流にある各軍艦にして希望せらるるならば一回を限り下流にある軍艦との交代を認める旨申入れた。

支那事變——陸軍部隊の活躍

各軍部隊は豫湖まではわが方に對しその移動を通告することによつて航行してゐたが、豫湖上流にある米、英、佛軍艦七、八隻は支那軍の揚子江閉鎖以來十數箇月におつたつて下流との交代を行ひ得なかつたので特に今回希望あらば一回限り下流との交代を認めることとなつたのである。なほ現地陸軍軍當局では同日通告せられたる航行問題に關する見解と同様主旨の當局談を發表した。

陸海軍當局談

武漢攻陥に伴ひ揚子江航行再開に關し關係列國間に種々論議行はれるに、かゝるこの際右に對し作戦軍の所見を陳述するは從順ならずとせず、抑々現在揚子江は事變前との其の状況を全く異にし、すなはち事變前より支那軍は揚子江に對する艦隊を洗滌、もしくは掃蕩せしめんとし、江陵、蕪湖、九江、石炭油および鹽田などに閉鎖線を設定しこれを防衛するため堅固な防禦設備をもつて、日本軍はいはゆる揚子江作戦を實施し、頑強な支那軍の抵抗を排し、多大の犠牲を拂ひ以て揚子江の軍用水路を開闢せしめたり、もし日本軍にして支那軍の實施せる閉鎖を再開することなくして作戦を遂行せしめたりとせんか少くも今次事變中はいづれの國といへども揚子江航行を企圖するを得ざりしなるべし、しかし日本軍が揚子江を開闢せしめたるは専ら事變に關係せる作戦の遂行上の必要に因り、支那軍が作戦上の必要より揚子江を開闢せる時これを阻止するも有効切なる措置を執らざりし列國は同時に日

本軍が軍事上の必要より前述の多大の犠牲を賭してこれを開闢に堪きたる事實もまた明瞭に説明するところとせず、事變はなほ終止せず作戦は繼續せられあつて武漢三鎮の掌握に歸した今日においても揚子江は依然戰場の一部たることにまた作戦上の重要なる後方補給動脈を形成し日本軍は支那軍の妨害に對しこれが確保に多大の努力を傾注しある現在、揚子江を航行する日本艦隊は多數に上りあるが右は作戦軍ならびにこれに附隨する機關の生存を確保するたも必要なる軍需品を運送する軍用船に附随するつて一般貿易に従事するものに非ず、作戦軍は固より中支方面において作戦遂行の必要度を減少し關係列國とともに自由に交易し得るの事態の速かに到来するを希求するものなるも現事態はその希望と甚しく違ふかりて支那軍が現在の態度を維持する限り現状を維持するの外なしとするものなり。

なほ右談に關し軍當局では同時にその補足的説明として左の如き談話を發表した。

一、吾人は揚子江航行問題のみならず事變中における陸海軍の行動態勢などが第三國人の權益自由を少くも干渉し得る事實は非直にこれを認め責心氣の海に思ふ。しかしこれは日支間にこれを認め責心氣の戰爭行為は行はれてゐる限り實にやむを得ざる事態であつて然るものやむを得ざる事態の中にもなほかつ第三國の權益確保のため最大限の努力を拂つてゐる陸海軍當局の苦心については公正なる理解を要求するものである。即ちすべては事變に伴ふ損害であるから、これは事變の解決に關しやむを得ず得ざる限り、なほは事變の解決を促進し、是については第三國の權益確保が不當に干渉するゆゑであることとを信

東の一角に亘り全面積百五十一萬五千七百平方キロで占據地以外の支那本土の四十七%、人口は一億七千萬人で占據地以外の支那本土の人口の六十八%に達してゐる。

無敵海軍の輝く戦果

大本營海軍部十二月三十日發表
取戦第二年の海軍作戦の戦果の概要は左の如くである。

Table with columns for ship names (e.g., 龍石, 永嶺, 中山), locations (e.g., 被雷地, 揚子江), and dates. It lists various naval operations and ship movements.

ここに全力を傾注してゐる。しかしはいゆる長期抗戦を呼ぶる支那側の抗戦精神を徹底的に打破するためには作戦軍の戦術指撻方法に自ら特殊な準備なもの存することは多量に要す。なほこの度の支那側の抗戦手段の特徴としてわが後方占據地が必ずしも安全地帯でなくこれを防止するに日本軍當局では前も後もすべてこれを防止するといふ氣遣いで施設してゐることならびに必要に應じ戰場被災民に各種軍需品の分與をも計つてゐることなどは本軍に對するわが軍事行動の精々特異な點であることとをこの際説明して置く。

東久選中將宮殿下の御歸還

大本營陸軍部十二月十七日發表
武漢攻陥に三軍を指揮し、赫々の御武勳を立てられし東久選宮殿下には本月十七日午後一時四十八分飛行機にて福岡飛行場御歸還遊ばされたり。

畏くも金枝玉葉の御身をもつて中支戦線に御自ら三軍を御指揮遊ばされ、赫々の御武勳を立てさせ給ふた東久選宮殿下には本月十七日午前九時三十分南京發ダグラス機にて同十四時四十分上海御着、同十四時四十分上海御發、午後一時四十八分福岡飛行場御歸還遊ばされたり。

敵損害實に二百萬
遺屍のみにて八十萬
大本營陸軍部十二月二十六日發表 事變

Table with columns for ship names (e.g., 小龍艦, 正壽, 海軍), locations (e.g., 被雷地, 揚子江), and dates. It lists naval operations and ship movements.

支那事變——陸軍部隊の活躍

發生以來本年十一月に至る十七箇月間における國境品の調査結果を發表したが、右によれば敵の遺棄死骸のみで上海戦の八萬一千、南京戦の八萬三千、徐州戦の十二萬三千、北支方面掃蕩戦の九萬九千、武漢戦の十九萬五千等をはじめとして總計實に八十二萬三千三百名に達し、敵に與へた損害總計は約二億二千萬を超過するものと推算されてゐる。この間敵き國境の神と化した我忠勇なる將士の数は四萬七千三百三十三名である。主なる國境品中現在判明したる分は左の如くであるが實際はこれより遙かに多數に上る筈である。

小龍艦 正壽 海軍 被雷地 揚子江

支那事變——陸軍部隊の活躍

の支那軍は日を經るに従つて各地に集合しこれに重慶方面より派遣した遊撃隊指揮官が加はり、四月攻勢のかけ際の下に遊撃隊を以つて武漢の奪還を企圖するに至つた。これら遊撃隊の最も多數に蟠居する地域は湖北省内においては大別山内線の英山、羅田方面に五萬、武勝關南方の隨縣を中心として安陸、應山、京山一帶に六七萬、一方湖南省北部においては九宮山を根據地に通山崇陽方面に約十萬が蠢動を開始したのでわが軍は舊正月を期して一齊に行動を開始し某快足部隊は二月二十日朝邑を出発泥濘の悪路を衝いて前進同日夜二時漢水河岸の天門、房口嶺を占領、更に快足部隊は京山西南の南山廟、青龍山一帶の山房地帯に構築した陣地に據る敵を攻撃軍人嶺を占領した一方北方の某新銳部隊は二十四日ほ降る雨の中の膠路を前進同日午後隨縣北方三十軒の余家店に據る劉汝明麾下の約一千の敵を撃破してこれを占領した。また東北地區にあつては吉岡、渡邊、江口、高橋の各部隊は麻城附近の殘敵を攻撃、北方地區においては松枝部隊が信陽附近の遊撃隊を、閻宮部隊は應山北方の第二十五、九十五師を攻撃多大の損害を與へた。余家店を占領した部隊は降雨中を強行軍して二十六日漢水東岸の天龍雁門口を占領して、漢水東岸の沙

洋嶺に猛火を浴びせた。漢水東岸を前進した加藤、佐久間部隊は豪雨のため増水した界河を敵前渡河して三月二日舊口嶺を占領また北方地區の寺岡、川並の各部隊は頑敵を驅逐して隨縣東北方の新店を占領、かくて近藤、南部部隊は三日鐘祥東方七里に迫り、某快足部隊は四日突如鐘祥東方四キロの敵陣地を突破して鐘祥城に殺到し空からは陸軍機が猛爆を加へ、空陸からの攻撃に敵は支え得ず佐久間、加藤各部隊は五日午後零時鐘祥に突入これを占領し、近藤部隊は敗敵を急追撃して敵に多大の損害を與へた。鐘祥を迫られた敵は漢水を渡つて西部地區に逃れんとしたが、漢水東岸を猛進した兒玉部隊は六日強行軍して漢水東岸の要地豐樂河に達し、逃げ惑ふ敵に猛火を浴びせ激波的打撃を與へた。今次漢水作戦の戦果左の如し。

敗退後修水河南岸に鄱陽湖より修水に至る數十軒の長距離に陣地を構築し第九戰區羅卓英麾下の十數團師の大兵を配置して頑強に抵抗をなすべく準備を整へてゐた。これに對し泉軍は二十日午前七時降りしきる豪雨の中に一齊に攻撃の火蓋を切り、蔣村、池邊、中川、高瀬、富田、原田各部隊の猛烈なる砲火と、悪天候を冒して飛來した陸の荒鷲部隊の低空爆撃の反覆される裡に、若松、藤崎、成友、追田、池田の各部隊は井上戰車隊とともに修水河北岸の武寧街道を西進、岩崎、高木、宮脇、江島、白濱の各部隊は敵の右側背より奇襲し敵の退路を遮断、午前十時には江南黨軍の第一線據點たる武寧縣城の南麓陣地たる萬洋山嶺の連峰羅盤山、張林公、樟材山、望雲山を連ねる敵陣地を奪取、黎明の山頂に日章旗を翻した。かくて豪雨中に永修より上流數里に亘る間において修水河敵前渡河を決行、午後九時過ぎ計畫通りこれに成功、對岸の鐵網を張り誇り誇りした敵陣地を一舉に突破した。

また一部隊は二十二日午前五時三十分永修南方約八里の萬家埠に突入、泉軍の急襲に敵は狼狽して雪崩を打つて潰退したが、泉軍は晝夜兼行急進し二十二日安義を奪取し、更に星明りを利用して馮水の要衝たる奉新に突入、感激の日章旗を打ち立てた。かくて閻田、飯野の部隊は二十四日馮水を渡つて退却せんとする敵に猛火を浴びせこれを殲滅すると共に、馮水を敵前渡河して敗敵を急追撃した。

行し、また蕨野、奥田兩部隊は贛江北岸の南昌停車場に突入、小原、森、津田、福井市川、森川の各部隊も南昌南方の贛江上流を渡河して南昌に迫り、一方南潯線を南進した布希、大島の各部隊も二十七日贛江河畔に達し、各部隊は逐次敵線を壓縮し廿七日午後五時ごろわが決死の突撃部隊は南昌南門に突入、殘敵を掃蕩しつゝ、重要建物に感激の日章旗を掲げ、夕陽迫る午後六時四十分完全に占領した。いま奉新以後の南昌攻略の各部隊進の跡を見るに、百數十裏の戰車を先頭に立てた一部隊は馮水を渡つて南昌東南の生米街に出で、また一部隊は南進して高安に突入すると見るや忽ち反轉して東進し、これまた生米街の南方約四キロの贛江岸に進出、兩々敵をならべて敵前渡河に成功、ついで敵の退路を扼して浙贛線を遮断して北上、同時に敵の猛牛戰車部隊は高安、南昌街道を敵の猛射を排して奮進、半ば破壊されてゐた贛江の橋梁を一大冒險を敢行して河を押し渡り城内に突入、

路であつた浙贛鐵道を中斷したと共に、浙江省方面にある抗日軍と湖南省方面各軍の連絡を切斷しその活動に多大の打撃を與へた。

一方武寧に向つた岩崎、高木、宮脇、江島、白濱の各部隊は二十二日午後六時陳庄西方高地を攻撃したが、敵はこの方面が破れては湖南省の安危に關するため多數の増援隊を以つて雲霧大襲撃によつて執拗に抵抗したが、わが軍は猛火を浴びせ二十三日午前三時これを占領した。更に新銳某部隊は陸の荒鷲の協力を得て二十四日陳庄西北高地に猛砲撃を加へ陳松山、海嵐山、萬壽山の三嶺を占領、二十六日より二十七日にかけて敵に動搖の兆現はれたので隙さず進撃武寧へ七キロの大併山及び老虎頭を占領、また江島部隊を陳庄西北四キロの下庄を奪つた。敵はこの方面に十一團師の大軍を配置して頑強に抵抗したが、わが高木、岩崎、井上、白濱、藤村、富田、原田、井上(直)の各部隊はじり押しに迫り二十八日午後七時武寧へあと三キロの地點に迫り、二十九日武寧城によつて抵抗する四川軍王慶基の數團師に向兵隊をもつて猛攻、岩崎、江島井上、高木の各部隊は城内に突入殘敵を掃蕩して二十九日午前七時完全に占領した。一部隊は直ちに追撃に移り修水縣城に敗走

また南潯線に沿ふて南進中の某部隊は二十五日午前十一時ごろ永修南方二十二軒の慈姑において南潯線を遮断した。修水を渡河後西南進した若松、藤崎、成友、追田、池田らの諸部隊は二十五日午後修水河北岸津口を隔たる四十八キロの堅壘廟前街を抜き、破竹の勢ひをもつて南進、二十六日未明つひに修水南岸地區の要地靖安縣を占領その先鋒は息つく間もなく南下つひに奉新に達し先霜の某部隊と握手した。奉新に入つた部隊は更に二路に分れ一路は南昌に一路は高安に向つて前進、南昌に向つた部隊は二十六日朝南昌の西を流れる贛江北岸に到達したが、敵は南昌に通ずる中正橋を爆破してわが軍の進撃を阻んだので、わが仁禮、酒井、町田諸部隊は二十六日午後五時南昌南方二十キロの贛江の上流で渡河を敢

これによつて從來敵の物資輸送

支那事變——陸軍部隊の活躍

する敵を猛追した。

南昌攻略後の各部隊は南昌東南西三方面に戦果を擴大し、贛江河畔の張家、王家洲、蓮塘市等を占領、南昌より敗退の敵に多大の損害を與へた。また奉新より錦江の線に進出し、左翼に對面しつゝ東進中の右翼部隊は、高安に向ふ途中約二萬の敗敵の逆襲を受けたがこれを錦江河岸で撃破、さらに北方より増援の二師をも撃退、三十日錦江河岸の要地高安縣城を占領、武寧攻略戦の戦果は左の如くである。

古鎮市、南昌、武寧、靖安、安義、奉新、高安の五縣城一市

敵遺棄武器一七、一三五、擧重七、九七九、擧重品野山砲十八門、その他加農砲擧重砲十三門、迫撃砲十四門、重機銃四一八六、小銃四、三三三、擧重二、七五九、小銃四、一八六、一六〇、手榴彈二、七八九、九軍一、〇四〇、半二、〇〇〇の他

姑蘇市街占領 昨年七月皇軍が九江を占領後支那軍は姑蘇の市街に進入したが、同他は殆んど外國人の居住するもの多く、外國利益を尊重する皇軍は同地の攻略を後日に留保したが、その後上方方面における各國領事館との居留民難難交渉に多大の時日を要したるも、三月に入つて領事館との交渉纏り、在住外人は白旗を掲げて下山することになつたので、わが軍は四月十七日拂

曉を期し一齊に全山を包圍して猛烈な攻撃を開始した。同山には徐文を指揮官とする支那兵約三千が山内の堅固な陣地に立籠り反抗を續けてゐたが、わが軍は砲々たる山道をよち登り或は急坂を攀り、先づ十七日午前七時十五分大馬頭を奪取し、先づ十七日午後七時十五分大馬頭を奪取し、次いで降りしきる風雨を物ともせず小天地を占領、同夜は姑蘇嶺の頭敵と視み合ひの儘一夜を明かし、十八日午前七時半姑蘇市内に突入、殘敵を掃蕩して同九時半完全占領した。

臺北肅清戦 昨年五月徐州大會戦後支那軍の一部は江蘇省北部に進入したが、その内陸激流を軍長とする第五十七軍、于忠忠を軍長とする第五十二軍、歸勳を軍長とする第八十九軍の合計約六萬は、山東省南部及び江蘇省北部を魯蘇邊境とし、海州、淮陰、寶應などに蟠居して治安を擾亂しつゝあつたが、わが北支派遺軍はこれが徹底的肅清を期し海軍の協力を得て二月二十五日一齊に行動を開始した。これら魯北肅清部隊は二隊に分れ一部隊は二十六日山東省南部の安東衛より敵前上陸し、一部隊は長鬮海州南方に迂回し濰河を遡つて三月一日响水口嶺に上陸、南北より海州攻撃の陣を進め、また山東省沂州方面にあつた部隊も沂州、海州街道を中心に三枝隊に分れて麓

らに東南に前進し、二十六日山東、江蘇省境を突破するや破竹の勢ひで江蘇省内地に進撃した。即ち濰河の奇襲上陸に成功した部隊は所在の敵を掃蕩しつゝ、濰縣進撃し三月二日早朝一舉に敵陣の本據たる濰縣に殺到し、殘敵を驅逐して一舉にこれを攻略した。濰縣を占領した張老名、久野部隊の一部はさらに南方に進撃、二日午後六時淮安を占領、また邊野、和田兩部隊の一部は漣水に突入占領した。濰縣にあつた韓勳はわが軍の進撃に驚き寶應に逃亡したので、わが久野、立古兩部隊は敗敵を追ふて南進三日夜來寶應城を猛攻、平野、山本、中島、澤田の各部隊は濰河に沿つて海州に向つて進撃三月四日早朝濰海嶺の基點海州を完全占領した。また寶應の韓勳軍の遺蹟に當つてゐた立古部隊は約二萬圓の敵を撃破五日午前十一時同城を占領入城した一方山東方面より進撃した濰河部隊は宿遷に據る敵を屠りさらに北進して二月二十七日夜濰縣を占領さらに附近一帯に散在する敵の掃蕩に當つた。さらに海軍部隊は陸軍挺進隊と協力して射陽河を制壓すると共になほこれを遊撃して陸上部隊と連繫して阜寧城の敵を猛攻四日午後四時半同城に突入占領した。爾後各部隊は引續き殘敵の掃蕩に當り敵を支離滅裂に潰滅した。五日まで

の蘇北作戦の概略は次の如くである。

敵軍死傷六、一七、捕虜小銃一、六三六、迫撃砲三、手榴弾三、チエツコ機銃三〇、七センチ砲六、馬一〇五、自動車一八

第二次江北作戦 對外的な信用を墜かんとする蒋介石は武漢東北方の漢水西岸一帶を第五戰區に指定し、李宗仁を總司令に湯恩伯を副司令として中央軍數個師を増援李品仙、張自忠軍など約二十餘萬が四月攻勢を輝發して虚勢を張つて来たが、五月一日以來湖北省武漢南方の應山西方において李宗仁麾下の數個師が反攻の姿勢を示したので、わが高野、川俣、加藤部隊は松川、金井、中山、丸山各部隊協力の下に敵を四日間互つて猛攻、應山、浙河市を結ぶ線を底邊とする東北四十軒、東西五十軒に亘る四邊形地區内に掃蕩する約七千の敵を完膚なきまで撃碎潰散せしめた。一方京山、鍾祥方面のわが部隊また一齊に行動を開始し大洪山脈の敵を撃破しつゝ京山、鍾祥公路の北六十キロ附近に逼進し、東に向つて敵を包圍追迫、さらに浙河市北方地區のわが軍も敵主力陣地を粉砕して八日朝來追撃に移り、漸々包圍網の完成を急いだ。即ち吉田、倉林、柴田、山村、榎尾の諸部隊は四月鍾祥北方より大洪山系に向つて行動を起し、同山系に據る百二十二師を猛襲潰走

支那事變——陸軍部隊の活躍

せしめた。また應山西北方わが部隊は八日午後敵の第一編隊山、襄陽公路を遮断、また右翼の古川、片岡、村岡の各部隊は八日朝鍾祥北方六十キロの地區に進出、大洪山系を進撃中の吉田、柴田、榎尾の各部隊は倉林、後藤各部隊と協力して七日王家店を占領、更に各部隊は初夏の炎熱と闘ひつゝ敵を急追、大洪山脈の分水嶺を越へ九月敵兵站線たる應山、襄陽公路を遮断して敵の退路を断ち、更に八日信陽西方より行動を起した鈴木、青木部隊は〇〇山に據る六十八師を撃破し九日桐柏附近において湖北省境を突破して敵第一戰區(河南)に突入襄陽公路を制した。かくてわが包圍陣は湖北、河南省に互つて三百キロを超ゆるに至り、襄陽公路制断によつて第一戰區よりの増援隊派遣は不可能となり、敵は全くわが重圍の中に陥るに至つた。續いて十日早朝を期し各方面とも一齊に猛攻の火蓋を切り、應山西方よりは南部、近藤、古閑、山田、角田、三浦、河原、林の各部隊が、また浙河市北方よりは澤山、川俣、加藤、藤谷、杉枝、金田、雙甲の各部隊が敵の據る雷陽に向つてまた大洪山を突破した吉田、後藤、藤谷、柴田、倉林、榎田、江口の各部隊は襄陽、應山公路を西進、鈴木、青山の兩部隊は襄陽公路を南進、倉林

榎田、長龍、藤谷、江口の各部隊は九日夜敵本據雷陽を占領、漢水支流沙河に進出し、十一日拂曉突如北方に一大旋回を敢行沙河上流の山岳地帯の敵の捕獲戦を開始し、湖河鎮、寺莊の線において敵九個師を捕獲屍山血河の熾戦を展開した。かくて敵將李宗仁、湯恩伯、李品仙、張自忠等はわが重圍に陥り、苦戦の場句巖夫に襲撃幸ふじて逃走捕獲を免れたが、わが巧妙な包圍攻に支離滅裂に粉砕され、襄陽方面より漢水西岸及び河南省方面に退却した。これに對しわが各部隊は更に追撃戦を續行、南部、古閑、近藤、山田各部隊は長興河南省の南陽に突入せんとし、佐久間、加藤兩快足部隊は神速遠く大迂回を試み十二日南陽東南方四十キロの某地に進出、敗走中の敵に猛火を浴びせ、最右翼の鈴木、青山各部隊は河南省の軍事據點西新集を占領した。いま敵捕虜などの首を綜合した戦果を示せば左の如くである。

一、湯恩伯軍はわが北都包圍部隊により撃滅され、第十三軍司令官はわが大洪山包圍部隊により、また第八十九師は北都包圍部隊のため何れも撃滅され、同軍を直撃せる部隊と北都包圍部隊との接撃を受け甚大な打撃を受けた。百九十三師の如きは應山方面よりの直撃部隊、大洪山脈より包圍を喫して潰走せる南都包圍部隊及び北都包圍部隊の三方から即ち九、南都および北都包圍部隊に捕獲された五十五軍

支那事變——陸軍部隊の活躍

沙公路上の要地平江に突入城内の敵を一掃した。右の如きわが軍の猛進に敵は長沙に放火して...

方面作戦の概略は左の如くである。一、支那軍の進軍は...

五月中の全支綜合戦果 大本營陸軍部発表 北支方面...

五月中の全支綜合戦果 大本營陸軍部発表 北支方面 支那軍の進軍は...

中支軍七月中戦果 中支軍報頭部八月十五日發表 敵の呼號...

江南作戦の綜合戦果 大本營陸軍部十月二十二日發表 一、岳州—南昌間...

九月中の全支綜合戦果 大本營陸軍部十月二十八日發表 一、岳州—南昌間...

Table with columns for 北支方面, 中支方面, 南支方面, listing military units and their status.

支那事變——陸軍部隊の活躍 敗殘部隊を徹底的に掃蕩...

敗殘部隊を徹底的に掃蕩 事變第二年の北支方面の戦況は...

敗殘部隊を徹底的に掃蕩 事變第二年の北支方面の戦況は...

るため、河北、山西、山東を迫られた宋哲元、萬福麟、閻錫山の山西軍、山東軍などは...

北支一帯殲敵掃蕩戰果

(昭和十三年七月より)
敵遺棄死體 五、〇七九
捕虜 三、〇九〇

十二月中の北支討伐戰果

大本營陸軍部十一月十三日發表 昨年十二月中の北支方面討伐戰果左の如し。

一月中の北支肅清戰果

大本營陸軍部二月九日發表 北支方面におけるわが軍の一月中における討伐狀況のうち主要なる作戰の戰果を擧ぐれば左の如し。

一、大津および古冶附近にありし閻錫山軍(第七十二師、第六十九師、第六十六師、その他および新編第八師)に對するわが軍の討伐は、十二月二十五日より開始せられ一月下旬多大の戰果を収めて終了せり。

二月中の北支綜合戰果

大本營陸軍部三月十五日發表 北支方面における討伐は二月八日より同二十日に至る間冀州、南宮を中心として東西三十里、南北四十里にわたる地區に掃蕩せる鹿鍾麟石友三らの率いる約六萬に對し、四圍より二十の縱隊を進め、包圍掃蕩し致命的打撃を與へたるを始めとし、隨時隨所に掃蕩戰

を行ひたり。この綜合戰果の概要左の如し。

主なる討伐戰果九十餘回、敵延兵力七萬一千、敵遺棄死體一萬四千、捕虜約五千三百、國產品多數、わが軍損害 戰死百五十九。

三月中の北支討伐戰果

大本營陸軍部四月十一日發表 北支方面三月中の討伐狀況左の如し。

一、海州方面の敵軍は四月海州攻陥後引續き敵寇を掃蕩し、備前軍は多大の損害を受け南方に敗走し、...

四月中北支掃蕩戰果

大本營陸軍部五月十日發表 四月中における北支方面の討伐狀況ならびに綜合戰果は左の如し。

主なる討伐戰果約三百回、抗戦せる敵の延兵力約十七萬三千、敵遺棄死體一萬七千五百、捕虜約二千三百、...

五月中山西掃蕩戰果

五月中の山西掃蕩戰の戰果は左の如くで支那事變——陸軍部隊の活躍

偉大な六月の全支戰果

大本營陸軍部七月十五日發表 北、中、南支に於ける六月中の戰果は十五日正午大本營陸軍部から左の通り發表されたが、敵の交戦延兵力は四十八萬七千四百七十一人に達し、遺棄死體はその約一割に近い四萬一千四百四十七を算し俘虜また五千に達せんとし、その戰果のいかに著るしきかを示してゐる。これに對しわが戰死は九百七十五人にすぎない。

Table with columns for North, Central, South, and Total, listing various military units and their status.

七月中全支綜合戰果

大本營陸軍部八月十九日發表 大本營陸軍部では十九日北、中、南支方面七月綜合戰果を左のごとく發表した。

Table with columns for North, Central, South, and Total, listing various military units and their status.

支那事變——陸軍部隊の活躍

品名	北支	中支	南支
山	10	10	10
重	10	10	10
小	10	10	10
手	10	10	10
その他	10	10	10
合計	10	10	10

八月中全支綜合戦果

品名	北支	中支	南支
山	10	10	10
重	10	10	10
小	10	10	10
手	10	10	10
その他	10	10	10
合計	10	10	10

大本營陸軍部九月十六日發表 八月は七月と同じく全戦線ともに大奮戦なく北支では沁源山岳地帯、澤州附近、臨安北方の大掃蕩、中支では河南省各地及び信陽附近の残敵掃蕩、南支では襄陽、漢市、萬寧の占領による海陽島嶼の發展、廣東北方の掃蕩戦などが主なる戦局で全戦線とも治安確立、残敵掃蕩戦たる感が深かつたが、そのうち最も北支の治安確立工作が活潑な活動を極め、従つて交戦数も多く北支の治安は昨年夏のそれとは全く面目を一新するに至らんとしてゐる。

北支に於ける主要戦争

冀中掃蕩戦 北支前軍間の殘黨西北軍の匪窟におよび石友三らは事變後蔣介石より河北省主席或は前敵總司令などに任命さ

魯南作戦 今春の豫北作戦によつて江蘇省北部を迫られた蘇魯豫三省司令部于忠の指揮する第五十一軍、第五十軍長膠濟流の指揮する魯南第四師の敗残部隊および山東省主席韓復榘の指揮する遊撃隊、第八路軍山東隊など約十萬は、岩石重疊たる泰山山脈を天然の障となし、莒、沂、蒙、魯の各地に蟄居し掠奪暴戾の限りを盡して地方治安を振り亂してゐたが、わが北支派遣軍はこれが徹底的掃蕩を期し、五月下旬以來膠濟線方面の部隊は安邱、諸城、臨朐、博山方面より敵を南方に駆迫し、また津浦線方面では泰安、曲阜方面から敵を東方に追撃敵を略ぼ蒙陰、沂州方面に迫り密せた後六月三日を期し大包圍戰滅敵の火蓋を切つた。即ち膠濟線方面からは渡邊、平田、山縣の各部隊が南進し、津浦線方面よりは山本、渡邊の諸部隊が東進蒙陰に迫り、これに呼應して濰縣新安鎮方面から北川部隊が鄭城附近の敵を掃蕩しつゝ北進を續け、沂州蒙陰と協力して敵第五十一軍に決戦を挑み、海州方面より某部隊が破竹の勢を以て北進し文字通り敵を袋の鼠となし、炎熱百二十度の下に砂塵を巻き上げて縱横に馳騁し逐次包圍網を緊縮して山本、渡邊の諸部隊は八日午前十五分敵の中心據點蒙陰を占領、南下部隊また七日夕刻沂

支那事變——陸軍部隊の活躍

水北方十里の地點に達し、海州よりの北進部隊東、北川、柳の諸部隊も同時に高縣、沂水南方十里の地點に進出、陸の荒鷲の協力を得て高縣、沂水を始め附近各部落に據る敵に猛撃を加へ、山縣、渡邊、平田の各部隊は九日午後三時半沂水を陥れ、牟田部隊は同夜八時半高縣縣城に突入これを占領、さらに戰果を附近に擴大して石溝崖、大店鎮、小店鎮などの敵軍窟を相次いで覆滅し、渡邊部隊また沂水東方地區に迂回進出し、敵五十七軍司令部所在地英山(沂水南方五里)を急襲逃げ惑ふ敵に徹底的打撃を與へ、討伐開始後八日間にして一大掃蕩戦を終つた。六月十一日までの魯南作戦戦果は左の如くである。

據地として活動を繰返した。即ち朱總の指揮する第八路軍、中央軍衛立填墮下の八十九、九十三師、十四軍、萬福麟、山西軍などの敗殘兵約十五萬が屯留、澤州、臨安、襄垣などの各地に集積して猛威を逞ふしてゐたが、わが山西作戦軍は和順、遼縣方面よりの南進部隊、臨汾方面よりの東進部隊河南省方面よりの西進部隊の三路に分れ七月三日ころより漸次敵を臨安地區に迫り詰めて、屯留、長子、澤州、高平の各地において約二十日間互つて炎熱と烈路と闘ひつゝ、峻峻な山岳地帯の強行軍をなし、逐次敵の巢窟を覆滅、七月末敵の大部分を潰滅した。今次魯南作戦の戦果を示せば左の如くである。

全支統轄の

支那派遣軍總司令部新設 帝國政府は汪兆銘の和平救國運動の進展延いて新中央政府の樹立氣運の醗酵に鑑み

この新情勢に對應するため従來北、中、南三派海軍制度によつてそれ／＼當概地域の軍事を統轄せしめてきたものを今回全支統轄の支那派海軍總司令部を編成新設することになり、九月十二日左の如く發表された。

大本營陸軍部九月十二日發表
支那派海軍總司令部の編成を期せんがため今臨時に即應し支那派海軍總司令部を編成せられたり。
陸軍省發表今般左の如く發令せられたり。
支那派海軍總司令部
陸軍中將 板垣征四郎
陸軍中將 西尾 壽造
支那派海軍總司令部
陸軍中將 板垣征四郎
支那派海軍總司令部
陸軍中將 西尾 壽造
支那派海軍總司令部
陸軍中將 板垣征四郎
支那派海軍總司令部
陸軍中將 西尾 壽造

帝國海軍の活躍

帝國海軍は陸軍の廣東、武漢、海南島、

かくて陸軍部隊を設けたが海軍の艦艇は江蘇省北部の淮河に遊航し、三月一日午前十時二十分淮河上流の要地响水口鎮東方二哩の地點に敵前上陸を敢行、直ちに東方に向け猛進し、响水口鎮に突入同十一時これを完全に占領した。これに引續き海軍部隊及び淮河部隊主力は同日午後三時响水口鎮に入り、こゝに海陸協同による蘇北上陸作戦は豫期以上の成果を収め、陸軍部隊は間髪を入れず進撃を開始した。
また一部隊は陸軍の海州北方安東衛の敵前上陸に協力し、その無血上陸を成功せしめ進撃を容易にした。

支那事變——帝國海軍の活躍

この新情勢に對應するため従來北、中、南三派海軍制度によつてそれ／＼當概地域の軍事を統轄せしめてきたものを今回全支統轄の支那派海軍總司令部を編成新設することになり、九月十二日左の如く發表された。

汕頭、蘇北作戦などの敵前上陸作戦に協力して、陸軍の進撃に多大の助力を與へたが、みぎ上陸作戦の外全支沿海の海上封鎖及び左記の如く大小各海港を閉塞又は封鎖して蔣政権の物資吞吐を不可能ならしめ、その抗戦力に多大な打撃を與へた。
支那派海軍總司令部は佛領印度支那および廣東省南部各港からする第三國の援物資輸入路を封鎖するため、常に南支那海を遊弋中であるが、昨秋廣東を占領して以後廣東よりの援物資輸送路は佛領印度支那の海防に移向し、飛行機、トラクタ、各種兵器は同地より滇越鐵道に積載し雲南省昆明に輸送され、さらに同地より重慶その他に發送され、また海防より廣西省鎮南關或は龍州等に類々と輸送されるに至つたので、つひに廣東省北海南方約三十哩ある温州島を占領し二月二日左の如く公表があつた。
大本營海軍部二月二日發表
（一）わが海軍は一月三十一日福州島上空に飛行機一機を發見直にこれを砲撃し墜せり。
（二）わが海軍は南支那封鎖作戦の必要に本づき廣東省北海南方約三十哩にある温州島を昨年占領中なり。なほ南支那派海軍部隊は香港外交通路を同じ同島附近における第三國の飛行機事故を未然に防止するため英米佛諸國外交官等に左記要旨を申入をせり。温州島附近を通過する第三國飛行機は同島の十五哩間に接近することなく、かつ高度は五百メートル以下

しつゝ前進、二十八日未明吳城南方二十五哩の昌邑街を占領、更に猛進を續け四月三日南昌に達し、こゝに瓊江水路を完全に制壓した。
舟山列島を攻略 蔣政権の死命を制するため南北二千數百哩の沿海封鎖中のわが海軍の精銳は、わが海軍の封鎖の目を潜つて浙江省寧波方面より物資の輸出入を行ひつゝあるを發見し、六月二十三日海軍部隊は航空部隊の掩護の下に舟山島南部某地點に敵前上陸を敢行同日午後六時三十分同島最大の都市定海を完全に占領、引續き市内の掃蕩を行ひ、なほ一部隊は岱山島を占領した。これによつて浙贛鐵道を利用する蔣政権の中支方面の物資輸出入路の一は完全に遮断された。
温州福州を封鎖 全支沿海の封鎖に軍目なき海軍部隊は六月二十七日第三國に對し温州及び福州兩港封鎖の宣言を發すると共に、同日午前九時を期し新作戰行動を開始した、即ち海軍陸戰隊は温州附近において、虎頭島及び玉環島、坎門港に敵前上陸を敢行同地域一帯を占領確保すると共に、福州において陸戰隊の一部は宣言と同時に午前九時過ぎ福州港口の川石島に上陸、温州及び福州に在港せる英、伊、諸、米の各國艦船に出港勸告状を手交した。この温州

たると。
海門港を封鎖 帝國海軍は浙江省海門港が皇軍の廣東武漢占領後蔣政権の中支における物資吞吐據點となり、上海との間に盛んに貿易を營める實情に鑑み、二月十五日上海總領事館を通じて同港封鎖を敢行する必要上、第三國艦船に同港港外に避退するやう勸告したが、その後繼續中の閉鎖作業終了し左の如く發表した。
陸軍部二月二十一日發表 海軍封鎖部隊は二十日浙江省東部の海港海門の閉鎖作業を完了せり。
蘇州作戦に協力 帝國海軍は陸軍の蘇北肅清戦に協力するため三月二日江蘇省北部の連雲港南方射陽河方面第三國艦船の避退方勸告せる旨左の如く發表した。
三月二日青島海軍當局發表
從蘇江蘇省射陽河連雲港は同方面各地に積居する糧食軍および軍需物資輸送路にその得難路としてしばしば利用せられ皇軍の治安肅清工作の遂行の進展の甚多かりしところ、帝國海軍はわが治安工作の進展に資せんがため同方面においてある種の行動を遂行することとなれり。從つて同方面に存在する第三國艦船は昭和十四年三月四日日出まで同方面に於て同方面に於ては避退せざるために彼れら第三國艦船の損害に對しては帝國海軍はその責任を負はざる旨本日各方面に對して通告を發せり。

福州兩港封鎖によつて全支沿岸の主要港は全部封鎖されたので蔣政権の物資補給路は完全に封鎖され自滅を俟つ外ないこととなつた。
福州・温州封鎖宣言
各國外交官、海關に通告
二十七日午前九時支那方面艦隊司令長官の名をもつて三浦總領事より各國外交官および各海關にあて通告した福州および温州の封鎖に關する宣言は次の通りである。
一、帝國海軍は昭和十四年六月二十七日より温州および福州に對し軍事行動を開始するにつき港内在泊の第三國艦艇ならびに船舶は二十九日正午（日本時間）温州にありては東經百二十一度十五分以東、福州にありては東經百十九度五十分以東の海面に出でられたる右時刻以後温州および福州の港口は軍事行動の必要上陸揚物および危險物をもつて閉鎖せらるべく爾後これら港口の通過は不能となるべし、從つて右時刻までに出港せざる艦船の直接および間接に被ることあるべき損害に對してはわが方においてその責任を負ふこと能はず。
危險物設置位置左の通り
一、温州河口水道東南北水道中央部
二、温州河口水道東部（セントラル浮標附近）
三、温州および福州附近は戰艦區域となるべきにつきこれら區域に在る第三國人はなるべく速に避退せしめられたし
小港も封鎖 先に汕頭、福州、温州と矢つぎ早に新作戰を敢行し援路ルートの徹底的切斷を行ひつゝあるわが海軍はさらに

七月十二日午前八時支那方面艦隊司令長官の名をもつて三浦總領事を通じて第三國に左の如く通告した。

泉州、福州および閩安に對し軍事行動を開始すべし。右三處に對し第三國艦艇および船舶は右時までに右三處を離れ、右三處に對し右三國に對し軍事行動の必要上陸揚物および危險物をもつて閉鎖せらるべし。右三處の通過は不可能となるべし。したがつて右三處までに出発せざる船舶の直接、間接に被害することあるべき損害に對してはわが方はその責を負ふこと能はず。

一、福州、泉州、閩安の附近(福州、泉州、閩安)の各處に對し第三國艦艇および船舶は右時までに右三處を離れ、右三處に對し右三國に對し軍事行動の必要上陸揚物および危險物をもつて閉鎖せらるべし。右三處の通過は不可能となるべし。したがつて右三處までに出発せざる船舶の直接、間接に被害することあるべき損害に對してはわが方はその責を負ふこと能はず。

汕尾・興化も閉塞 わが海軍部隊は廣東省汕尾に對し十五日閉塞作戰の實施を證明引續いて福建省興化を閉塞すことに決定直に三浦總領事を通じて第三國艦艇の撤退方を關係各國に通告した。

桂林を襲撃 海軍航空隊は十一月二十一日廣西省桂林を襲撃し、飛行場に格納中の十三機を爆破した。

第二次昆明空襲 わが海軍航空隊は四月八日昆明を空襲敵機十機と交戦敵四十一機を撃破した。

重慶を大襲撃 海軍航空隊は五月三日數十機編隊を以て重慶を襲撃、敵機三十機と交戦その十機を撃墜した外軍事委員長行營その他を爆破した。更に五日、六日の兩日大編隊を以て空襲軍政各機關を徹底的に爆破した。

重慶を再度び襲撃 海軍航空隊の精銳數十機は五月二十五日夜四たび重慶を襲ひ、我に挑戦し來れる四機中一機を撃墜、敵の猛烈な防空砲火を冒して飛行場、格納庫、兵營等を襲撃した。

重慶を襲撃 海軍航空隊は六月九日深夜重慶を空襲敵五機を撃墜したる外軍需倉庫群を襲撃、同市南側の燃料庫に命中大火災を發生せしめた。

支那事變——帝國海軍の活躍

石臼所を占領 帝國海軍は青島、海州間の小港石臼所が魯南地區に蟠居する千學忠沈鴻烈など匪軍の物資輸入路たるに鑑み、陸軍の魯南作戦に協力して六月十三日石臼所に陸軍の敵前上陸を敢行、殘敵を掃蕩してこれを完全に占領した。

第一次赤色ルート襲撃 わが陸軍航空部隊の川島、栗原、酒本、原田各部隊は十一月初旬以來寒風を衝いて急襲支那共産軍の本據陝西省延安および赤色ソ聯の援務物資輸送路たる五原、寧夏、瀋陽、西安、寶雞、蘭州の各地を十二月初旬に至る約一箇月間數十次に亘り連綿的に襲撃、蘭州においては待機中の敵機總計約七十機を撃破してその運動を封じ、その他延安、榆林、神木などの共産軍根據地を襲撃した。

第二次赤色ルート襲撃 わが陸軍航空部隊は二月十二日以来零下三十度の寒風も物ともせず大擧敵の空軍再據據點たる赤色路線蘭州を二週四十數次に亘つて猛襲、二月十二日には蘭州上空において襲ひ來る敵四機と壯烈な空中戦を演じて敵三十八機を撃墜、また二月二十日數十機の編隊群をもつて蘭州を急襲、敵五十機と猛烈な空中戦を開き、敵三十六機を撃墜、敵空軍再建企

成都を大襲撃 海軍航空隊は六月十一日大擧四川省成都を急襲、軍司令部省黨部を爆破した外敵十八機と交戦その六機を撃墜した。

成都を夜襲 海軍航空隊は十月二日午前三時半成都を襲撃、敵機と交戦しつゝ大平寺および鳳山飛行場を爆撃多大の損害を與へた。

宜賓を襲撃 海軍航空隊は十月三日四川省重慶南方二百五十キロの宜賓を急襲、飛行場を始め格納庫の大規模襲撃および格納庫滑走路を刺すところなく爆破した。

皇軍の各要地占領日誌

Table with columns for date, location, and military actions. Includes dates like 二月二十一日, 三月二十二日, etc., and locations like 石臼所, 蘭州, 成都, etc.

重慶を襲撃 陸軍飛行部隊は十一月七日衡陽飛行場を襲ひ、對地射撃と爆撃を加へ敵十五機を撃破した。

重慶を襲撃 陸軍飛行部隊は十二月九日重慶を襲撃、各軍事施設を襲撃した。

重慶を襲撃 陸軍飛行部隊は一月十一日重慶を襲撃、敵機十五機を撃墜した。

重慶を襲撃 陸軍飛行部隊は四月二十九日重慶を襲撃、敵機二十餘機と激烈な空中戦を展開、敵十一機を撃墜した。

重慶を襲撃 陸軍飛行部隊は四月二十六日より二十九日まで四日間敵の密集せる漢水沿岸の鎮坪、沙洋鎮、河口鎮その他を猛襲、敵約一萬を殲滅した。

昆明を襲撃 海軍航空隊は九月二十八日雲南省昆明を襲撃、兵器廠その他の軍事施設の外同地飛行場に格納中の約二十機を撃破した。

梁山飛行場襲撃 海軍航空隊は十一月五日四川省梁山飛行場を襲撃、敵約二十機と交戦その十五機を撃墜した。

日英東京會談の經過

一、英米佛三國の抗日

援蔣行動

昨年十月皇軍が總ゆる困難を排して廣東および武漢三鎮を占領して蔣政権を一地方政權に轉落せしむるに及んで、支那半殖民地的の權化たる英米佛の三國は支那事變が宣戰を布告した正式の戰爭でないことを理由にして、中立國の義務を守る要なしと飛行機兵器彈藥その他の軍需資材を供給して露骨な援蔣行動を續けてゐたが、武漢三鎮の陥落は彼らに重大衝動を與へ單獨の抗蔣や中入れでは効なきことを覺り、みぎ三國は連衡して揚子江流域がなほ戰亂中であるに拘らず、その利己主義を遺憾なく發揮して揚子江の開放を要求し、十一月廿九日わが海軍當局の爲に「未だ戰爭繼續中につき戰事終結を見るまでは開放し得ず」と一蹴された。彼らは嚴正な中立を守らなかつただけに、多年不法な手段によつて獲得し

た在支既得權益維持に不安を感じ常に相逼緊してわが政府に照會や抗議を提出してわが國の事變遂行を妨害した。

これに對しわが國は毅然たる態度を以つて長期建設の遠大な決意と東亞新秩序建設の高遠な理想と信念を披瀝した聲明を發して、蔣政権の抗戰および援蔣諸國の策動を斷念せしめその嚮ふべき方途を明示したが、英、米、佛三國はなほ迷夢醒めず、佛領印度支那或は緬甸の海港を経て軍需資材を供給し或は蘭死の境に陥れる蔣政権に資金を融通して、その抗戰力を助成した。いま昨年以來英、米、佛三國の主なる援蔣行動を披瀝すれば左の如くである。

▲十月六日、米國政府は長文の書翰を以て在支權益を維持するに對し中入れをなした。
▲十二月十五日、米國復興金融會社は蔣政権に對し二千五百萬佛のクレジットを與へることを公表した。
▲十二月十五日、佛國は皇軍が蘭領東印度に對して蔣政権の武器輸入路を封鎖するや、佛領印度支那の海防より蔣政権の揚子江流域の利川を許可し、トロッタ、各種兵隊などを陸軍に輸送した。

▲十二月三十一日、米國は在支の權利を確保し新事態を認め得ずとの懸念をわが政府に提出した。
▲一月十四日、英國クレギー大使は米國の對日與談と同一主張の中入れをなした。
▲二月十九日、上海共同租界内に於て抗日テロ團のため維新政府外交部長陳嘉謨氏が暗殺された。
▲二月二十一日、上海共同租界内に於て又も抗日テロ團によつて親日要人李國杰氏が暗殺された。
▲三月八日、英國は蔣政権に法幣安定資金として一千萬鎊を提供し、低價を續けてゐる法幣の補強を願ふこととなつた。
▲四月九日、天津英租界グラント路において蔣領天津支店支那人、天津海關監督程國庚氏が暗殺された。
▲五月九日、フランス租界において親日支那人洪氏が暗殺された。
▲五月十七日、英、米、佛三國艦隊は居留民保護を口實に故宮に陸隊隊四十二名をフランス租界に上陸せしめ對日示威を行つた。
▲五月二十二日、廈門駐在內田總領事は十四日フランス工部局に改裝の要求を提示したが、同工部局はこれを拒否し來つたので二十二日更に反駁の要求を提出した。
▲七月五日、英國大使館附武官シ、ツール、スビー、ヤ中佐は山西方面よりわが占領地域の防衛、察哈爾、綏遠、山西、豫西のベルギー系カトリック教會に入つたが、スバイの艦隊でわが支那口艦兵隊に逮捕された。
右の外上海共同、佛兩租界内には重慶蔣政権の指揮によつて暗躍する抗日言論機關抗日暗殺團などが蟄居して上海市政府、維

新政府官吏を暗殺、或はわが船會社倉庫その他への放火、言論機關はわが軍の發行する軍用票、日本銀行券に對して種々のデマを放送してその流通を妨害するなど、わが方の治安維持工作を攪亂しつゝあつたのでわが政府は中支軍當局および上海總領事をして共同、佛兩租界當局に抗議を提出或は交渉してテロ團一掃に努力したが、結局上海共同租界が治安維持上充分の機能を發揮し得ないのは、租界制度の根本をなす土地章程の陳腐なることにあるので、これが改革をなすべくわが外務省は五月三日駐日英米大使に改正を提議した。然るに米國は五月十八日なほ改正の時機に非ずと拒否の回答を寄せ、英國も五月五日非公式に改訂の要なしとの聲明を發し不遜な態度を示した。

二、天津英佛租界の暴狀

上海共同租界やフランス租界が援蔣的であり抗日テロの温床であつた以上に天津の英佛租界は專管居留地であることによつて英國も佛國も獨自の態度をもつてテロ團や抗日分子を庇護して北支の治安を攪亂した。いま事變發生以來天津の英佛兩租界が抗日分子の巢窟であつたことを示すために、兩租界を根柢とするテロ團の暗躍事件を示

支那事變——日英東京會談の經過

せば、

一、昭和十三年二月二十二日日本租界地近野洋行に爆弾を以て放火。
一、五月二十二日同野洋行中中日學院外三箇所同時計炸彈の爆彈投擲事件發生。
一、六月三日同野洋行中中日學院外三箇所同時計炸彈の爆彈投擲事件發生。
一、六月五日同野洋行中中日學院外三箇所同時計炸彈の爆彈投擲事件發生。
一、七月二十五日より月末までに抗日分子の抗日ピエラの配布及び中支公司、天津稅關倉庫、兵站宿舎等に爆彈投下或は放火事件が頻りに續いた。
一、七月に入り奉天洋行、伏一堂洋行、福源洋行、三區碼頭、日光堂書店、同野洋行倉庫に爆彈放火をなした。
一、七月二十四日佛租界二十九號路警察印刷局を佛界工部局巡捕と共に襲ひ不法紙幣十四萬元を押収、犯人十六名を逮捕したが、既に彼らは二百萬元の不法紙幣を發行してゐた。
右紙幣は明かに北支金融攪亂の事實明瞭であるにも拘らず、佛租界當局は言を左右にして犯人及び不法紙幣の引渡しに應ぜず、兩租界の暴戾不遜を斷乎隱忍すべしとの聲は我が居留民間にあふれ日に激化して行つた。

租界は共匪敗殘兵の連絡地點及び策動の本據たるを指摘、頻りに暴戾する怪火事件の犯人取締りを嚴重要求する所あつたにも拘らず、同二十五日には又復これを嘲笑するかのやうに再び中日學校に時計炸彈投擲事件勃發し支那人一名重傷を負ふに及んで、我當局は兩租界に嚴重全くなきものと認め、忍の限度こゝに達したりと遂に八月三十一日、英佛兩租界内居住數千邦人に對し、兩租界は安住の地にあらずとして二週間の期限付を以て總引揚げを内命、こゝに「租界問題」は果然表面化するに至つたのである。

總引揚げ内命に接した英租界居留邦人は勿論、親日華人は租界當局の不誠意に憤激しつゝ、續々引揚げを開始、旬日を出でずして兩租界は文字通り抗日の孤島化するに至つたが、兩當局は我が斷乎たる決意に狼狽しつゝも依然抗日分子援護の態度を捨てず、テロは頻りに九月二日には北寧公園附近三麥倉庫に爆彈放火事件があり、同五日には特三區三麥倉庫棉花に同爆彈放火事件があつたのに引續き十五日には職僱すべき一大テロが敢行された。即ち同日午後八時半頃天津路を發した北支行き天津交通のバスが華街東馬路附近に差しかゝつた際、車内に仕掛けられてあつた時計裝置の爆彈が轟然炸

裂、乗客中の皇軍勇士二名及び華人一が重傷を負ひ、全市に非常線が張られて間もなく、今度は天津驛に停車中の天津交通バスがこれ亦時計仕掛爆弾のため大破、華人運轉手一名が重傷を負つた事件で、犯人は佛租界より乗車して佛租界で下車した極青年二名と確証されるに至り、問題は俄然重大化した。

従来のテロ行爲は貨物に對する放火或は人心攪亂に止まり、直接人命損傷を目的としてゐなかつたものが、こゝに至つてその性質が一變、感々悪質化したものとして我當局の斷乎たる措置が要望されてゐる折柄息づく間もなく起つたのは同二十一日夕刻萬國博覧會館内に勃發した佛巡捕の皇軍將兵に對する暴行事件である。事件は偶々萬國博覧會館の皇軍トロッカが交通整理の佛巡捕の不遜なる態度に憤激してトロッカより下車した途端、數十名の佛工部局巡捕より棍棒を以て包圍亂打され、負傷したもので、明かに我が勇士に對する挑戦であり、斷じて看過すべきにあらずとして我が當局は佛當局に對して陳謝及び犯人の處罰を嚴重要求したにも拘はらず、佛當局は非禮にも我が要求に應ぜず、遂に二十三日には大和公園において數千の居留民參集「暴徒佛租界騷擾」の大居留民大會が開催され

佛租界掃拭の大デモストレーションに將に一觸即發の緊迫した雰囲気になされたが當局の慰撫により漸やく事なきを得た。英租界の不遜はなほもつた、昨秋紙上を賑はした「似警署引渡し問題」がこれである。似警署は津浦線北段民衆抗日義勇軍司令と言ふ體名を蔣介石より受けて英租界を根據地に小規模にも漢口陥落後の後方大擾亂を企圖、九月二十八日を期して津浦線及び京津地區の交通機關鐵道及び京山線北段、楊村にあつた遊撃隊約一千をして騒亂を起さしめんとするの恐るべきテロを計畫してゐるのを知りし我が領事では同月二十五日早朝前記遊撃軍司令蕭鳳鳴が部下二名と共に津浦線沿線に連絡のため赴かんとするのを西站驛に於て逮捕、其自供に基き同日午後英工部局の總署を求めて英租界四十四號路林東大樓に於て首魁似警署を逮捕、事件を未然に防止し得て凱歌を擧げたが似警署は我方の取調によれば陸軍上尉で滿洲事變後廣山軍官學校において將より直接指揮を受け昭和七年二月より六年間に亘り滿洲に潜伏、寒天を根據として秘密暗殺團を組織し、武蔵元帥及滿洲國要人の暗殺を計畫中、身邊に危險が迫つたのを察知、南京に逃走、再び蔣の命令により直に冀東に赴き冀東政府保安總隊長張慶余を使喚して

遂に「世紀の悲劇」通州殘虐事件を勃發せしめた後三度蔣の命令により遊撃軍總司令となり天津に潜入、英租界中街某外人宅にある國民政府軍事委員會華北總辦事處を根據とし蔣及びO O團より毎月六十萬元に上る工作費を受けてテロに狂奔してゐた事實が白日下に暴露されたのであるが、何事ぞ英租界當局は同人を「政治犯」なりと斷定「中立國の義務として引渡しを拒絶」する暴舉に出でた。この取調により彼等は英工部局と密接な關係を結び秘密會議を開催する場合には必ず英當局より特務を派して保護し、又中日評論、中華日刊等の抗日文書の頒布に對しては特務より新聞販賣人に渡さしめて一般に販賣せしめてゐた事實が發覺更に似警署は昨年二月初旬佛租界内において抗日工作中舉動不審者として佛工部局に檢舉された時、抗日分子なることを自供したのみで釋放されたといふ奇怪な事實が確証されるに至り英佛兩租界當局は感々「援將の講演者」たる烙印を捺されるに至つたのである。

右の外英佛租界は治外法權を享有して支那官憲の取締り監督の域外にあることを奇貨として、瀛法幣の支持による銀券の流通阻礙、或は排日教科書の使用公認、不法

無線電の黙殺等、政治、金融、經濟、思想の攪亂的行爲を頻發し、援將抗日の集會たることを遺憾なく發揮した。

三、つひに英租界を隔絶

かくて四月九日天津海關監督兼領事天津支店長暗殺事件の發生を見るに至つたが、犯人が英租界内において檢舉されわが天津軍當局との共同實地檢閲によつて、明白に犯人たることが實證されたに拘らず、言を左右に托して犯人引渡しに應ぜざるため己なくわが天津軍當局は北支治安の確立を期するため斷乎六月十四日より英國租界に對し七箇所の通路において檢問檢索を實施して隔絶したのである。程錫庚氏暗殺犯人引渡しに關する交渉經過は左の如くである。

犯人引渡しに關する

日英間交渉の經過

天津イギリス租界における程錫庚氏暗殺事件に關する日英兩國の交渉經過は左の通りである。

支那事變——日英東京會談の經過

一、新任天津海關監督(前天津海關支店長)程錫庚は本年四月九日夜天津イギリス租界海關グラウンドにおいて誤認殺害中死傷を蒙りて即死し犯人は逃早く逃走せり。

二、本事件に關し天津市公署よりイギリス領事館に對し四月十日付公文をもつて抗議を提出し本犯人の逮捕を請求するに至りし。

三、四月十日わが方よりイギリス領事館に對し、本事件に關するは先方より、わが領事館の協力援助を求むることとなり、十一月十日依願の公文を交付し、わが領事館に對し、本事件犯人ならびに關係者は密偵監視をわが方に引渡しすることに要請する旨四月十四日代領事より電報ありたり。

四、イギリス側はわが領事館の協力の下に四月十五日第一回檢問を、四月十七日第二回檢問を、四月二十一日第三回檢問を行ひたり、第三回檢問の際わが兵隊において本事件容疑者支那人數名を逮捕したるが、イギリス側は當初何れも認罪なきことを理由とし、これが引渡しはもろろん認罪その他取調のため期限を附しわが方に要請すること拒否するの態度に出たるが、わが方において嚴重交渉の結果四月二十五日イギリス領事館よりわが領事館に對し、決斷にて容疑者を一時拘留兵隊に留置することに決したるが、四十八時間以内に返答のこと、拷問にかけざること、先例となさざることの三條を附したしと申出たるにつきわが方より五日以内に返答のこと拷問にかけざること、將來に關しては個々の場合につき協議すべき旨の公文を提出し直に容疑者を兵隊に引取り來れり。

五、わが方においては本事件容疑者の返還期日たる四月三十日朝イギリス側に引渡し前犯行場所たるグラント警署前においてイギリス側立會の下に實地檢問をなしたるに、容疑犯人は自供して犯行證據を再現せしによりイギリス側において本事件犯人が程錫庚事件關係者なることを確証し、(一)兵隊より

り本件關係者の送付あり交渉直に支那側へ引渡しすべき旨を要請するが、それにもかかはらず支那側として引渡しを要求せしむるを本事件犯人などがその後イギリス租界工部局において兵隊に對する自供を全部覆へしたることおよび兵隊に對する自供を全部覆へしたることを理由として引渡しを拒否する態度に出で來り。

六、その後わが領事館においては引渡方に對しイギリス側と折衝を重ねるも埒あからずしにより田代領事は五月三十一日電報をしてイギリス側に對し六月七日正午まで犯人引渡の有無回答方もし回答なき場合は引渡しを拒否せしむるものと認むる旨申入れしめたり。

七、六月六日在京イギリス大使有田大府を來訪し(イ)將來はテロ行爲に關與したることにつき天津領事館が證據ありと認むるものは支那官憲に引渡しすべきこと(ロ)問題の四名については證據不十分なるにつき引渡しを拒否し、何れも罪状の證據なきものを引渡しに應ぜしむるがごときはイギリスの正義觀念に反すと申入れたり、これに對し有田大府より四箇の四名についてはイギリス官憲立會のもとに實地檢問を要請せしむるが、すでに證據十分なるべきはずなるにつき要請引渡ありなき旨、ならびにイギリス側が強ひて本事件犯人を引渡しざるに對しては從來も良好といひ得ざる天津における日英間の空氣を一層惡化する懸念あることを指摘せり(本事件犯人のごとく證據明白なるものについてはイギリス側が意見を唱ふる状況において「將來證據ありと認むるものは引渡し」とし、兩するイギリス側證據が實行上殆ど何ら意味なしと認めらるるは當然なるべし)。

八、同日天津においてイギリス領事より田代領事に對し本國政府の同調に本づく趣なるをもつて

前記と同主旨の中入あり、租界の引渡を拒絶せり
 八、六月十日在京イギリス大使は有田外相に對し日本側のはゆる租界の「自由」は後對租界自身に對し日本側につき新なる證據の提示なければ引渡すことを得ざる旨を述べ、これに對し大佐よりイギリス側は日本官憲のイギリス官憲に對する供送とのいづれを併用するやを問ひ遂かに引渡ありたき旨を要求せり
 九、わが租界當局においてはイギリス側がその租界の存在をかくのごとく抗日軍人既進のため拒用する以上、これに對し當然の防衛措置として同租界に對し嚴重なる檢閲および檢査を實施するのほかなざるものと認め六月十四日午後六時より右檢閲檢査を實施することとし六月十三日朝この旨を聲明せり
 十、六月十三日午前イギリス政府は重光大使に對し「イギリス側の從來知らざりし新事實を察せられたるにつき租界の引渡問題に再考すべく取敢ず四月十四日より實施の租界封鎖は見合せられたし」と申出あり重光大使はこれを答へ同政府に復讐するともにイギリス政府に對しては天津において我々も亦イギリス側より日本當局と適合せられたる旨を同答せり
 十一、七月十三日午後八時天津においてイギリス領事館よりわが領事館に對し「抗日軍人引渡につき日本、イギリス人および第三國人各一名を認定し租界十分なりや否や共同調査せしむるとし」たき旨を聲明し承るが、わが領事館においては軍備と感議のちへ右は當時の事態に即せざる旨を同答せり

四、英國より外交交渉を提議し來る

支那事變の最終的解決が抗日軍政權の背後に踊る英米佛ソ等の歐米諸國の策動排除にあることは、一般讀者の事變前からの觀察であつたが、聖殿二箇年つひに來るべきものは來つて援將國の筆頭英國の援將抗日的策動は愈々露骨となり、流石に隱忍に隱忍を耐ねて來た皇軍もつひに耐へかねて、頭暈不暈な英國の迷夢を醒すため六月十四日より天津英租界を隔絶して一大鐵鎖を下した。この皇軍の斷手たる態度に無恥厚顏な英國も放膽し得ず六月十九日英國外相ハリスハックス氏はわが重光駐英大使を外務省に招致し
 英國政府は今回の租界問題については天津における日英兩國當局が折衝し協同的解決として解決に到達したい希望をもつてゐる。
 旨の申入れをなし、一方駐日英國大使タレーギー氏も六月二十三日および同二十七日の兩日に亘つて有田外相を官邸に訪問し、事件を平和的に解決したき旨熱心に申入れ來つたので、有田外相は平沼首相および板垣陸相と數次に亘つて協議した結果、英國側の平和的解決を希望する態度に相當誠意あるものと認め、東京において外交交渉を行ふことに決定し、廿八日タレーギー英國大使を外務省に招致し、その旨を傳へるとともに左の如く發表した。

外務省發表
 帝國政府は英國側の中出でに基き天津における租下の事態に關聯する各種問題の解決を圖るため、現地に關係官を招致し東京において交渉を行ふこととせり而してわが方の外交交渉に對する方針は飽くまで現地解決の建前を堅持し、會談の大綱は有田外相とタレーギー大使との間に於いて行ひ、大綱決定後の各種問題の専門的折衝は日本側からは加藤駐支公使、田中領事、武藤少將、太田中佐、大田少佐らの現地當局者、英國側からはハーボート天津駐在領事、駐日大使館附武官ビゴット少將外二三書記官が委員として各問題を討議折衝することとなつた。
 これより先皇軍が英租界の隔絶を斷行するや日本内地及び南北支各都市には影響たる排英運動が勃發し、英國を支那より驅逐せざれば己まざるの概を示した。北京臨時政府は皇軍の英租界隔絶に呼應して六月二十三日北京の英、佛兩大使館に左の如き通告を發してその反省を促したが、暴戻不遜な英、佛兩大使館は、未だ同政府を正式に承認してゐないため何らの回答をなさなかつたので、同政府は七月二日兩大使館に送附した通告文を發表した。
 在天津英租界に關する英、佛大使館宛て書翰(譯文)
 一、拜啓者民國二十六年十二月十四日臨時政府の廣

立派な木造府において北支民心の安定と大業の安固を期し、東支新秩序建設のため努力をすべしとされ、この天津英租界當局においては今も東支における新事態を認識せず天津租界をして重慶に對する北支治安防衛の前進、經濟開發の前進地たりしめ、これがため北支二億の民衆に對し治安上、經濟上不安の苦衷を招來せしめたるは臨時政府の斷じて取視せざるところに候
 二、租界はもと内外文物、制度などの相違に本づき外人の居住地域として特定せられ、右外國人の諸事項が自治に委ねられたるに止まり、絕對的行政の自由を有するものには無之候、すなはち外國租界は同租界を包含する地域を支配する行政權の範圍に應じ、一般の治安秩序の保持に協力すべきことを租界存立の條件となすものなるをもつて、租界が租界地域の治安、經濟その他一般秩序の根據地となり、また右租界者に庇護を與ふるにいたつては右は租界の本質を逸脱するものに有之候
 三、今次日支事變の勃發以來すでに二箇年の年月を閱し、海陸權は四川の隅に地方政權として轉落し天津地方はもとより北支に對し何ら實力を及ぼす北支の安寧秩序は一に本政府によつて維持増進せられざるの現實の事態を無視し前記の如き態度を維持するに於いてはこれすなはち本政府ならびに二億民衆に對して嚴重を有し、その嚴重を認識して顧みざるものといはざるを得ず、本政府は北支の治安保持および大業の發展増進のためこゝに應答的態度として英佛租界當局に對して左記五項目の要求を提出す、本政府は將來治安ならびに民生に關する臨時政府の施設に關與せられんことを要望致候

支那事變——日英東京會談の經過

追つて本件五項目は現下窮迫せる事態にかんがみ臨時政府として要求すべき最小額の條件なることを租界當局において右をもし受諾せず依歸として臨時政府による北支復興行為を承認し臨時政府の施設に賛同する行動を願するに於いては本政府は問題の根本に對し所望の態度を講ずるの已むを得ざるに至るべく以上書翰をもつて申出候
 五要求の内容
 一、租界内テロおよび共黨分子を速かに臨時政府に引渡すこと
 二、臨時政府の總領事館に對する協力特種租界内における憲法上の保護停止ならびに現狀維持に關して臨時政府に協力すること
 三、臨時政府による租界内支那銀行、錢莊および商社の檢査取締に協力すること
 四、臨時政府の政策に賛成する施設、言論、出版物などを嚴重に取締ること
 五、以上の四項目の事項を承認しかつ今後における取締の實行を期するため租界内において共同取締を實施すること 敬具
 民國二十八年六月二十三日
 中華民國臨時政府 王 克 啟
 行政委員會委員長
 在文イギリス大使館(各通)
 在文フランス大使館(各通)

五、日英東京會談開催の經過
 わが現地代表たる加藤外相公使、田中領事、武藤少將、太田中佐、大田少佐等の現地代表は七月七日までに全部東京に集まり、英國現地代表ハーボート領事また英國軍艦にて横濱に到着直ちに東京に入り、こゝに歴史的日英會談の兩國陣容は完全に整ふた。武藤少將以下の現地代表を迎へたわが陸軍當局は七日以來これら代表より現地の實情を聴取し、更に外務省との間に英國の援將行爲は正に關する周到なる檢討が九、十兩日に亘つて行はれ、會談に臨む準備的協議によつて略ぼ成案を得るに至つたので有田外相は十一日定例閣議前平沼首相、板垣陸相と首相官邸に集合外務省作製の對英要求案を中心として重要協議を重ねた結果、會談に臨む大綱案の最終的決定を見るに至つたが、外務當局は十三日この大綱案を全閣僚および内閣參議會議に附議し、その全面的支持を得たので十四日岸秘書官を英國大使館に派し
 七月十五日より外相官邸において日英東京會談の開

備方を通告した。これに對し駐日英大使クレギー氏も豫備した旨を回答したので、日英東京會議は七月十五日午前九時より外相官邸において開かれることになつた。

第一次會議 七月十五日午前九時有田外相は外相官邸にクレギー英大使の來訪を求め二階南向きの一室において會見、こゝに内外の視聽を集めた日英會談は正式に開催された。先づ有田外相より議題として提起した帝國の公正な態度を各事項にわたつて明かにし、ついで支那における日英兩國間に發生した不幸な事態一切の根源を除去し、及、英國が新事態を認識して帝國の東亞新秩序建設に協力するに非れば、今回の會談は所期の効果をあぐることは困難な旨を述べて英國側の考慮を求め、英國の誠意披露によつて日英間の諸問題を調議に解決したとして、會談の基礎となるべき帝國の眞意を明かにした。これに對しクレギー大使は英國の在支利益擁護に關する意見を述べ、所あつたが、この日は單に兩代表とも相互の主張を述べただけで、今後逐次實質的討議を續行することを申合せ、續いて十七日第二次會議を開くこととして午後零時半三時半に亘る第一次會議は終了した。

第二次會議 第二次會議は英國側の回調未済のため十九日に延期され、同日午前九時

時から外相官邸で前回同様何人も交へず、有田外相とクレギー英大使の二人切りで開催され、第一次會議に引續き天津問題の背景をなす一般原則問題の核心に向つて進んだが、日英雙方の主張見解に相當の隔りがあることが明瞭となり、わが方は飽くまで東亞新秩序建設の妥當なることを主張し英國側がわが方の主張を容納する意外問題解決の途なきことを強調、次回は二十一日續開することになつた。

第三次會議 二十一日午前十一時五分から外相官邸において前回同様餘人を交へず二人切りで開催され、前二回會議における意見對立せる根本問題を粗上に討議を重ね午後零時四十五分散會したが、當日の會談においてクレギー英大使が、前二回の強硬意見を棄て、各條項にわたり全面的に善い協力する態度を示したので、こゝに交渉は急轉直下進路を突破して一般原則に關する兩國の原則的諒解が成立を見るに至つた。かく交渉が急轉直下好轉するに至つたのは第二次會議後クレギー大使より本國政府への請願に對し、英本國政府が従来の立場を一變して全面的に日本側の正當なる主張を容認するとの態度に出たがためである。即ち本日成立した三原則は左記の如きもの

協定した三原則

- 一、イギリスは支那における現狀の事態を承認する。
 - 二、イギリスは支那において日本軍の生存し並に治安維持について日本を實し支那を利するが如き行動をなさざること。
 - 三、イギリス政府は今後支那において以上の行動を行はざることと在支イギリス官憲に徹底せしめる。
- 右三原則は二十二日の第四次會議までにそれ／＼國內手續を完了して、第四次會議において正式誓書を交換して協定事項の確認を行ひ、日英兩代表の署名をなしたのち日英相互に協定成立の聲明を發することになつた。

第四次會議 有田外相は日英第三次會議において一般原則問題に關する諒解が成立するに至つたので、これを協定とするため二十一日平沼首相に報告、平沼首相は二十二日午前九時五分から臨時閣議を開催全閣僚出席の下に有田外相より交渉經過を報告、第三次會議に對して成立した諒解を兩國間の協定となし、から全閣僚の承認を求めた結果全閣僚一致の賛成を得て閣議は決定した。一方英國側は第三次會議終了後本國政府に最終的訓令を仰ぎ回調を待つてゐたが、二十二日午前九時訓令が到着したので、有田外相との間に第四次會議開始の時間を打合せ、午後十一時五分より外相官邸に第四次會議を開催天津問題の背景

をなす一般原則に關し日英兩國間に成立した諒解事項の正式誓書を交換し、右諒解事項の確認をなした上、有田外相並びにクレギー大使は誓書に署名をなしてこゝに内外の視聽を集めた有田、クレギー會談は圓滿妥結を見、かくて會談は十一時五十分終了した。なほ諒解事項内容は左の如く二十四日東京および倫敦において公表された。

日英諒解事項の聲明全文

(七月二十四日外務省發表)

英國政府は大規模の鐵道行爲進行中なる支那における現狀の事態を完全に承認したたが、る狀態が存続する限り支那における日本軍が自己の安全を確保しその勢力下に在る地域における治安を維持するため特殊の要求を有することならびに日本軍を書しまたはその敵を利するが如き一切の行爲及び原因を排除するの要あることを認識す。英國政府は日本軍において前記目的を達成するに當りこれが妨害となるべき何らの行爲、または措置を是認するの意思を有せずこの機會においてかゝる行爲及び措置を抑制すべき旨在支英國官憲及び英國國民に明示しもつて右政策を承認すべし。

第一次圓桌會議 天津問題の背景を爲す一般原則問題は有田外相とクレギー英大使との四次にわたる會談において妥結を見る

支那事變——日英東京會議の經過

に至つたので二十四日以後は越え天津現地の具體的問題の討議折衝に入ることになり二十四日午前八時半有田外相は外相官邸にクレギー英大使の來訪を求め、東京における現地交渉に臨む日英兩國委員の名簿を交換し、圓桌會議のアログラムを協議して豫備的折衝を終了した。しかして會談は外務次官官邸において行はれることになり、第一回圓桌會議は二十四日午前九時二十分より開始され、日本側よりは加藤公使、田中領事、武藤少將、河村大佐、與野野書記官、朝海、青木、寺岡合事務官、英國側よりは

クレギー大使、ハーバート領事、駐日陸軍武官ビョット少將、マックレー商務參事官、ゴアアブリス二等書記官、アレン駐支大使秘書官、ブレイン三等書記官が列席した。先づ加藤公使より天津問題に對して解決を要する帝國政府の主張を述べこれに對しクレギー大使より日本側の原則的要求をよく諒解した。今後は誠意をもつて協議を進めて行きたいとの希望を述べ、二三帝國政府の主張につき質問をなし、加藤公使これに答へ午前十一時二十分一旦休憩した。

第二次圓桌會議 二十四日午後四時十分より開催され、わが方より加藤公使、田中領事、武藤少將、朝海、寺岡の兩事務官、英

國側はクレギー大使、ハーバート領事、ビョット少將、ゴアアブリス、ブレイン兩書記官出席し、専ら租界の治安維持問題を討議し租界中立性などの法理論を避け現實の事態に對して英租界當局のわが天津軍當局に對する實際的協力方針とも云ふべき排抗日分子の共同取締、共同搜查反抗日教育宣傳の取締、租界工部局の一部改組等を原則的に決定するため、治安維持に關する田中領事、大田少佐、ビョット少將、ハーバート領事より成る小委員會が設置された。

右治安問題小委員は二十五日午前九時十五分から外務次官官邸で開かれ、日本側から田中領事、大田少佐、英國側からビョット少將、ハーバート領事の各委員出席し、治安維持に關する諸問題を討議し、午後零時二十分一旦休憩有田外相の午餐會に臨み午後二時二十分再開午前引續き治安警察に關する諸問題を討議した結果大體意見の接近を見たので、最後の決定は圓桌會議に俟つこととして、小委員會は午後五時四十五分散會した。

第三次圓桌會議 二十六日午前十時三十分より外務次官官邸において開會、日本側より加藤公使、田中領事、武藤少將、大田中佐、大田少佐、朝海、寺岡兩事務官、英國側よりクレギー大使、ハーバート領事ビ

ゴット少將、ブレイン、ゴアブリス兩事務官出席、治安問題小委員の報告による左記諸點につき逐條審議を行った。

- 一、押氏時局犯人引渡し
- 一、抗日反日分子の徹底取締
- 一、英租界工部局の反日職員の即日罷免
- 一、反日教科書、反日新聞雑誌および圖書の廃棄
- 一、新支那憲法に對する反對分子の政治的運動の徹底
- 一、英租界工部局の警察、司法關係の地位に日本人を採用して治安維持の職務を併にする
- 一、反日テロの捜査、逮捕に英租界工部局と日本軍當局との協力機關設置

かくして午後一時二十分一旦休憩、午後四時再開引續き審議を續行したが英國側は一般的原则と同様誠意をもつて各條項の解決に當つたので極めて順調に進捗した。

第四次開會 二十七日の第四次開會に立ち午前九時十分より田中領事、大田少佐、ビゴット少將、ハーバート領事の四委員は外務次官官邸に參集、二十六日の開會決議において達された治安問題に關する雙方の見解ならびにその基礎資料につき再検討を行ったが、これと並行して加藤公使、武蔵少將、タレギー大使は別室において今後の會議進行方法につき打合せを行った後、午前十時十五分より第四次開會を再開し、日本側より加藤公使、田中領事、武蔵少將、大田少佐、朝海、寺岡、青木各事務官英國側よりタレギー大使、

ビゴット少將、ブレイン、ゴアブリス兩事務官出席、治安に關する殘餘の問題につき討議を進め英國側の誠意披露によつて問題は極めて圓滑に進捗し、七項にわたる大綱も二十項に及ぶ細目についても、完全に日英間の瞭解成りこゝに治安問題は全部解決し直ちにこれが成文化に取り掛かることに決し午後一時一旦休憩、午後四時開會を再開して經濟金融の討議に入り、加藤公使より天津租界内における法幣流通禁止について、法幣の流通は臨時政府の幣制統一工作を妨害し、支那民衆に與ふる損害莫大なるものがあり、新秩序建設を阻害するものであるから速かに流通を禁止されたいと提案したに對し英國側は英國政府の承認せる國民政府の通貨なる法幣の流通禁止は、公課公納金に法幣の使用を規定してある英國の勅令にも抵触するものであると強硬に反對し、日英兩代表の見解は俄然基本的對立を呈し、當日は雙方の見解を調はしたまは廿八日の開會に持越しこととなつた

第五次開會 二十八日午前十時十分より外務次官官邸において開催され、わが方より加藤公使、武蔵少將、田中領事、宮本少佐、青木、朝海、寺岡各事務官、英國側よりタレギー大使、ハーバート領事、ビゴット少將、マツクレイ商務參事官、ゴアブリス、ブレイン兩事務官が出席、加藤公使より租界内法幣流通禁止問題を後述はしとし、先づ英佛租界内にある現銀四千八百萬元の撤出方に関し、

會議に法幣問題を最上にして討議に入るや、日本雙方の主張は正面から對立し簡單に妥協する途もないので、開會決議は二日間休會し三十一日第六次開會を聞くことに兩國代表間に決定した。しかして日英兩委員は二十九日個別的に折衝を行つて難局打開に努めた。即ち武蔵少將はタレギー大使およびビゴット少將と會見して法幣問題に對しての打開策を協議、一方外務次官官邸では田中領事、ハーバート領事を中心に治安問題に關する協議を重ねたが、その結果として三十一日は法幣問題に關する小委員會を設置して、午前九時からこの小委員會を開き諸般の下打合せをなし難局打開に資することとなり、一方治安問題も三十一日午後四時から第六次開會を聞いて、今日まで大綱の決定を見た治安問題を正式に決定することとなつた。

第六次開會 三十一日午前九時から開かれる豫定であつた法幣問題小委員會は英國側より午前十時まで延期された旨申出があり、わが方委員田中領事、朝海、寺岡各委員は三十一日外務次官官邸において英國委員と協議の結果、法幣問題に關する委員を第六次開會の終了時まで延期した。第六次開會は三十一日午後四時十分より外務次官官邸において開催され、日本側より加藤公使、武蔵少將、大田少佐、宮本少佐、田中領事、青木、寺岡兩事務官英國側よりタレギー大使、ビゴット少將、ハーバート領事、デニス英租界警察署長、ブレイン、アレン兩書記官出席、議題を治安維持問題に局限して協議を進め、二十七日午前の第四次開會で大體意見の一致を見た租界内の治安維持の細目決定のため天津英租界警察署長デニス氏より現在英租界における治安維持の現状の説明を聴取したところ、將來日本側當局と英國側警察との間に有效なる協力を保障するためには、一、租界内における抗日共産分子の取締といふ字句上の問題、

に協議を進め具體的細目の運用實施に明確を期したが、聯絡に當る日本人憲兵の人数に關しては日本人側が三十名を主張するに對し、英國側はこれを若干名と限定せんとし、その間に相當の隔たりがあり字句の使用法などに關しても二三の點が残されたので小委員會は午後七時三十分閉會、八月一日午後二時より重ねて協議を續行することとなつた。

米國の日米通商條約の廢棄 有田タレギー大使一騎討ちの一般原則の討議折衝が極めて順調に進捗し、二十四日今日日英會談の基本となるべき諒解事項が日英兩國より發表されるや米國は英國の全面的屈服と見て日英會談の成立を防止するため、七月二十七日正午駐日米國代理大使ドーマン氏は外務省に吉澤亞米利加局長を訪問、日米通商條約の廢棄を主張する旨の政府通牒を手交し午後零時半辭去した。この米國の日米通商條約の廢棄は天津問題發生以來常に受身の立場にあつた英國に最後のドタン場に至つて思はぬ助勢者の現はれた形となり、七月二十七日治安問題の討議まで極めて穩健であつた英國代表は法幣問題討議に入るや米國の條約廢棄と符節を合した如く著しく不遜な態度を示して來た。

い、そうならば會談は實質的に決裂する外ないからこの點を充分考慮されたいと要請。
さらに加藤公使は同日午後六時二十分からの第二次會見において、この點に關し重ねて意見を述べ、この點に關し重くクレギー大使は出来る限り善處する旨を述べ、意見を述べた。右の如き英國側の態度に對しわが外務、陸軍兩當局は對照策について協議したが、英國側のかゝる不誠意な態度を改めざる限り會談進行の必要なく會談決裂もやむを得ずとの決意を固めたが、今一度英國側の意向を究明することとなつた。

最終會談交渉經過

加藤公使はクレギー大使の申込により十九日午後二時から外務次官官邸においてクレギー大使と會見した。同會見においてクレギー大使は、
ロンドン電の報する十七日夜の英國政府の聲明といふのは事實無根で英國政府においてかゝる意向を有してゐたためにすでに發表されたやうに誤り傳へられたもので、したがつて本使としては十八日の申合せに違反したものと解されるのは遺憾で、この點を解決せよといふが、しかしながら英國政府においては會談の進展とイギリス側の見解について政府聲明を發表することに決定してゐるので、二十日中に改めて正式にイギリス政府聲明を發表することになつた。本使としてはこれをもちつて直に會談が進展したものと見做すべきであらう、なほ

意をもつて交渉の任にありたいと思つてゐるが、唯に角英國政府が日本政府の意に反してかゝる一方的聲明を行ふことになつたのを阻止出来なかつたのは遺憾でこの點を重く御注意を願ひたいと申入れた。

英國政府の一方的聲明を通告するなどいふ申入は事實問題として英國側が會談を決裂に陥らせるものであり加藤公使も一體英國側の非を追及して、その最後の反省を促したが、すでに英國政府において決定したといふ以上これ以上云々すべき筋合のものでもなくかつ十九日は豫めこのことあるを豫想してわが最高方針を決定してゐたので會談の圓滿閉結を計りたいと努力して來た帝國政府としては、
英國側のかゝる不可解なる行為を爾る遺憾なことを思ふ。しかしすでに決定してゐることなら致し方ない。なほ英國側において英國側の見解のみを發表するといふなら帝國政府として一掃とわが公正なる立場を聲明のために帝國側の聲明を發表することとならうから、この點を考慮されたい。かつ帝國政府としては決して種々の會談打ちを通告するやうな意向はないが、かゝる日英雙方の聲明發表ともなれば會談は實質的に決裂したことになるべく、かゝる場合における責任がいかにかつ英國側にあることをここに重ねて聲明したい。なほかかる事態に對するために帝國政府において適當な措置を講じ、また現地の檢閲機關を一掃強化するやうなことになるかも知れないがこの點もも含めたい。

帝國外務省聲明

日英會談に關する英國政府聲明に對する帝國外務省發表。
一、今次日英會談は元來英國側の希望にもつて開始せられたるものなること、帝國政府はまづ天津問題の背景をなす一般問題につき英國政府の了解を取付るの要ありと認め會談の當初において右に關し交渉の結果、客月二十二日一般原則に關する協定の成立を見るに至りたる事なきを得せられたる通りなり、右一般原則に關する協定の成立に次いで會談は天津における具體的諸問題の折衝に入りたり

しかしして右折衝に於いて帝國政府の要求せるところは弱點および懸念に關するものなるも要するにいづれも現地治安維持の強化ならびに軍の生存上必須事項に關するものにしてまた英國側の能力を必用せる點は何れもとりその範圍内においてなし能ふところにあることと信ぜられたる。

したがつて右要求事項の性質が恰も本件會談の範圍外なるがごとく解決することの不當なるはもちろんで然る間、兩國間の取極の對象となし得ずとするが如きものなら理由なき所なり。例へば通關および現狀問題に關する要求については帝國政府の英國政府に要求し來れるところは法が依然天津租界界内に渡越したる結果不逞分子がこれを利用して租界の内外において經濟擾亂行為を行ひ治安を亂したる現狀なるにつきこれが防止のため英國側において出来る限りの措置を講ぜられたしといふに止まる。一方現狀問題に關しこれが撤出につき英租界當局において何ら干渉せざるべき英國政府に要求しをるに過ぎず。いづれも日英兩國會談の對象となりまた天津租界地方問題なることは論議の餘地なく、右が日英間に取極め得ずしまた現地の性質を有せずとする理由なし。けだし今次會談開始に於いて英國側申出を受諾するにあたり帝國政府はその提議が當然現狀の存立に關する軍事的、政治的および經濟的要求を有すべきことを明示しおきたる次第なり。英國政府も右了解のもとに會談に入りたるものなるのみならず、客月二十七日經濟問題がはじめて具體的に日英代表間に討論せられたる際日本代表より右提議を重んじて英國代表に轉達せしむる、英國代表も異論なく、進んで八月一日經濟問題小委員會の開催に應じ具體的提議に入れる次第なれば右に關するも英國政府において最初よりいはゆる經濟問題を除外するの意向なかりしは明白なり。

支那事變——日英東京會談の經過

三、なほ英國政府が本問題を放棄しこれが解決を懸念せんとするものにはあらずと述べながら問題の解決を日英事變の最後的措置に關聯せしめむと主張しあるは即ち前接手處せるの言辭なりといふべし。またその發表の次第において九國條約を引用しなると同條約に關する帝國政府の見解はすでに豫言あることと明示せるところにして帝國政府としては九國條約に關する議論がいかにして天津問題の處理に役立つべき次第なりや了解に苦しむところなり。英國政府の眞意が本件會談に第三國を介入せしめ交渉の有利なる妥協をはからんとするものなるに於いては右は使らば本問題の解決を困難かつ複雑化せしむるに役立つのみにして帝國政府の到底容認し得ざるものなる點を指摘せざるべからず。

英國政府の聲明

英國政府は二十日午後七時日英會談の成果に關し左のごとき聲明を發表した。
一、日英兩國政府は相互に意見交換の結果、六月二十七日天津における現下の事態に關する各種の問題解決をはかるため東京において會談を開催することに見合一致した。
二、チェンバラ首相が七月二十四日下院において聲明したごとく七月十五日有田外相とクレギー大使との間に豫備的會談が開始された。會談の開始に當り日本政府は該會談を除き良好な關係を樹立せしめるためには天津における情勢を觀察するに必要なる背景が承認されること、が許すである旨の意見を表示した。右の見解を満足せしめるため英國政府は日本政府との間に次の方式を承認した。
一、英國政府は大規模の軍隊行爲が進行中の支那にお

ける現實の事態を完全に承認し、またかかる状態が存続する限り支那における日本軍が自己の安全を確保しかつその勢力下にある地域における治安を維持する大規模の要求を有すること、ならびに日本軍を留しまたはその撤去を妨げし一切の行爲および原因を排除するの必要のあることを認識する。英國政府は日本軍が前記の目的を達成するに當りこれが妨害となるべきならん行爲または措置を是認する意思を有せず。この機會においてかゝる行爲および措置を容認する旨在支英國官憲および英國國民に明示し、もつて右政策を承認する。
一、同日東京において兩國政府の代表間に會談が開催され、日本政府より對露保護として若干の提議が提出された。右提議の大體分は露保護事項に關し天津租界當局と北支駐屯日本軍との間に「テロ」を抑制し治安を維持する目的のための一層緊密な協定を規定したもので、右提議は租界の行政完結を要せず、またすでに上海において施行中の行爲とも一般的に合致するものなるをもちて英國政府は若干の細目の最後的取極を條件とし、協定成立に向ひ相當の進捗をなした。
一、露保護事項に關する提議のほか、日本政府は英國官憲をして租界内における法帝の使用禁止の規則を發行せしめ、また天津租界および北京公使館區域より若干の預備的の撤出を包含する露提議を提出して來た。これに對し英國政府はこれら提議の範圍が純然たる天津局問題の範圍を越脱し、かつ英國政府のみならずある他國政府もその見解をすでに日本政府に通報してある爲若ならびに貿易に對する制限措置をも包含し北支における他の經濟金融狀況の現實の事態に關聯することを直ちに駁却したのである。

状況の重要な研究の結果、英政府は自らは欲するとしても第三國の地位に影響を與ふるかも知れない

一、英政府は提議せられた問題を放置する意思があるものではなく、かつこれら問題が支那における現

汪精衛支那の表態

昭和十二年七月七日瀋陽事件を契機とする更新新支那の建設工作は同年十二月

而して北京、南京兩政府を中核とする北支、中支の新政治政體の整備とともに、更

再建新支那の展望——汪精衛氏のメッセージ

以上によつて内外の注目を蒐めた日英東京會談は英國側の不誠意によつて約一箇月

有田クレギー一般協定のものはこの會談決裂とは關係なしに法律上效力を有するもの

側がすでに一方的に聲明したところであり日本側でも軍獨自の立場から賛成すること

要するに盛夏四旬にわたるわが外務當局の努力による最大の收獲は從來嚴正中立を

事件の發展により支那は上記の如き平和的解決への希望の到底實現し得ざるを知る

△去る四月開催された臨時全國民代表大會に於て發せられた中國現在の狀態理由に關する部分に次の如き一

再建新支那の展望——汪精衛氏のメッセージ

中国共産黨は既に三民主義に従ふべき事を認めた以上共産黨としてはその憲法に依りて宣傳工作も止

△三民主義なるものは支那國民の根本主義であり従つて祖國を防衛する我々の義務を遂行する爲には我々は自衛的に且積極的にその主義と背馳するあらゆる

諒らかにしたことは瀕死状態にある蔣政権に致命的な打撃を與へ、更らにひきつづき蔣軍閥の巨頭吳佩孚氏が老驄をさけて久し

正統派中國々民政綱

外交 一、國家の生存及び主權獨立の趣旨に基き諸隣の政策を履行し以て東亞永遠の和平を確立す

新國民黨中樞組織

重慶派國民黨に對する方針 正統派中國國民黨は重慶派國民黨が從來蔣介石の誤れる指導の下に數々の誤謬を同じ最近では中

臨時主席汪精衛、秘書長汪兆銘、副秘書長陳春圃、同羅君強、組織部長梅思平、同

再建新支那の展望——汪精衛氏のメッセージ

ため友邦各國の資本及び技術との合作を歡迎す 六、和平及び外交法を以て租界を回收し銀行裁判權を取消す

せしめ出来る限り人民の貨幣價値の下落より受くる損害を減少せしむ 二十、銀行制度を制定し農工、商業助成の任務にあたりしめ社會の金融を以て國家財政の犠牲に供

臨時主席汪精衛、秘書長汪兆銘、副秘書長陳春圃、同羅君強、組織部長梅思平、同

後の黨務處理に當らしめる。對外方針 反共の精神を明かにして右基本政策に則り中日關係を根本的に調整、可及的速かに兩國間の國交を回復する。

黨内の活動方針 黨執行委員會主席汪精衛の指名により中央執行委員中より數名及び黨外各方面の同業具眼の士を含む中央政治委員會を組織し新事態が要求する時局政治の革新工作の衝に當らしめる澎湃たる和平救國の全國的要望に答へて速かに國民大會を召集し國民の總意に基く憲政を實施する。

維新・臨時兩政府聯合委員會

一方この國內の新事態に對應すべく第二回維新臨時兩政府聯合委員會は昭和十三年十一月二、三兩日南京において開催。維新政府執行委員長梁鴻志、立法院長湯宗堯、內政部長陳群、臨時政府執行委員長王克敏、司法總長朱深、內務總長王揖唐ら出席の下に各種重要問題につき協議し臨時兩政府と共に三政府歩調を一にして統一中央政府の確立に邁進すべく意見の一致をみた。同委員會の反共救國宣言左の如し。

吾中華民國は從來諸儀文物の國と稱せられ、有史以來未だ曾て邪説の横行今日の如く甚だしきを聴かず蔣介石の政權を把持してより兵禍を私し己の欲せざる者を排斥しその虐政筆紙につくし難し、西安において監禁せらるゝや自己の生命身體の保全を急ぎ共黨と勾結し國家の大本を紊り、暴虐を挑み遂に中華の沃土を水深火熱の中に陥れ近くは廣東、漢口又相次いで之を喪ふ、顧れば爾來一年有半、長江、黄河、珠江の流域は民家灰燼に歸し、農産水に没す、これ盡く焦土政策の犠牲なり、彼蔣介石は自らその罪を償ふに足らず、而も尙大言して恥を知らず悔悟の色もなく今も尙、抗戰を續けて以て且夕の命を承らんとす、民衆の生命財產を犠牲となすこれより甚しきはなし、斯の如く頑迷にして、覺めざれば幸にして尙未だ禍を免れ禍中に残りす西北、西南の數省も踵を接して渦中に入り戦火の災を蒙り、特に生類なかつ、本會は一變千鈞の責任を負ひ茲に爾んで我が父老兄弟に對し、誠意を披瀝して所信を陳陳す、夫れ正と邪とは二つながら存し難く反共非蔣されば國を救ふ能はず、倒蔣に非ざれば共黨を一掃すること能はず、反共倒蔣を實行せざれば和平を顯現するを得ず、和平實現せざれば、即我全國の人民を死より救ふに策なく、何んぞ克く復興建設を企圖し得んや、若しそれ新政權當局と共に共同奮闘することなく、尙徒らに赤化を助長し蔣一人を擁護せんか道に迷ふこと増々深く、國命傾き國土滅亡せむ、その機に至りて隣を喰むも何ぞ及ばん、生死の關鍵目前須叟の間であり和平曙光は全國民衆協力の上であり、吾人は速かに奮起して救國の道を圖り誓つてこの言を實踐すべし。

行せざれば和平を顯現するを得ず、和平實現せざれば、即我全國の人民を死より救ふに策なく、何んぞ克く復興建設を企圖し得んや、若しそれ新政權當局と共に共同奮闘することなく、尙徒らに赤化を助長し蔣一人を擁護せんか道に迷ふこと増々深く、國命傾き國土滅亡せむ、その機に至りて隣を喰むも何ぞ及ばん、生死の關鍵目前須叟の間であり和平曙光は全國民衆協力の上であり、吾人は速かに奮起して救國の道を圖り誓つてこの言を實踐すべし。

共通問題決定事項

郵政問題 郵政、爲替その他取引上における差換の處理につき妥當なる具體的解決法を研究する。
棉花、石炭及米の移輸出問題 (イ)日本滿洲及び中支に必要な北支棉花を充分に配給するため各方面に割當をなし以て移輸出の調整をなす。(ロ)日本及中支が北支石炭の期待するところ大なるも北支において尙且つ石炭の不足を訴へるの故日支一般の需要に應ずるため出来る限りこれが増産をはかり移輸出を調整すること。(ハ)中支

は北支における米不足に徴し中支の實需を顧慮してこれが移出を調整すること。
金融問題 北中支の金融及び爲替を円滑ならしめるため中支においても、なるべく速かに金融制度を研究する。
統一法規問題 北支及び中支における法規の制定にあたり、統一を必要とするものは兩政府間の協議を密にしてこれを行ふこと。

駐日滿機關に關する問題 組織及び事務の系統並びに經費は常任委員會第一次會議議決の通りとする事。(イ)民國政府駐日辦事處家屋は舊大使館を使用すること。(ロ)民國政府駐滿通商代表部家屋を新たに一箇所設備すること。
統制問題 北中支においては原産地課税主義に進み二重課税を行はざること。
更らに七月十二日青島で開催の同委員會では、一、學制改革及教科書編纂問題、二、法規の統一及び最高法院問題、三、南北爲替交流問題、四、黄河治河問題等に就いて重要意見の一致をみた。

西尾總司令官の聲明

斯かる情勢の下において、新たに開設された全支那鐵道軍總司令官西尾壽造大將

再建新支那の展望——西尾司令官の聲明、中央政治會議、上半期全支貿易

が昭和十四年十月一日南京前任に際して發せられた聲明は日支事變に關し東洋永遠の平和の確立を期すべき帝國不動の方針を更めて宣明したるのみならずこれにより、汪精衛氏を中心とする統一政權樹立運動の促進に急激なる拍車をかける結果となりいよいよ十一月中には新政權の母體ともいふべき中央政治會議が招集されるであらうと見らるゝ事に至つた。

中央政治會議

汪、王、梁三巨頭會議 正統治國民黨中央執行委員會主席汪精衛および、臨時、維新兩政府を代表する王克敏、梁志鴻三巨頭の會見は昭和十四年九月十九日より二日間南京において會見、新中央政府の樹立については大要左の如き方針を以て進むことになつた。

即ち新統一政權の樹立については飽までも國民黨を基礎として合法的組織に涉る方針で、共黨の專政下に覆ちた重慶の中央黨部および政權を奪取し來つてこれを甦生せしめる形式とすることになつたが、中央政府組織の重大任務にあたるべき中央政治會議には正統派國民黨、維新、鐵道、三政府および中國社會黨、新民會、大民會

上半期全支貿易

昭和十四年上半期の全支貿易總額は十一億三千二百萬圓に達し前年同期に比し五〇%に近い急激な恢復ぶりである。これは事變勃發直後の昭和十一年の十億八千八百萬元を抜く好記録を示してゐるが尤もこれは専ら輸入増加によるもので前年に比し輸入六三%輸出二七%を増し結局入超額は三億元餘の巨額に達した。(單位千円)

種別	前年同期	本年
輸入	4,100,000 (千円)	11,000,000 (千円)
輸出	3,100,000 (千円)	7,000,000 (千円)

再建新支那の展望——北京臨時政權下の情勢

輸出入	金額	単位
輸出	二二〇	(公)
輸入	二二〇	(公)
輸出	二二〇	(公)
輸入	二二〇	(公)
輸出	二二〇	(公)
輸入	二二〇	(公)

全支貿易 (昭和十三年)

品名	金額	単位
絹織物	一六五、一二七	
綿織物	一一七、九〇二	
毛織物	一〇六、五七〇	
紙	六三、一六三	
茶	一三〇、〇〇四	
糖	九一、二九一	
油	六六、一一七	
米	五七、一一七	
小麦	五七、一一七	
大豆	五七、一一七	
雑穀	五七、一一七	
畜産物	五七、一一七	
農産物	五七、一一七	
鉱産物	五七、一一七	
工業品	五七、一一七	
雑品	五七、一一七	

海關總收入

品名	金額	単位
輸入税	一、〇〇〇	(千)
輸出税	一、〇〇〇	(千)
通過税	一、〇〇〇	(千)
附加税	一、〇〇〇	(千)
合計	四、〇〇〇	(千)

北京臨時政權下の情勢

臨時政府では成立以來健全財政方針を堅持し關稅、鹽稅、統稅等歳入増加を計ると共に歳出方面に於ては冗費の節約に努めつゝあつたが昭和十四年四月十日汪財政部總長より該話の形式を以て次の如く昭和十三年度歳入餘額八千二百九萬三千四圓を生ずるに至つた旨發表した。

品名	金額	単位
輸入税	七三、三九三	
輸出税	一八、五四九	
通過税	三九、八五一	
附加税	一三、七九三	
合計	一三、七九三	

治水工事五箇年計畫

臨時政府建設公署では支那幾千年來の難題たる治水問題の解決に乗り出すべく第一次水利五箇年計畫を樹立、昭和十五年を初年度として、いよいよ工事に着手することになつた。

- 一、五大主要河川の堤防改修
- 一、永定河、大清河の上流山地部に堤壘を築いて水源を調節する
- 一、天津附近に集まる永定、大清、子牙河各下流に放水路を設け直接渤海に排水を開く
- 一、泥土を堆積する永定河等に防泥地区及び一部河川に排水池を建設する

北支水利開發

北支開發の大動脈たる道路建設、水利の改造につき臨時政府建設總署では昭和十四年三月左の四建設區を設定、一段とこれに拍車をかけることになつた。

- 一、北京工程局 (一)冀東道、津浦道兩端北支地區 (二)保定道、大名道全部 (三)河南省黃海以北地區
- 二、天津工程局 (一)冀東道、津浦道兩端南支地區 (二)河北省全部 (三)山東省全部 (四)黃河以南地區
- 三、濟南工程局 (一)山東省全部 (二)黃河以南地區 (三)黃河及び山東省河川全部 (四)江蘇省、徐州
- 四、太原工程局 山西省全部

建設總署の

昭和十四年度計畫

臨時政府建設總署では昭和十四年度豫算二千五百萬圓を以てし公路、水利、都市計畫の三大部門に亘り劃期的建設工作に着手してゐる。

再建新支那の展望——北京臨時政權下の情勢

日華經濟協議會

日華經濟協議會第五回會議は昭和十三年十一月十七、十八兩日北京で開催、王克敏會長、平牛副會長以下湯本武雄、湯川元威、菅波理事、王蔭泰、朱深、汪時瓚の各委員出席の上、膠濟鐵路を中心にして耕地施設改良問題につき審議あり...

北京都市計畫

首都北京の都市計畫について昭和十四年八月發表されたところによると大北京市は通州及び北京郊外を包含する約三千平方キロメートルの廣大な地大區に及び人口は現在の百六十萬人から二十箇年後には二百五十萬人となる見込で現在の北京市は城内を支那文化區域として保存し、新市街として...

太原都市計畫

太原都市計畫は昭和十四年開水期と共に第一期工事に着手したがその規模は、太原及離次を結ぶ自動車道路を太原城東側において接続せしめ又停車場地帯に鐵路道路を造る...

塘沽港の建設

天津英租界隔絶を契機とし北支最大の海港たる塘沽港の新築を促進するため北支開發會社傘下の興中公司では昭和十四年八月局外として北支振興臨時事務局を開設し...

新天津建設計畫

抗日共産分子の伏魔殿たる天津英租界に對して斷乎檢閲檢索が開始されてゐる折柄、特三區(舊ロシア租界)を中心として特一區(舊ドイツ租界)及び天津東停車場北部に亘る新市街を建設せんとする計畫が昭和十四年六月決定された。新市街建設は飛行場跡を中心として特三區下流部、特一區及び天津東站北部に二百五十萬平方キロの大都市計畫を施し商業住宅地は勿論、經濟中心地、政治機關の一部をも悉く移轉...

法幣の流通禁止

北支臨時政府では昭和十四年三月一日を期して舊法幣の流通禁止を斷行し舊法幣一元を新法幣一元に換へることにした。而してこれに先立ち昭和十四年二月十一日舊法幣による契約を禁ずる政府命令を發し、(一)舊法幣による貸借及預金契約は直ちに國幣建に改むべきこと、(二)舊契約にして民國二十八年二月十九日迄に國幣建に改むるものは同二月二十日において六割の事を以て國幣に改められたものと見做さるべき旨嚴命した。

英佛の聯銀屈服

中國聯合準備銀行は昭和十三年三月開業

以來英租界當局に對し聯銀券を以てする公租、公課、水道、電料金等の受納を繼續してきたが天津金融市場における強力な聯銀券の實力に屈服して昭和十三年十二月一日からこれを承認するに至つたが常に英國に追從的態度をとつてきたフランス工部局も滔々たる大勢に抗し得ず中旬から遂にこれを認めるに至つた。斯くて聯銀券天津流通の一大障礙をなしてゐた外國租界が相次いで崩壊し北支金融工作の上に一大進展を見るに至つた。

支那銀行の轉向 廣東及び武漢三鎮の陥落は支那側經濟界に深刻なる衝動を及ぼしたが就中從來不即不離の立場を保持してゐた支那側銀行は之を機會に轉換の態度を全く清算し中國交通兩行及び金城、鹽業、大陸ら中國聯銀のメンバーバンクは徹底的日本側及び中國聯銀依存に轉換を見るに至つた。聯銀第一期成績 中國聯合準備銀行では昭和十四年四月十五日北京銀行公會に於て第一回株主總會を開催、總代表朱深氏以下中國、交通、河北省、金城、大陸、鹽業、中南等各株主銀行代表出席の上汪總裁から別項要旨の如き報告のあつた後第一期貸借對照表並びに次の如き當期利益益處分案を附

上半期の業績

中國聯合準備銀行では十月二十五日本年度上半期の決算を發表し上半期の同行營業成績を明かにしたがこれによると上半期末における貸出高は一億百萬元と前期末に比して六千八百萬元を増加し、預け金は七千九百萬元と四百萬元を増加し、預け金は七千九百萬元と七千五百萬元を増加し、また送金取扱高は四億三百萬元、支拂高は三億九千八百萬元とそれ〴〵七割以上の取扱高増加を示し収益状態は業務擴張に伴ふ諸経費の増加に拘らず前期に比し良好となり結局四十六萬圓餘の純益をあげた。なほ貸借對照表および損益計算表は次ぎの如くである。

本年上半期貸借對照表

(六月三十日現在、單位千圓)
貸出高 二五、〇〇〇、△發行準備金 二、六〇〇、〇〇〇
△當期利益 一、七三三、〇〇〇、△當期損益 一、三三三、〇〇〇
△當期利益 一、三三三、〇〇〇、△當期損益 一、三三三、〇〇〇
△當期利益 一、三三三、〇〇〇、△當期損益 一、三三三、〇〇〇

一六、三五五預金二一九、三四二、元金 四二、三三三
 三三、地銀一〇、預金 七八、七二二、元金 一五、〇〇〇
 一〇、二二四一、預金 一八、九七二、元金 一五、〇〇〇
 未納手形代金 二〇、五〇〇、支拂金 二〇、〇〇〇
 未納手形代金 一、四二七、未納利息 三五、六〇〇、元金 一、二八二、合計四九、六七五

〔負債の部〕
 資本金 五〇、〇〇〇、預立金 一〇〇、〇〇〇、特別預立金 二〇、〇〇〇、發行貨幣 二六四、一五九、諸預金 一五九、八二四、賣出外國債券 一、五二四、送金爲替 四、八九四、代金取立手形 二〇、五〇〇、支拂金 二〇、〇〇〇、未納利息 一、二二七、借入金 三三三、前期繰越金 九九二、前期利益金 四六九、合計 四九五、六七五

〔損益計算表〕
 (昭和十四年一月一日より同年六月三十日まで)
 (利益の部)
 收入利息 二、八九一、手数料三五、元金 一〇、八〇〇、合計 三、〇三五
 (損失の部)
 支拂利息 五四四、諸費 一、〇六〇、原價償却 九六二、前期利益金 四六八、合計 三、〇三五

爲替集中策

一、聯銀券發行高は昭和十四年上半期末二億六千四百三十三圓十半ばまでに三億二千八百萬圓に達した。
 一、外國爲替集中の實績は三月以來十月半ばまでに英貨百六十五萬ポンド、米貨百九十萬ドルに及んだ。

臨時政府稅收激増

臨時政府財政部統稅公署の昭和十三年の稅收額は左表の如く四千六百八十一萬四千圓で前年に比して二千七百九十九萬二千圓の激増を示してゐる。今年に於ては奥地治安の回復と相俟つて稅收増加は更に期待されてゐる、各地稅收内譯左の如し。

北京	五、五〇二	天津	二六、〇七六
石家莊	一九六	唐山	二、一八一
濟南	一、四六二	芝罘	二、四四
太原	一、四四	鄭州	一、六〇
青島	一〇、八四九	合計	四六、八一四

關稅徵收事務聯銀で接收

臨時政府治下の關稅收入は昭和十二年十一月の日英協定により香上銀行の手をなれ正金銀行支店に預託されて居るが各海關で稅收入を取立て正金支店に預託する徵稅事務は依然交通銀行の手によつて行はれて來た。然るに中國聯合會準備銀行の内容が漸次充實して來たので昭和十三年十一月十五日より徵稅事務をも交通銀行の手より聯銀に移管された。北支の海關は青島、天

津、秦皇島、龍口、芝罘、威海衛の六箇所であり、聯銀の支店が置かれてゐるのは天津、青島のみである爲め取敢へずこの兩所に於ける徵稅事務を交通銀行の手より接收し他はすべて支店開設を俟つて接收する豫定である。この海關徵稅事務の交通銀行より聯銀への接收は北支における聯銀の基礎強化を如實に示すものとして注目される。

北支開發會社シ團結成

北支開發會社のシンヂケート團は昭和十四年四月東京において結成されたがメンバとして興銀(幹事)正金、鮮銀、秦銀、三井、三菱、安田、第一、第百、住友、三和、野村、愛知、名古屋、神戸の各銀行、三井、三菱、安田、住友各信託等十五銀行四信託である。而して會社側よりは神戶商會、大久保理事が出席して昭和十四年九月まで五箇月間の事業並びに資金計畫を詳細説明諒解を求めたがこの間の所要資金は子會社たる華北交通、華北電信電話の事業資金總額六千萬圓に上り之を社債に仰ぐ筈である。

河北平野大水害

昭和十四年七月、八月に亘り天津一帯を襲つた未曾有の大水害の總被害高につき各銀行商社等に於ける調査を綜合するに大體四億圓に達する見込で之を租界別にすると英佛租界二億圓、日本租界一億五千萬圓、支那租界その他五千萬圓で英佛租界が比較的地域の狭小な割合に被害が甚大であつたのは白河々岸一帶の各倉庫に綿糸布を主とし各種の物資を充満してゐたため日本租界の主なるものも綿糸布關係の物資である。

被害状況 昭和十四年七月、八月河北省を襲つた大出水は天津に未曾有の慘禍を惹起したが北支軍の調査によれば現在までの被害状況は左の如くである。
 一、浸水地域二萬五千乃至三萬平方キロ
 一、倒壊失家屋十二萬戸
 一、罹災民三百萬人(内救済を要するもの六十萬人)
 一、死者一萬人以下
 一、損害二億二千萬圓

而して豫想より被害は少なかつた模様で住民も又割合に平靜である。又農作物は小麥の收穫が終つてゐた事は不幸中の幸ひであつて出水による打撃は豫想外に少く大體例年の一割乃至四割の減收程度と觀測され

再建新支那の展望—北京臨時政權下の情勢

てゐる。

英佛租界隔絶斷行

天津外國租界の援護政策排撃につとめてきた天津軍當局では天津海關長程錫慶氏殺害テロ犯人の引渡問題に絡み英佛租界隔絶に關する左の如き布告を發した。

一、天津に於ける抗日共産分子の活動を禁止するため六月十四日以後通常左の如き交通を制限す
 左 記
 英佛租界に通ずる道路は左記以外何人とも通行を許さず
 斯くてこの強硬手段を端緒に七月十五日より東京において開かれた日英會談は決裂のまゝ租界問題は多くの懸案を残して十一月に至るも尙隔絶行動は擧げられてゐる。(詳細は支那事變日英東京會談の經過の項参照)。

國軍整備に着手

皇軍不撓の活躍に呼應して北支治安確保に協力すべき國軍の再建に乘出した臨時政府治安部は昭和十三年五月、開校した通州に於ける陸軍軍官學校第一期生中堅將校の

卒業を機會に今秋より感々治安部管下の軍隊並びに隨順部隊の整備に着手してゐる。即ち整備方針としては
 一、舊中國軍隊は軍國の私兵として購買のものが大部分を占め現に存在せるものもこの例に漏れぬので治安部は新たに各縣より優良青年を選擇し新軍を組織編成する。
 一、従来の編制は一先づその任に就けば永久にその職に留まる點を以て他の他により腐敗を招くこと多きに鑑み今後同一職の任期を三箇年とする。
 一、將校の昇進定年は少尉一年、中尉二年、大尉四年、少佐二年、大佐四年、少將三年とする。
 一、將校の俸給は中尉四十五圓、大尉四十八圓、少佐五十圓、中佐五十三圓、大佐五十五圓、少將五十八圓、中將六十圓、大將六十二圓と階級階入者に差を設ける。

右大綱に基き新たに陸軍管轄責任官暫行條例、陸軍管轄責任職暫行條例、陸軍管轄責任暫行條例、陸軍准尉暫行規則、陸軍管轄責任暫行條例及び恩給給與暫行規則を制定し軍規を振奮格なる訓練統制下に終生中國の軍隊として東亞新秩序の建設に皇軍と協力して第一線に立ち活躍せしめることになつた。

同蒲線太原

臨汾間の貨物運轉假營業は昭和十四年二月一日開始。

再建新支那の展望——南京維新政權下の情勢

鹽務總署新設

臨時政府三大財源の一たる鹽稅收入に就ては政府は成立以來既在各地鹽務管理局を逐次接收し鹽稅の實を擧げ來つたが昭和十四年今回之等鹽政の統一調整を圖るため新に鹽務總署を設置する事に決定した。

新民會東京辦事處新設

新民會では日支連絡事務のため昭和十四年四月東京辦事處開設局長友實、秘書原澤仁賢氏が任命された。

北支の統稅收入

臨時政府治下の昭和十四年七、八、九月統稅收入合計は一千八百餘萬圓に上り前年同期に比較すれば二百五十九萬八千餘圓減で二割五分方の減收を示してゐる。本年一月以降好調を示した統稅收入は第三、四半期に入り總額は減收を來すに至つたが、今夏北支を襲つた大水害と熾烈化した反英運動にもとづく英貨、なかんづく英國系商社

南京維新政權下の情勢

中支復興三箇年計畫
約一年の試練期を経て第二一年を迎へた維

新政府は茲に中支再建の使命達成に總力をあけて邁進すべく左の中支復興三箇年計畫

第一四半期	本年	昨年
第一	八〇〇	九〇〇
第二	七〇〇	八〇〇
第三	六〇〇	七〇〇
第四	五〇〇	六〇〇
計	二、六〇〇	三、〇〇〇

(單位千圓)

を樹立しその初年度とも云ふべき昭和十四年度は治安の肅正、地方農村の復興を第一義とし農業の振興に重點を置き、併せて日支提携になる各種建設事業の促進擴張につとめてゐるが行政院管下各部事業計畫大要は左の通りである。

一、行政院 施政の中心を管下三省の治安確立と農工業の振興の二點に置くほか人事の刷新、機構を改善する。

一、陸軍部 蘇州、江州、南京、蚌埠の四箇所に砲兵軍管區を設置し兵力を擴充整備、日本軍と協力治安の維持に資す、本年度内に水運隊を組織す。

一、内政部 (イ)地方行政指導の徹底(ロ)省行政の獨立の基礎を確立する(ハ)縣自治制度の強化、縣の行政組織を整備し縣政及び區縣警察の強化をはかる、これがため警官學校、警士訓練所を擴充する。(ニ)防共青年團制度の確立(三)社會施設の重點を衛生設備の擴充に置き縣立病院を多數新設

一、財政部 (イ)鹽務行政の確立(ロ)幣制の確立(ハ)銀行を設立し通貨金融を整備し幣制確立の準備を急ぐ(ニ)審判制度の確立(三)裁判官の任命法を立憲しその審判權を創設一九四〇年度より年度事業を實施する(四)被服廠の設置

一、交通部 (イ)公路の整備擴充(ロ)鐵道の修復改築(ハ)電信電話の復興(ニ)國際航線の整備(ホ)郵政の充實(ヘ)交通網の擴充(ト)水運の伸長

一、農林部 (イ)農村復興(ロ)本年度内に中央農林實驗所、農林專門人員訓練所、農林實驗區、中央林區管理處等の新設、農村家畜事業の調査研究(ロ)水産用

營業種目

- 一、棉花ノ買入及加工
- 二、棉花及種子ノ販賣
- 三、棉花耕作資金ノ融通
- 四、棉花栽培用品ノ供給
- 五、棉花耕作者ニ對スル必需品ノ供給
- 六、棉花ノ栽培
- 七、前各項ニ附帶スル事業

資本金壹千萬圓

滿洲棉花株式會社

奉天市大和區揚武街一段

奉天市鐵西區嘉工街一段三十二號



恭泰莫大小紡績株式會社

電 (3) 七八三五八番
 受信略號ホウテンキヨタイ
 奉天市鐵西區裕工街二段三號
 紡績工場 奉天市鐵西區今橋三丁目五(共同信託ビル)
 出張所 大阪市東區今橋三丁目五(共同信託ビル)

株式會社 伊賀原組奉天出張所

奉天市大和區竹園町三番地
電話 ③ 三四九八番

精密機械
工作機械
空氣機械
水力機械
煖房換氣機械
煖房冷房裝置
換氣乾燥裝置
輸送機械裝置

理化學興業株式會社奉天出張所

奉天市大和區平安通十六番地
電話 ③ 三三八七番
本社 東京市麴町區有樂町
工場 東京市大塚區新橋
出張所 大阪・名古屋・北京・天津

亞鉛引平浪板
鐵丸釘

珐瑯鐵器
リベット
ボールドナット
棒鋼
亞鉛引鐵線
特殊鋼及鑄鋼品

奉天市鐵西區興亞街一段三十三號

株式會社 中山鋼業所

電話 ① 三八七九番 ② 七九二二番 ③ 七九二三番
出張所 大阪、大連、上海、天津
販賣部 奉天中山商事株式會社

營業科目

公社債株式引受募集
株式現物清算買賣
有價證券擔保金融
證券ニ附帶スル一切ノ業務

株式會社 滿洲證券取引所取引員 有價證券現物問屋
玉 マルタマ株式店

奉天市加茂町八番地
電話 ① 五五七七番 ② 五五七四番 ③ 五五七一
中央郵政局私書函一六九
受信略號ホウテン・カブマルタマ
郵便略號〇又ハ(マルタマ)